

令和7年度 美原防災スポーツセンター(仮称)建設 建築工事

19 内・外装工事	① 接着剤	ホルムアルデヒドの発散量 ※規制対象外・第三種 (19.2.2)	ホルムアルデヒドの発散量 (19.2.2)(19.8.2)
	② ビニル床シート	種類 色柄 厚さ(mm) 継目	※無地・※2.5 ※滑接・※表示 ※H.S・※KS ※柄物・
	③ ビニル床タイル	寸法 種類 厚さ(mm)	※300×300・※コンポジションビニル床タイル ※450×450・※コンポジションビニル床タイル ※1000×900・※ホモジニアスビニル床タイル
	4 特殊機能床材	・帯電防止ビニル床タイル・帯電防止ビニル床タイル 寸法(mm)※500×500 厚さ(mm)※4.0 帯電性能評価値(JISA1455) ・仕様1.2〜3.1又は帯電圧(JISL1023)3kV未満 ・仕様3.2〜5.1又は漏洩抵抗値(JISA1454)0.1×10 ⁴ Ω未満 ・タフテッドカーペット グリーン購入法※指定なし・適合品	(19.2.2)
	5 カーペット敷き	パイルの形状 ※カットパイル ・ループパイル	パイル長 ※5〜7mm ・※4〜6mm
	6 合成樹脂塗床	・帯電防止タイルカーペットの電気抵抗(Ω) 体積抵抗値(JISK6911)0.1×10 ⁴ Ω以下 又は表面抵抗値(JISA1454)0.1×10 ⁴ Ω未満 (19.4.2)(表19.4.3〜表19.4.7) ・弾性ウレタン塗床材(※平滑仕上げ・防滑仕上げ・つや消し仕上げ) ・エポキシ樹脂塗床材(※縦溝し属仕上げ・防滑仕上げ)	(19.3.3)(表19.3.2)
	7 フローリング張り	ホルムアルデヒドの発散量 ※規制対象外・第三種 (19.5.2〜7)(表19.5.1〜4)	材料 種別 工法 構造 塗装
	8 畳敷き	ホルムアルデヒドの発散量 ※規制対象外・第三種 種別 ・A種・B種・C種・D種 (19.6.2)(表19.6.1)	※無地・※全面接着工法 ・※柄物・※グリッパー工法
	⑨ セッコウボード及びその他のボード張り	材料 種別 厚さ(mm)	※釘留め工法 ・直貼り工法 ※釘留め工法 ・※無地・※全面接着工法 ・※柄物・※グリッパー工法
	⑩ 壁紙張り(ビニルクロス)	ホルムアルデヒドの発散量 ※規制対象外・第三種 接着シート材 ※アクリル系シーリング材 パネーティングボード・縦横板・木質セメント板の原材料 合板・製材工場から発生する端材等の碎材・建築解体木材・使用済み梱包材・製紙未利用低質チップ・林地残材・かん木・小径木(間伐材を含む。)等の再生資源である木質材料又は食物繊維の重量比割合が2分の1(50%)以上であること。 品質JISA6921による 防火性能の級別1級・	(19.7.2)(表19.7.1)
12 吸音材	グラスウール吸音材	規格 吸音用グラスウールボード2号32K 特定フロンを含まないもの 再生資源を使用している又は使用済み再生資源として使用できること。再生資源利用率は、原材料の重量比で80%以上であること。 厚さ(mm)※25・50 グラスウール19メッシュ張り(小口共) 化粧ボード止め(タテ、ヨコ共※300程度)	(19.9.2)(19.2.3)
	⑪ 断熱材	材料 種類 施工箇所 厚さ(mm) 品質	ポリスチレンフォーム 保温材 ※表示 ※25 JISA9511 硬質ウレタンフォーム 断熱材 ※表示 ※40 JISA9526 グラスウール ※表示 ※24K/m ³ ※68K/m ³ ※天井裏・外壁 ※50
	20 ユニツト及びその他工事	1 フリーアクセスフロア	施工箇所 構造 仕上高さ 寸法 材質 耐荷重 表面材料 取出口
	2 可動間仕切り	構造形式 表面材及び仕上げ	※スラット式・パネル式 鋼板厚さ(mm)スラット式0.5パネル式0.8 メラミン樹脂塗料又はアクリル樹脂塗料使用塗装 遮音性能※0・12・20・26・36 表面材※鋼材・ガラスパネル・※表示 表面仕上げ・焼付け塗装・※表示 遮音性能※一般タイプ・遮音タイプ
	⑫ 移動間仕切り	⑬ トイレブース	表面上 幅木 厚小口材質 その他、製造所仕様による
	5 階段滑止め	⑭ 黒板及びホワイトボード	ステンレスSUS304製 (両端フットエンド付き)幅約35mm
	7 庁名表示	8 種突ライニング	材料 ※ホワイトボード・黒板
	⑮ ブラインド	10 ブラインドボックス	文字材質・仕上 加工方法 板厚 寸法 字 体
	⑯ ロールスクリーン	⑰ カーテン	文字材質・仕上 加工方法 板厚 寸法 字 体
	11 化粧壁シート	⑱ カーテンレール	14 コーディオナフ
15 くつふきマット	① 天井見隠	② 点検口	材料 ※塩化ビニル(緑物)ステンレスSUS304 ・ステンレスSUS304(緑物)ステンレスSUS304 材料 ※アルミニウム合金製 ○塩化ビニル製
	③ 天井点検口	④ 床点検口	材料 ※アルミニウム製 ・アルミニウム合金製 ・鉄板製
	18 ステンレス表し	・表示	ステンレス製
	19 水切りだな	20 鋼製書架及び棚	形式 品 質 等
	① フェンス(目隠し・柵)	② ムッシュフェンス	材料 支柱 メッシュ材 表面処理 強度
	22 屋外掲示板	照明器具 形状寸法 材質及び形式 脚部 固定風速 地耐力	※ステンレス製 ※表示 アルミニウム製 ※表示 ※表示 ※表示
	23 旗竿	24 車とめさく	形式 材 質 柱径(mm)
	⑤ 誘導及び注意喚起用床材	26 収納式オムツ交換ベッ	形式 材 質 柱径(mm)
	27 フィッティングフロア	28 ベビーチェア	形式 材 質 柱径(mm)
	29 耐震スリット	30 洗面カウンター	形式 材 質 柱径(mm)
32 敷地境界石標	33 木製造付家具	34 人工屋上緑化	材料 ※塩化ビニル(緑物)ステンレスSUS304 ・ステンレスSUS304(緑物)ステンレスSUS304 材料 ※アルミニウム合金製 ○塩化ビニル製
	35 厨房機器	・表示	材料 ※塩化ビニル(緑物)ステンレスSUS304 ・ステンレスSUS304(緑物)ステンレスSUS304 材料 ※アルミニウム合金製 ○塩化ビニル製
	21 排水工事	① 排水管	材料 管の種類 継手
	② 排水網及びふた	・鋼製マンホールふた	形式 種 類
	③ グレーチング	材料 形式 材 質	形式 材 質
	22 舗装工事	① 路床安定処理 2 路床の試験 ② 路盤材料 ③ アスファルト舗装	添加材料 ※普通ポルトランドセメント ・路床土の支持力試験(※乱した土・乱さない土) ・路床締固め度の試験 (22.2.2)(22.2.5)(22.3.3) (22.4.3) (22.4.4)
	5 ブロック系舗装	1 植栽基礎 2 土壌改良材	※適用する ・適用しない (23.2.2)(23.2.3)
	3 遮込み用土	4 支柱材	※遮込み用土 ・遮込み用土 (23.3.2)(23.3.2)
	5 保証書	・保証書	※保証書 (23.3.2)
	23 植栽工事	1 植栽基礎 2 土壌改良材	※適用する ・適用しない (23.2.2)(23.2.3)
32 敷地境界石標	33 木製造付家具	34 人工屋上緑化	材料 ※塩化ビニル(緑物)ステンレスSUS304 ・ステンレスSUS304(緑物)ステンレスSUS304 材料 ※アルミニウム合金製 ○塩化ビニル製
	35 厨房機器	・表示	材料 ※塩化ビニル(緑物)ステンレスSUS304 ・ステンレスSUS304(緑物)ステンレスSUS304 材料 ※アルミニウム合金製 ○塩化ビニル製
	21 排水工事	① 排水管	材料 管の種類 継手
	② 排水網及びふた	・鋼製マンホールふた	形式 種 類
	③ グレーチング	材料 形式 材 質	形式 材 質
	22 舗装工事	① 路床安定処理 2 路床の試験 ② 路盤材料 ③ アスファルト舗装	添加材料 ※普通ポルトランドセメント ・路床土の支持力試験(※乱した土・乱さない土) ・路床締固め度の試験 (22.2.2)(22.2.5)(22.3.3) (22.4.3) (22.4.4)
	5 ブロック系舗装	1 植栽基礎 2 土壌改良材	※適用する ・適用しない (23.2.2)(23.2.3)
	3 遮込み用土	4 支柱材	※遮込み用土 ・遮込み用土 (23.3.2)(23.3.2)
	5 保証書	・保証書	※保証書 (23.3.2)
	23 植栽工事	1 植栽基礎 2 土壌改良材	※適用する ・適用しない (23.2.2)(23.2.3)
32 敷地境界石標	33 木製造付家具	34 人工屋上緑化	材料 ※塩化ビニル(緑物)ステンレスSUS304 ・ステンレスSUS304(緑物)ステンレスSUS304 材料 ※アルミニウム合金製 ○塩化ビニル製
	35 厨房機器	・表示	材料 ※塩化ビニル(緑物)ステンレスSUS304 ・ステンレスSUS304(緑物)ステンレスSUS304 材料 ※アルミニウム合金製 ○塩化ビニル製
	21 排水工事	① 排水管	材料 管の種類 継手
	② 排水網及びふた	・鋼製マンホールふた	形式 種 類
	③ グレーチング	材料 形式 材 質	形式 材 質
	22 舗装工事	① 路床安定処理 2 路床の試験 ② 路盤材料 ③ アスファルト舗装	添加材料 ※普通ポルトランドセメント ・路床土の支持力試験(※乱した土・乱さない土) ・路床締固め度の試験 (22.2.2)(22.2.5)(22.3.3) (22.4.3) (22.4.4)
	5 ブロック系舗装	1 植栽基礎 2 土壌改良材	※適用する ・適用しない (23.2.2)(23.2.3)
	3 遮込み用土	4 支柱材	※遮込み用土 ・遮込み用土 (23.3.2)(23.3.2)
	5 保証書	・保証書	※保証書 (23.3.2)
	23 植栽工事	1 植栽基礎 2 土壌改良材	※適用する ・適用しない (23.2.2)(23.2.3)
32 敷地境界石標	33 木製造付家具	34 人工屋上緑化	材料 ※塩化ビニル(緑物)ステンレスSUS304 ・ステンレスSUS304(緑物)ステンレスSUS304 材料 ※アルミニウム合金製 ○塩化ビニル製
	35 厨房機器	・表示	材料 ※塩化ビニル(緑物)ステンレスSUS304 ・ステンレスSUS304(緑物)ステンレスSUS304 材料 ※アルミニウム合金製 ○塩化ビニル製
	21 排水工事	① 排水管	材料 管の種類 継手
	② 排水網及びふた	・鋼製マンホールふた	形式 種 類
	③ グレーチング	材料 形式 材 質	形式 材 質
	22 舗装工事	① 路床安定処理 2 路床の試験 ② 路盤材料 ③ アスファルト舗装	添加材料 ※普通ポルトランドセメント ・路床土の支持力試験(※乱した土・乱さない土) ・路床締固め度の試験 (22.2.2)(22.2.5)(22.3.3) (22.4.3) (22.4.4)
	5 ブロック系舗装	1 植栽基礎 2 土壌改良材	※適用する ・適用しない (23.2.2)(23.2.3)
	3 遮込み用土	4 支柱材	※遮込み用土 ・遮込み用土 (23.3.2)(23.3.2)
	5 保証書	・保証書	※保証書 (23.3.2)
	23 植栽工事	1 植栽基礎 2 土壌改良材	※適用する ・適用しない (23.2.2)(23.2.3)
32 敷地境界石標	33 木製造付家具	34 人工屋上緑化	材料 ※塩化ビニル(緑物)ステンレスSUS304 ・ステンレスSUS304(緑物)ステンレスSUS304 材料 ※アルミニウム合金製 ○塩化ビニル製
	35 厨房機器	・表示	材料 ※塩化ビニル(緑物)ステンレスSUS304 ・ステンレスSUS304(緑物)ステンレスSUS304 材料 ※アルミニウム合金製 ○塩化ビニル製
	21 排水工事	① 排水管	材料 管の種類 継手
	② 排水網及びふた	・鋼製マンホールふた	形式 種 類
	③ グレーチング	材料 形式 材 質	形式 材 質
	22 舗装工事	① 路床安定処理 2 路床の試験 ② 路盤材料 ③ アスファルト舗装	添加材料 ※普通ポルトランドセメント ・路床土の支持力試験(※乱した土・乱さない土) ・路床締固め度の試験 (22.2.2)(22.2.5)(22.3.3) (22.4.3) (22.4.4)
	5 ブロック系舗装	1 植栽基礎 2 土壌改良材	※適用する ・適用しない (23.2.2)(23.2.3)
	3 遮込み用土	4 支柱材	※遮込み用土 ・遮込み用土 (23.3.2)(23.3.2)
	5 保証書	・保証書	※保証書 (23.3.2)
	23 植栽工事	1 植栽基礎 2 土壌改良材	※適用する ・適用しない (23.2.2)(23.2.3)
32 敷地境界石標	33 木製造付家具	34 人工屋上緑化	材料 ※塩化ビニル(緑物)ステンレスSUS304 ・ステンレスSUS304(緑物)ステンレスSUS304 材料 ※アルミニウム合金製 ○塩化ビニル製
	35 厨房機器	・表示	材料 ※塩化ビニル(緑物)ステンレスSUS304 ・ステンレスSUS304(緑物)ステンレスSUS304 材料 ※アルミニウム合金製 ○塩化ビニル製
	21 排水工事	① 排水管	材料 管の種類 継手
	② 排水網及びふた	・鋼製マンホールふた	形式 種 類
	③ グレーチング	材料 形式 材 質	形式 材 質
	22 舗装工事	① 路床安定処理 2 路床の試験 ② 路盤材料 ③ アスファルト舗装	添加材料 ※普通ポルトランドセメント ・路床土の支持力試験(※乱した土・乱さない土) ・路床締固め度の試験 (22.2.2)(22.2.5)(22.3.3) (22.4.3) (22.4.4)
	5 ブロック系舗装	1 植栽基礎 2 土壌改良材	※適用する ・適用しない (23.2.2)(23.2.3)
	3 遮込み用土	4 支柱材	※遮込み用土 ・遮込み用土 (23.3.2)(23.3.2)
	5 保証書	・保証書	※保証書 (23.3.2)
	23 植栽工事	1 植栽基礎 2 土壌改良材	※適用する ・適用しない (23.2.2)(23.2.3)
32 敷地境界石標	33 木製造付家具	34 人工屋上緑化	材料 ※塩化ビニル(緑物)ステンレスSUS304 ・ステンレスSUS304(緑物)ステンレスSUS304 材料 ※アルミニウム合金製 ○塩化ビニル製
	35 厨房機器	・表示	材料 ※塩化ビニル(緑物)ステンレスSUS304 ・ステンレスSUS304(緑物)ステンレスSUS304 材料 ※アルミニウム合金製 ○塩化ビニル製
	21 排水工事	① 排水管	材料 管の種類 継手
	② 排水網及びふた	・鋼製マンホールふた	形式 種 類
	③ グレーチング	材料 形式 材 質	形式 材 質
	22 舗装工事	① 路床安定処理 2 路床の試験 ② 路盤材料 ③ アスファルト舗装	添加材料 ※普通ポルトランドセメント ・路床土の支持力試験(※乱した土・乱さない土) ・路床締固め度の試験 (22.2.2)(22.2.5)(22.3.3) (22.4.3) (22.4.4)
	5 ブロック系舗装	1 植栽基礎 2 土壌改良材	※適用する ・適用しない (23.2.2)(23.2.3)
	3 遮込み用土	4 支柱材	※遮込み用土 ・遮込み用土 (23.3.2)(23.3.2)
	5 保証書	・保証書	※保証書 (23.3.2)
	23 植栽工事	1 植栽基礎 2 土壌改良材	※適用する ・適用しない (23.2.2)(23.2.3)
32 敷地境界石標	33 木製造付家具	34 人工屋上緑化	材料 ※塩化ビニル(緑物)ステンレスSUS304 ・ステンレスSUS304(緑物)ステンレスSUS304 材料 ※アルミニウム合金製 ○塩化ビニル製
	35 厨房機器	・表示	材料 ※塩化ビニル(緑物)ステンレスSUS304 ・ステンレスSUS304(緑物)ステンレスSUS304 材料 ※アルミニウム合金製 ○塩化ビニル製
	21 排水工事	① 排水管	材料 管の種類 継手
	② 排水網及びふた	・鋼製マンホールふた	形式 種 類
	③ グレーチング	材料 形式 材 質	形式 材 質
	22 舗装工事	① 路床安定処理 2 路床の試験 ② 路盤材料 ③ アスファルト舗装	添加材料 ※普通ポルトランドセメント ・路床土の支持力試験(※乱した土・乱さない土) ・路床締固め度の試験 (22.2.2)(22.2.5)(22.3.3) (22.4.3) (22.4.4)
	5 ブロック系舗装	1 植栽基礎 2 土壌改良材	※適用する ・適用しない (23.2.2)(23.2.3)
	3 遮込み用土	4 支柱材	※遮込み用土 ・遮込み用土 (23.3.2)(23.3.2)
	5 保証書	・保証書	※保証書 (23.3.2)
	23 植栽工事	1 植栽基礎 2 土壌改良材	※適用する ・適用しない (23.2.2)(23.2.3)
32 敷地境界石標	33 木製造付家具	34 人工屋上緑化	材料 ※塩化ビニル(緑物)ステンレスSUS304 ・ステンレスSUS304(緑物)ステンレスSUS304 材料 ※アルミニウム合金製 ○塩化ビニル製
	35 厨房機器	・表示	材料 ※塩化ビニル(緑物)ステンレスSUS304 ・ステンレスSUS304(緑物)ステンレスSUS304 材料 ※アルミニウム合金製 ○塩化ビニル製
	21 排水工事	① 排水管	材料 管の種類 継手
	② 排水網及びふた	・鋼製マンホールふた	形式 種 類
	③ グレーチング	材料 形式 材 質	形式 材 質
	22 舗装工事	① 路床安定処理 2 路床の試験 ② 路盤材料 ③ アスファルト舗装	添加材料 ※普通ポルトランドセメント ・路床土の支持力試験(※乱した土・乱さない土) ・路床締固め度の試験 (22.2.2)(22.2.5)(22.3.3) (22.4.3) (22.4.4)
	5 ブロック系舗装	1 植栽基礎 2 土壌改良材	※適用する ・適用しない (23.2.2)(23.2.3)
	3 遮込み用土	4 支柱材	※遮込み用土 ・遮込み用土 (23.3.2)(23.3.2)
	5 保証書	・保証書	※保証書 (23.3.2)
	23 植栽工事	1 植栽基礎 2 土壌改良材	※適用する ・適用しない (23.2.2)(23.2.3)
32 敷地境界石標	33 木製造付家具	34 人工屋上緑化	材料 ※塩化ビニル(緑物)ステンレスSUS304 ・ステンレスSUS304(緑物)ステンレスSUS304 材料 ※アルミニウム合金製 ○塩化ビニル製
	35 厨房機器	・表示	材料 ※塩化ビニル(緑物)ステンレスSUS304 ・ステンレスSUS304(緑物)ステンレスSUS304 材料 ※アルミニウム合金製 ○塩化ビニル製
	21 排水工事	① 排水管	材料 管の種類 継手
	② 排水網及びふた	・鋼製マンホールふた	形式 種 類
	③ グレーチング	材料 形式 材 質	形式 材 質
	22 舗装工事	① 路床安定処理 2 路床の試験 ② 路盤材料 ③ アスファルト舗装	添加材料 ※普通ポルトランドセメント ・路床土の支持力試験(※乱した土・乱さない土) ・路床締固め度の試験 (22.2.2)(22.2.5)(22.3.3) (22.4.3) (22.4.4)
	5 ブロック系舗装	1 植栽基礎 2 土壌改良材	※適用する ・適用しない (23.2.2)(23.2.3)
	3 遮込み用土	4 支柱材	※遮込み用土 ・遮込み用土 (23.3.2)(23.3.2)
	5 保証書	・保証書	※保証書 (23.3.2)
	23 植栽工事	1 植栽基礎 2 土壌改良材	※適用する ・適用しない (23.2.2)(23.2.3)
32 敷地境界石標	33 木製造付家具	34 人工屋上緑化	材料 ※塩化ビニル(緑物)ステンレスSUS304 ・ステンレスSUS304(緑物)ステンレスSUS304 材料 ※アルミニウム合金製 ○塩化ビニル製
	35 厨房機器	・表示	材料 ※塩化ビニル(緑物)ステンレスSUS304 ・ステンレスSUS304(緑物)ステンレスSUS304 材料 ※アルミニウム合金製 ○塩化ビニル製
	21 排水工事	① 排水管	材料 管の種類 継手
	② 排水網及びふた	・鋼製マンホールふた	形式 種 類
	③ グレーチング	材料 形式 材 質	形式 材 質
	22 舗装工事	① 路床安定処理 2 路床の試験 ② 路盤材料 ③ アスファルト舗装	添加材料 ※普通ポルトランドセメント ・路床土の支持力試験(※乱した土・乱さない土) ・路床締固め度の試験 (22.2.2)(22.2.5)(22.3.3) (22.4.3) (22.4.4)
	5 ブロック系舗装	1 植栽基礎 2 土壌改良材	※適用する ・適用しない (23.2.2)(23.2.3)
	3 遮込み用土	4 支柱材	※遮込み用土 ・遮込み用土 (23.3.2)(23.3.2)
	5 保証書	・保証書	※保証書 (23.3.2)
	23 植栽工事	1 植栽基礎 2 土壌改良材	※適用する ・適用しない (23.2.2)(23.2.3)
32 敷地境界石標	33 木製造付家具	34 人工屋上緑化	材料 ※塩化ビニル(緑物)ステンレスSUS304 ・ステンレスSUS304(緑物)ステンレスSUS304 材料 ※アルミニウム合金製 ○塩化ビニル製
	35 厨房機器	・表示	材料 ※塩化ビニル(緑物)ステンレスSUS304 ・ステンレスSUS304(緑物)ステンレスSUS304 材料 ※アルミニウム合金製 ○塩化ビニル製
	21 排水工事	① 排水管	材料 管の種類 継手
	② 排水網及びふた	・鋼製マンホールふた	形式 種 類
	③ グレーチング	材料 形式 材 質	形式 材 質
	22 舗装工事	① 路床安定処理 2 路床の試験 ② 路盤材料 ③ アスファルト舗装	添加材料 ※普通ポルトランドセメント ・路床土の支持力試験(※乱した土・乱さない土) ・路床締固め度の試験 (22.2.2)(22.2.5)(22.3.3) (22.4.3) (22.4.4)
	5 ブロック系舗装	1 植栽基礎 2 土壌改良材	※適用する ・適用しない (23.2.2)(23.2.3)
	3 遮込み用土	4 支柱材	※遮込み用土 ・遮込み用土 (23.3.2)(23.3.2)
	5 保証書	・保証書	※保証書 (23.3.2)
	23 植栽工事	1 植栽基礎 2 土壌改良材	※適用する ・適用しない (23.2.2)(23.2.3)
32 敷地境界石標	33 木製造付家具	34 人工屋上緑化	材料 ※塩化ビニル(緑物)ステンレスSUS304 ・ステンレスSUS304(緑物)ステンレスSUS304 材料 ※アルミニウム合金製 ○塩化ビニル製
	35 厨房機器	・表示	材料 ※塩化ビニル(緑物)ステンレスSUS304 ・ステンレスSUS304(緑物)ステンレスSUS304 材料 ※アルミニウム合金製 ○塩化ビニル製
	21 排水工事	① 排水管	材料 管の種類 継手
	② 排水網及びふた	・鋼製マンホールふた	形式 種 類
	③ グレーチング	材料 形式 材 質	形式 材 質
	22 舗装工事	① 路床安定処理 2 路床の試験 ② 路盤材料 ③ アスファルト舗装	添加材料 ※普通ポルトランドセメント ・路床土の支持力試験(※乱した土・乱さない土) ・路床締固め度の試験 (22.2.2)(22.2.5)(22.3.3) (22.4.3) (22.4.4)
	5 ブロック系舗装	1 植栽基礎 2 土壌改良材	※適用する ・適用しない (23.2.2)(23

膜工事特記仕様書(骨組膜構造)

1. 共通事項

1-1. 本特記仕様書は膜工事に該当する部分にのみ適用する。

1-2. 本特記仕様書に記載のない事項は、共通仕様書の該当部分を適用する。

1-3. 設計図書の優先順位は下記による。

1) 現場打合せ事項

2) 質疑回答書及び補足説明事項

3) 本特記仕様書

4) 設計図書及び共通仕様書補足事項

5) 共通仕様書

1-4. 検査の立合いは現場打合せにより決定する。

2. 建築概要

2-1. 工事名称

令和7年度 美原防災スポーツセンター（仮称）建設工事

2-2. 所在地

長野県伊那市美原7867番地3 ほか

2-3. 用途

屋内運動場

2-4. 工事種別

■新築 □増築 □改築 □移転 □その他（ ）

2-6. 防火地域

□防火地域 □準防火地域 ■22条区域 □指定なし

2-7. 構造

□骨組膜構造 ■S造 □RC造 □SRC造 □木造 □その他

2-8. 面積

膜屋根水平投影面積 3.116.1㎡

2-9. 階数

地上 1階 地下 ー階 膜構造部分階 ー階

2-10. 高さ

最高高さ 17.400m 最高軒高さ 9.9702m 膜構造部分最高高さ 17.400m

3. 構造設計条件（膜屋根部に限る）

1. 固定荷重

膜材 13 N/㎡
鉄骨（鋼木） 300 N/㎡

2. 積雪荷重

設計荷重 積雪荷重 S = d・ρ
長期荷重 垂直積雪量 d = 55 cm
短期荷重 単位荷重 ρ = 20 N/㎡/cm
1.100 N/㎡ □長期低減 □勾配低減

3. 風荷重

設計荷重 速度圧: q=0.6Ez² 947 N/㎡ 相対区分 I II Ⅲ IV
長期荷重 速度圧算出高さ 13.770 m
E=1.754 速度圧の 有 1.15
短期荷重 速度圧: V₀=30 m/s 低減 割増 □無 1.0
1.089 N/㎡
□風洞実験の結果による

4. 地震荷重

地震層せん断力 C1= 0.25 （膜構造部分）

5. 初期張力

膜 タテ糸方向 1.96 kN/m
ヨコ糸方向 1.96 kN/m

4. 膜工事

1. 一般事項

膜工事は施工要領書に基づいて行う他、必要に応じて係員と協議の上、施工する。
指示のない限り下記による。

2. 認定

■国土交通省告示664号（膜材料品質基準）
■国土交通省告示666号（膜構造の技術的基準）
□国土交通省告示667号（膜構造のうちテント倉庫建築物の技術的基準）
□大臣認定 ■確認申請 □その他（ ）

3. 構造形式

■骨組膜構造 □開閉式膜構造

4. 提出書類

■膜製作要領書
■膜施工要領書
■膜製品検査書
■国土交通大臣認定品を使用 □防災認定膜材

5. 膜材料

品名: I 【屋根 A種膜材料】 厚み 0.8mm±0.1mm
■FGT-800（四フッ化エチレン樹脂コーティングガラス繊維布・酸化チタン含有）
建築材料の認定（建築基準法第68条の26第1項に関する認定番号）
■MEM-9029
基準強度の指定（H14国土交通省告示666号 第8）
■MEM-9029
不燃材料の認定（建築基準法第68条の26第1項）
■NM-6665
■製品検査（自主検査） □製品検査（立会い）

6. 検査

■（一社）日本膜構造協会 第1種正会員であること

7. 膜施工

■膜体加工は協会 膜体加工工場認定（上級グレード・A種膜材）の工場であること。
■膜施工管理者は協会認定の膜施工管理技術者S種を取得していること。
■ISO9001 取得企業であること

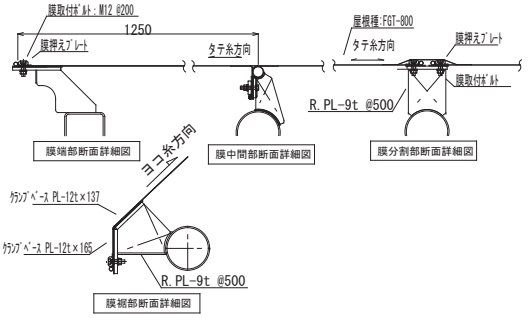
8. 接合部

□熱風溶着接合 □縫製接合 □高周波溶着接合 □熱板溶着接合
接合幅: □30mm □40mm ■50mm ■75mm
分割部 膜相互接合部

9. 膜取付部

□取付ロープ・ハトメ
ハトメ □ステンレス □黄銅 □アルミニウム ■ニッケル
ロープ □ビニロン JIS L2703（ビニロンロープ）-1992
□ポリエステル □その他（ ）

■ボルト・プレート押さえ（フラップ定着膜）
膜定着プレート ■アルミプレート（A-6061-T6）アルマイト・クリア仕上
FB-12t×50、FB-15t×50
□アルミプレート FB-9t
膜定着ボルト ■SS400（溶融亜鉛メッキ） □SUS304
膜定着ナット ■SS400（溶融亜鉛メッキ） □SUS304
平ワッシャー ■SS400（溶融亜鉛メッキ） □SUS304
スプリングワッシャー ■SS400（溶融亜鉛メッキ） □SUS304
ゴム ■クロロブレンゴム（CR 黒） □ハイバロンゴム（CSM 白）
樹脂キャップ □有 ■無



5. 鉄骨工事（膜工事に該当する部分のみ適用する）

1. 一般事項

指示のない限り下記による。

■日本建築学会「JASS6（2007年版）」「鉄骨工事技術指針」
■日本建築学会「鋼管構造設計施工指針・同解説（1990年版）」

2. 材料

	種類	使用箇所	現場溶接	備考
鋼材	■SS400 □SM490A・B	PL部	□有 □無	
	■SS490 □NS490C	ベースPL	□有 □無	
	■STKR400 □STK490	二次部材	■有 ■無	
	■STKR400 □STKR490		□有 □無	
	□SS400		□有 □無	
	■BGR295		□有 □無	

3. ボルト

□高力ボルト
□F10T □S10T ■F8T（溶融亜鉛めっき） □その他（ ）

4. 提出書類

■製作要領書 ■施工計画書

5. 検査項目

■材料規格証明書または試験成績書
■鋼材 ■高力ボルト □特殊ボルト □スタッドボルト

6. 接合部の検査

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数	
		社内	第三者
■突合せ溶接部	■超音波探傷試験	全数	
	■外観（目視）検査	全数	
■隅肉溶接部	■外観（目視）検査	全数	
	□-		
□鋼管分岐継手	■磁粉探傷試験		
	■外観（目視）検査	全数	
	□-		

□現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。
第三者検査機関とは建築主、工事監理者又は工事施工者が受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社を言う。

■高力ボルト接合
■高力ボルトは「JIS B1186の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は、黒皮などを産金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した赤さび状態であること。すべり係数はμ=0.40以上とする。

■締付けは原則として2度締めとする。

■締付け後の検査は各締付工法別に適切な締付けが行われているか検査する。
■トルクコントロール法
■ナット回転法
□トルシア形高力ボルト

7. 溶融亜鉛めっき

1. 一般事項

指示のない限り下記による。

■JIS H 8641

2. 種類

□1種
□HDZT 35 □HDZT 42
■2種
□HDZT 49 □HDZ 56 □HDZT 63 ■HDZT 70 ■HDZT 77
49 μm以上 56 μm以上 63 μm以上 70 μm以上 77 μm以上
（≧2mmの厚材） （≧2.5mmの厚材） （≧2.5mmの厚材） （≧2.5mmの厚材）

3. 前処理

■鋼材受け入れ後の前処理
■脱脂 ■酸洗 □プラスト □フラックス処理

4. 検査

検査は外観検査を全部材について行う。
※溶融亜鉛メッキ証明書

8. 塗装

1. 一般事項

□日本建築学会「JASS 18」「塗装工事」
□塗装材料は日本産業規格（JIS）または建築学会材料規格に適合するものとする。

2. 仕様

■錆止め 構造特記仕様書 6. (6)による
※ただし、鋼縁類については錆止め塗料を仕上し、既製のカラー鋼材（錆止め塗装）を使用する場合、加工後の切り口、穴あけ部位を含め、錆止め塗料にて仕上塗装を行うこと。
※補修塗装とは、運搬中、施工中に塗装が傷ついた部位にのみ行う行為をいう。
塗膜が目立つ凹凸や塵埃はサンドペーパー等で平滑にした後、再塗装とする。
塗装厚が不足した場合は塗り増しとする。
塗装対象は溶融亜鉛鍍金仕上以外の部材とする。
（原則として屋内・外から見えない部位に限る。）

3. 対象部材

経 城 取 建 築 設 計 事 務 所

一級建築士事務所 経城取建築設計事務所
長野県伊那市美原7867番地3 ほか
〒396-0026 長野県伊那市西町5863番地1 TEL. 0265 (72) 7271

図面を作成した建築士 一級建築士 大田豊樹 第34915号
図面を作成した建築士 一級建築士 大田豊樹 第34915号
凡例 備考
酒 井 俊

工事名称

令和7年度 美原防災スポーツセンター（仮称）建設 建築工事

図面名称

膜構造特記仕様書

SCALE

[A1]・No Scale
[A3]・No Scale

年 月 日

R 7. 3

No.

D-04

■敷地概要
住 所：伊那市美原7867番地3ほか
用途地域：用途地域の指定のない区域
防火地域：法第22条地域
敷地面積：8,853.33㎡
景観地区：景観計画地区（田園）

■建物概要
5 用途：屋内スポーツ練習場
5 構造：鉄骨造平屋建て
5 建築面積：2,904.95㎡
5 延床面積：2,752.77㎡

付近見取図 No Scale

美原公園

北面

計画建物
F.L. = 708.93
(設計G.L. = 708.78)

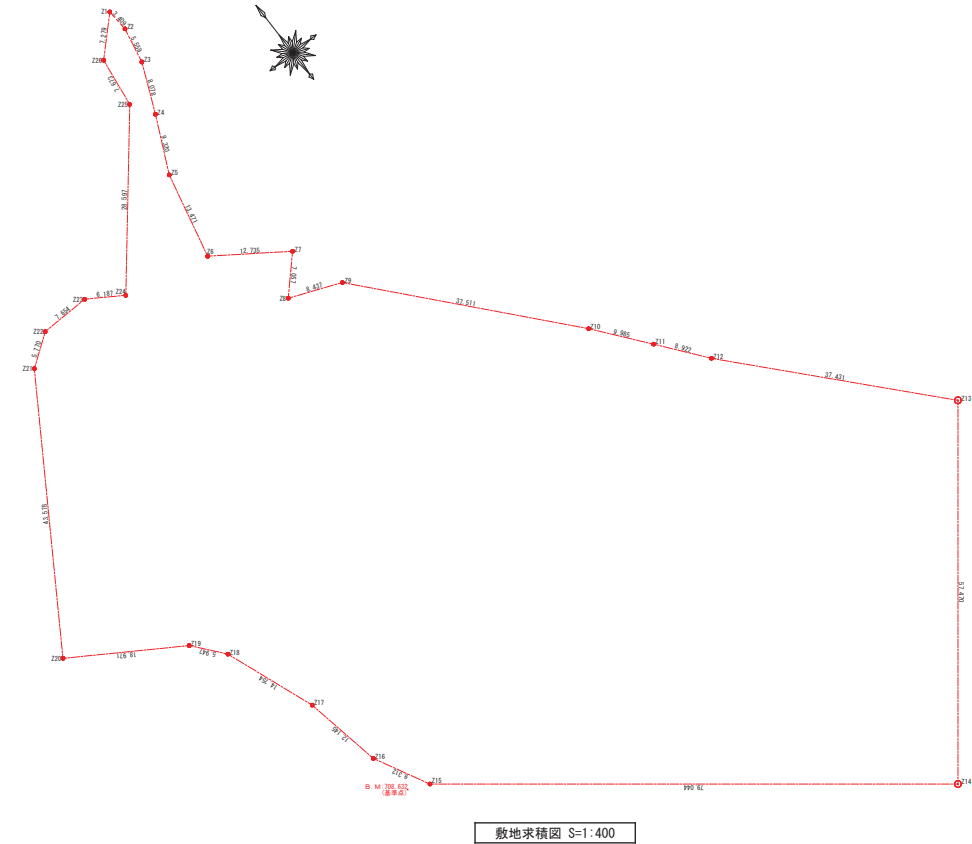
東面

美原公園

南面

仮設工事 凡例
・ 〰〰〰〰〰〰 仮設フェンス 高さ1.5m
・ 〰〰〰〰〰〰 仮設フェンス 高さ1.5m
・ 〰〰〰〰〰〰 仮設フェンス 高さ1.5m
※敷地面積：5,201.524㎡(約) 705㎡

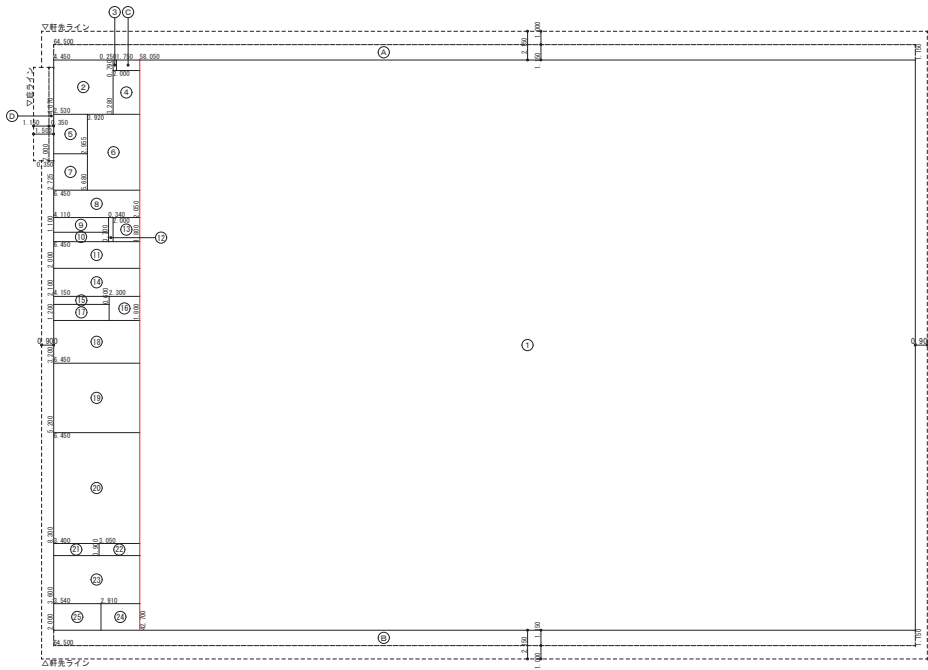
±800 設計G.L. (708.93) からの仕上高さ



敷地求積図 S=1:400

□座標面積計算表

座標点	X _n (m)	Y _n (m)	(X _{n+1} - X _n) × Y _n
21	-44.615	115.446	372.16902
22	-42.340	113.909	547.29456
23	-39.811	108.958	495.921768
24	-37.788	101.137	414.48090
25	-35.713	92.051	720.086782
26	-29.866	79.686	1474.560501
27	-17.253	80.617	973.482715
28	-17.891	73.589	549.498975
29	-9.786	75.932	3414.995630
210	27.084	69.024	3213.413259
211	36.799	66.716	1226.32414
212	45.465	64.593	2943.171384
213	82.363	58.302	2151.289504
214	162.363	0.832	-65.163734
215	3.319	0.832	-72.828420
216	-5.168	4.666	-82.256008
217	-14.310	12.661	-275.578080
218	-26.834	20.297	-374.090740
219	-32.725	21.586	-532.711477
220	-51.613	19.669	-455.658279
221	-55.906	63.035	-169.048839
222	-54.294	68.576	516.306117
223	-48.377	73.426	886.721256
224	-42.219	74.026	499.03644
225	-41.635	102.617	-340.398221
226	-45.536	109.225	-325.535045
敷地面積	敷地面積	敷地面積	敷地面積
8,853.33 m ²	敷地面積	敷地面積	敷地面積



計画建物求積図 S=1:200

□床面積算定

番号	計算式 (m ²)	室名	防火区画 (m ²)
①	42.700 x 58.050 = 2,478.7350	アリーナ	令第112条第1項第1号適用
②	4.070 x 4.450 = 18.1115	管理室	
③	0.790 x 0.250 = 0.1975		
④	3.280 x 2.000 = 6.5600	倉庫	
⑤	2.955 x 2.530 = 7.4762	風呂室	
⑥	5.680 x 3.920 = 22.2656	エントランスホール	
⑦	2.725 x 2.530 = 6.8943	多目的トイレ	
⑧	2.050 x 6.450 = 13.2225	男子トイレ	
⑨	1.100 x 4.110 = 4.5210	男子更衣室	
⑩	0.700 x 4.110 = 2.8770	男子更衣室	
⑪	2.000 x 6.450 = 12.9000	男子更衣室	
⑫	1.800 x 0.340 = 0.6120		
⑬	1.800 x 2.000 = 3.6000	アルコーブ1	
⑭	2.100 x 6.450 = 13.5450	女子更衣室	
⑮	0.600 x 4.150 = 2.4900	女子更衣室	
⑯	1.800 x 2.300 = 4.1400	アルコーブ2	
⑰	1.200 x 4.150 = 4.9800	女子トイレ	
⑱	3.200 x 6.450 = 20.6400	会議室1	
⑲	5.200 x 6.450 = 33.5400	会議室2	
㉑	8.300 x 6.450 = 53.3350	会議室2	
㉒	0.900 x 3.400 = 3.0600	収納	
㉓	0.900 x 3.050 = 2.7450	器具庫	
㉔	3.600 x 6.450 = 23.2200		
㉕	2.000 x 2.910 = 5.8200		
㉖	2.000 x 3.540 = 7.0800	消火栓ポンプ室	
㉗	合計(延べ床面積)	2,762.7676	

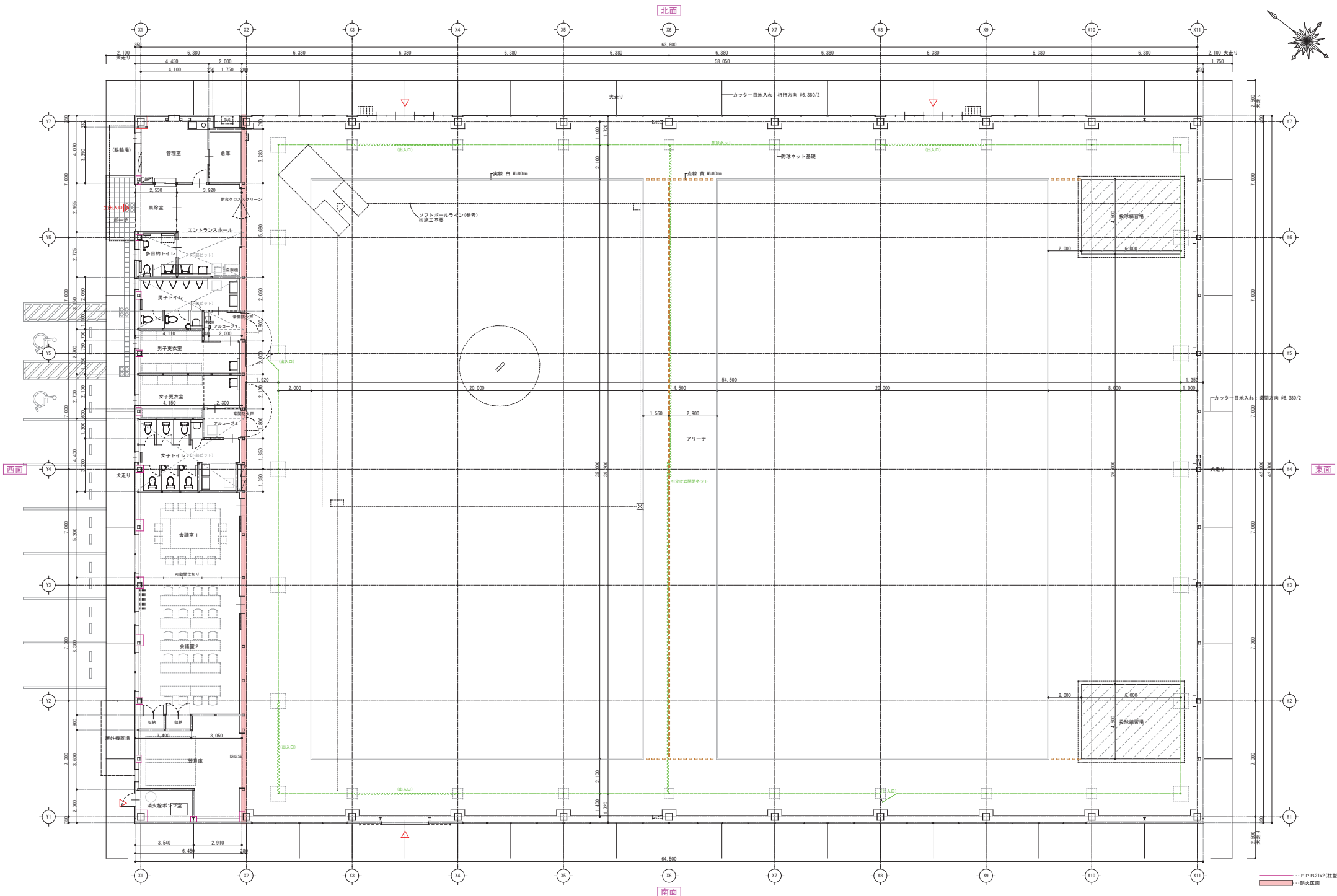
□建築積算定

番号	計算式 (m ²)	備考
①	1.150 x 64.500 = 74.1750	群の出
②	1.150 x 64.500 = 74.1750	群の出
③	0.790 x 1.750 = 1.3825	群の出
④	0.350 x 7.000 = 2.4500	底の出
⑤	2.752.7676	延床面積
合計(建築面積)	2,804.8801	

外 壁	基 礎	普通型枠コンクリート打渡し 上り：塗装型枠コンクリート打渡し+撥水性超耐候形特殊シリコン樹脂塗装 [セラムガードNE0/エスケール研削 同等品]
	外 壁	①: A L C t=100(ヨコ張り)+防水形透湿複層塗材E [ダンツコート(上塗材S1)/エスケール研削 同等品] ②: 鉄骨鋼縁+透湿防水シート+窓系サiding t=16(ヨコ張り) [フラットウォール/ニチハ㈱ 同等品] ③: 鉄骨鋼縁+透湿防水シート+カラーアルミロールスパン dレールt=0.6(タテ張り) H=20 [AK156/アサヒ金属㈱ 同等品]
		④: A L C t=50(ヨコ張り)+防水形透湿複層塗材E
		屋 根 四フッ化エチレン樹脂コーティングガラス繊維布t=0.8(酸化チタン含有)
軒 天	LGS+KB6EP	
アルミ庇	アルミ押出型材(既製品)D=1,500/L=7,000 [AD2-2T/アルフイン㈱ 同等品] ※内部ナット止め/化粧錠付先端部/LED照明(2ヶ)	
犬 走 り	コンクリート同時期毛引き仕上 風除室前: 300口磁器タイル [フォスキー/㈱LIXIL 同等品]	

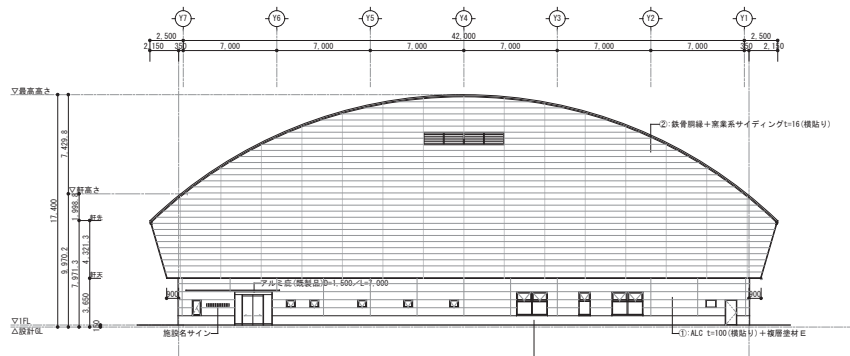
[illegible]

 株式会社 堀取建築設計事務所	一級建築士事務所登録 長 野 県 知 事 登 録 (伊)第14第7Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大庭登樹第344915号	図面を作成した建築士 二級建築士 酒 井 優	凡例 備考	工事名称 令和7年度 美原防災スポーツセンター(仮称) 建設 建築工事	図面名称 仕上表 1	SCALE [A1]・No Scale	年 月 日 R 7 . 3	No. D-07
							[A3]・No Scale		

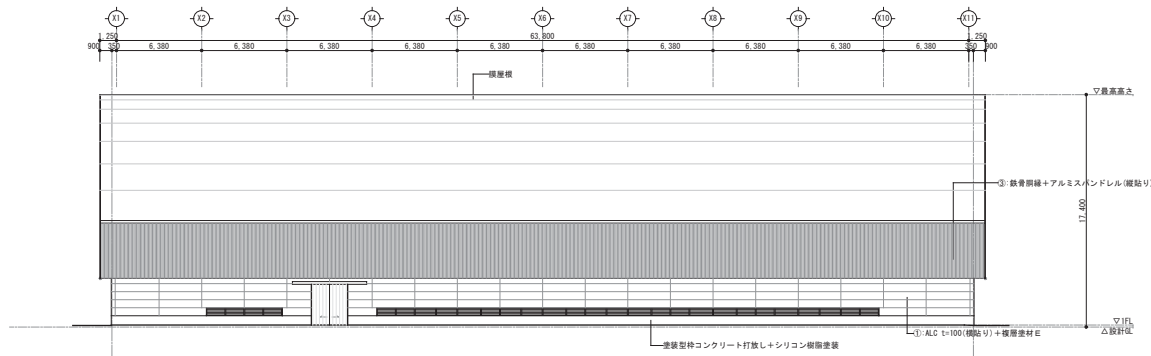




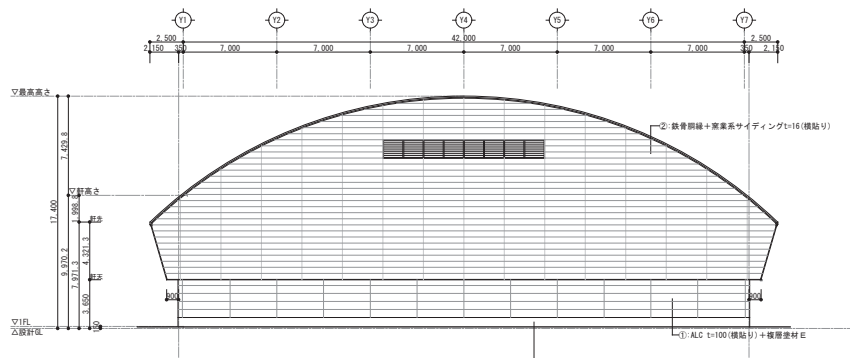
屋根伏図



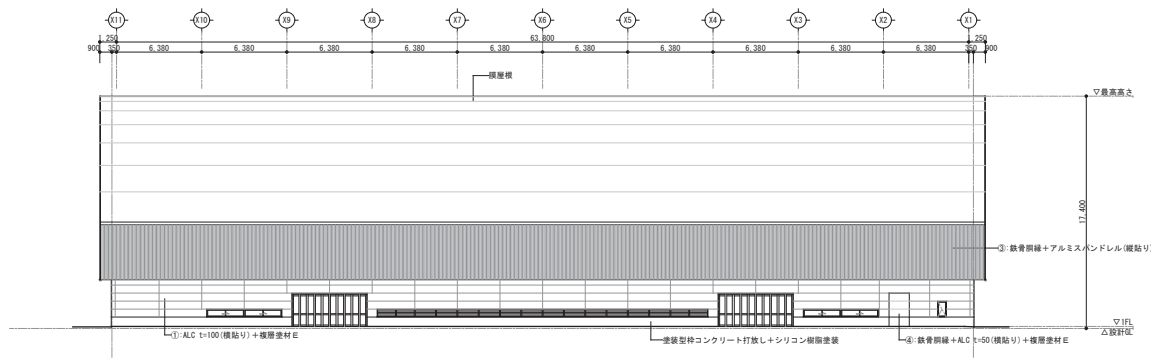
西側立面図



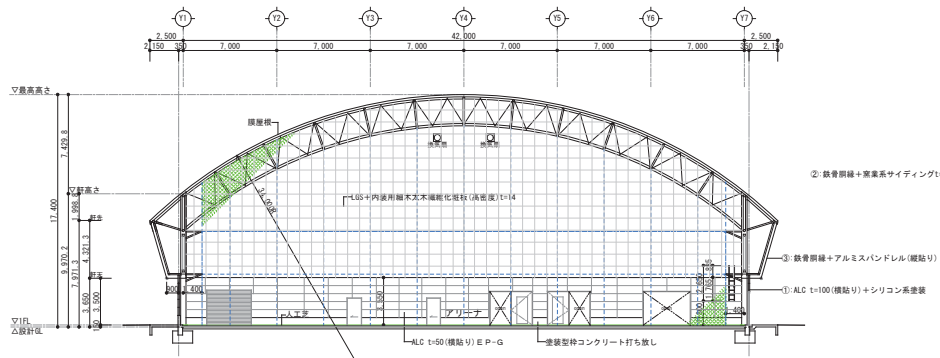
南側立面図



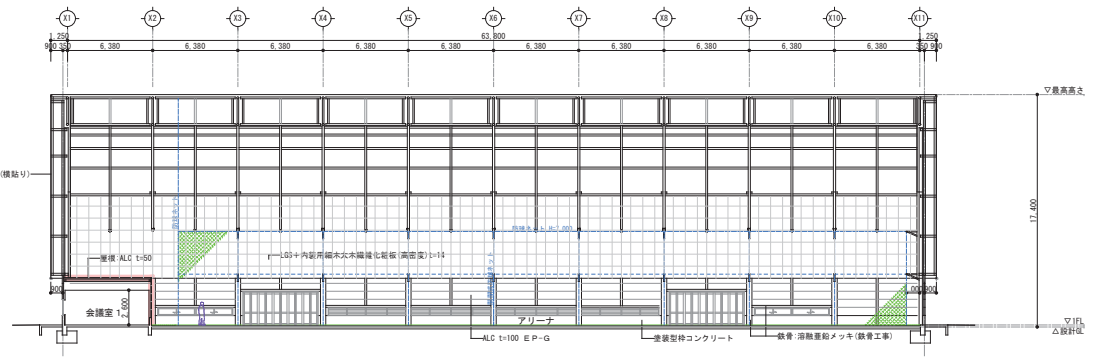
東側立面図



北側立面図

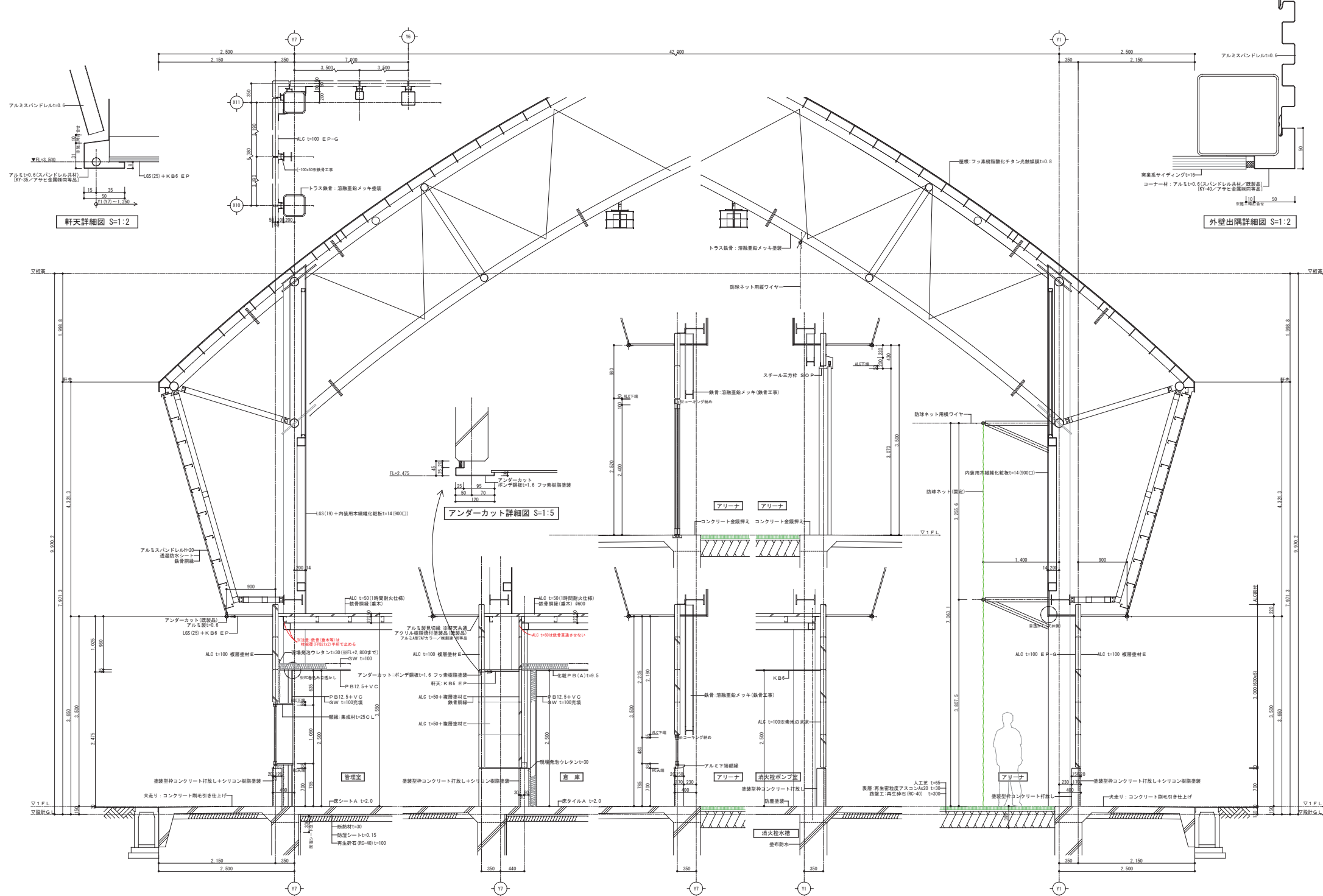


南北断面図

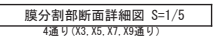
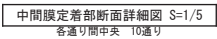
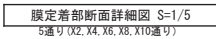
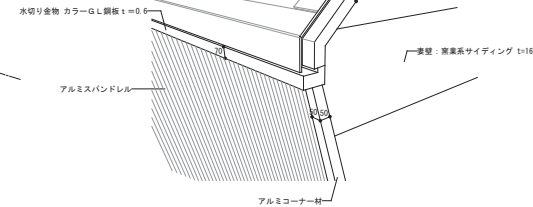
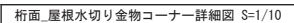
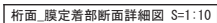
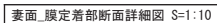


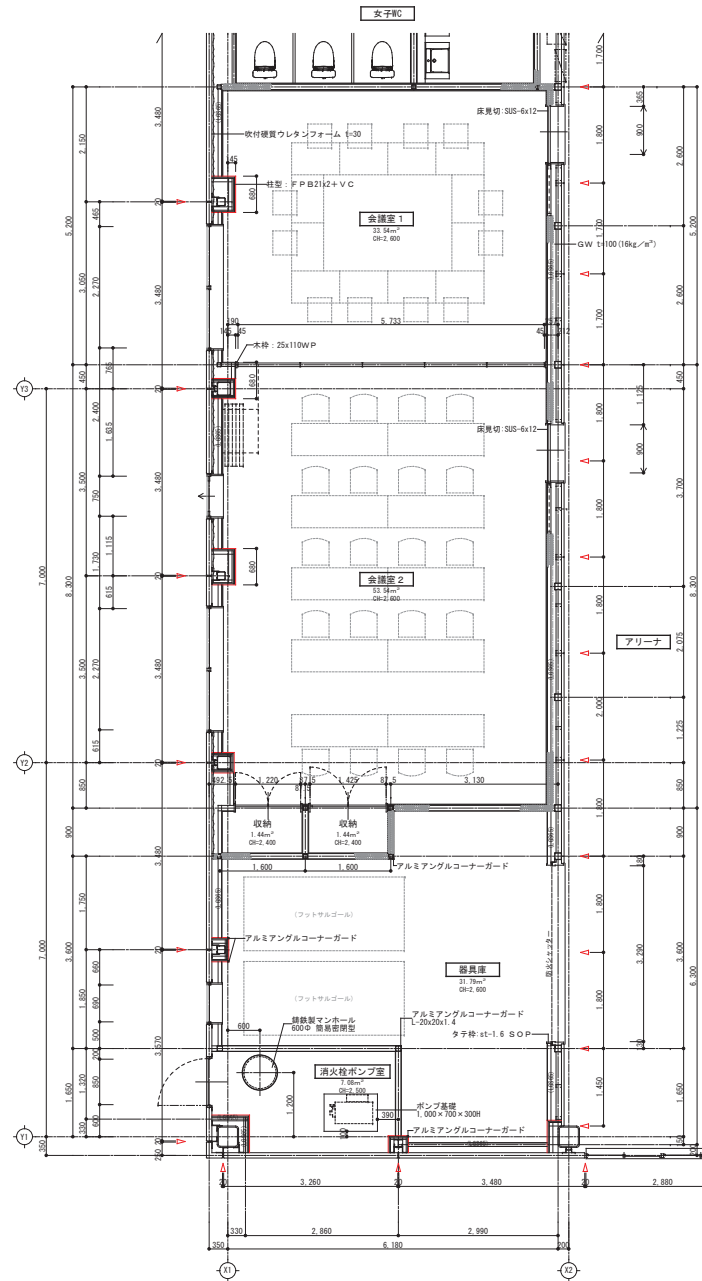
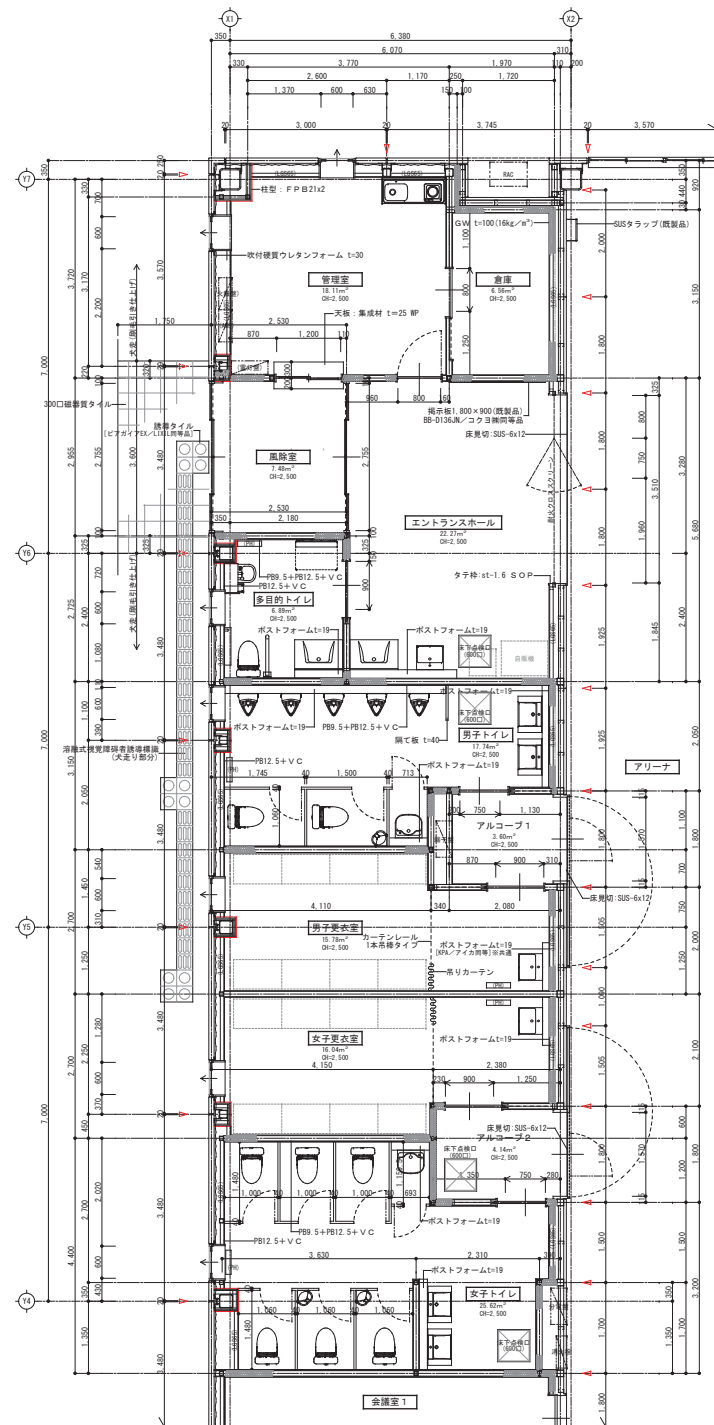
東西断面図

防火区画



⑤ 蛭城取建築設計事務所 〒339-0026 長野県伊那市南町5863番地1 / TEL. 0265 (72) 7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)第75051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大庭豊樹(第344815号)	図面を作成した建築士 一級建築士 酒井 優	凡例 備考	工事名称 令和7年度 美原防災スポーツセンター(仮称)建設 建築工事	図面名称 矩計図 1	SCALE [A1]・1:30 [A3]・1:60	年月日 R.7.3	No. D-11

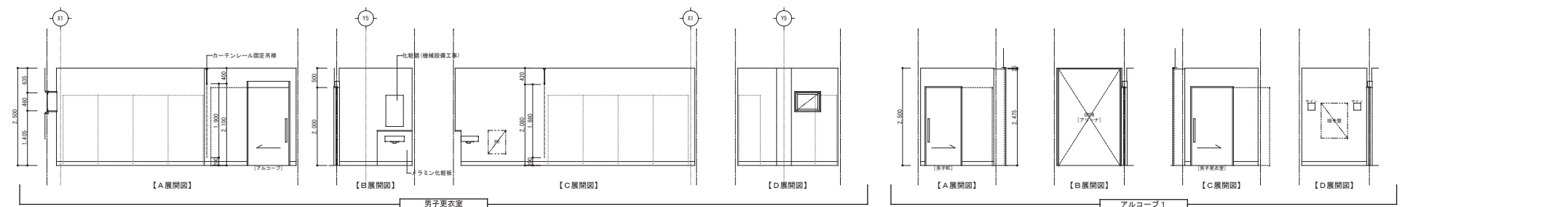
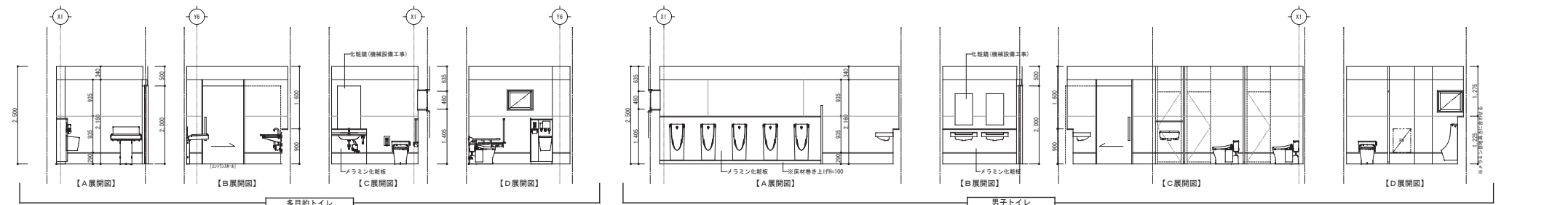
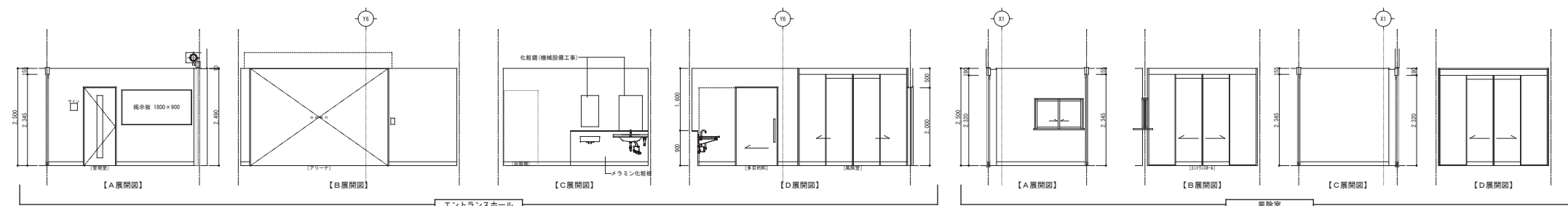
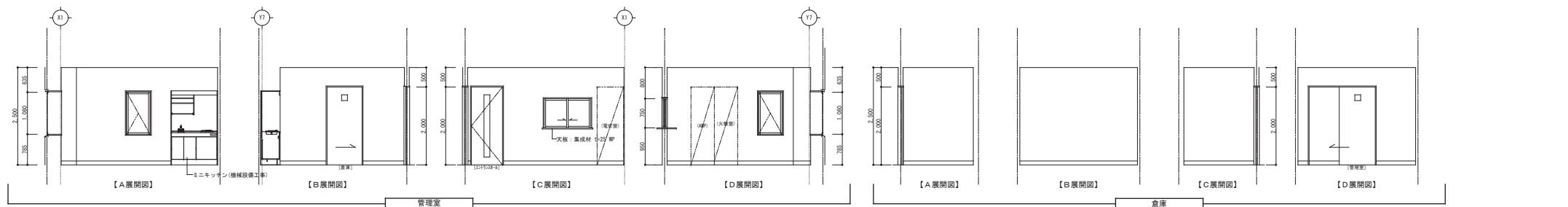




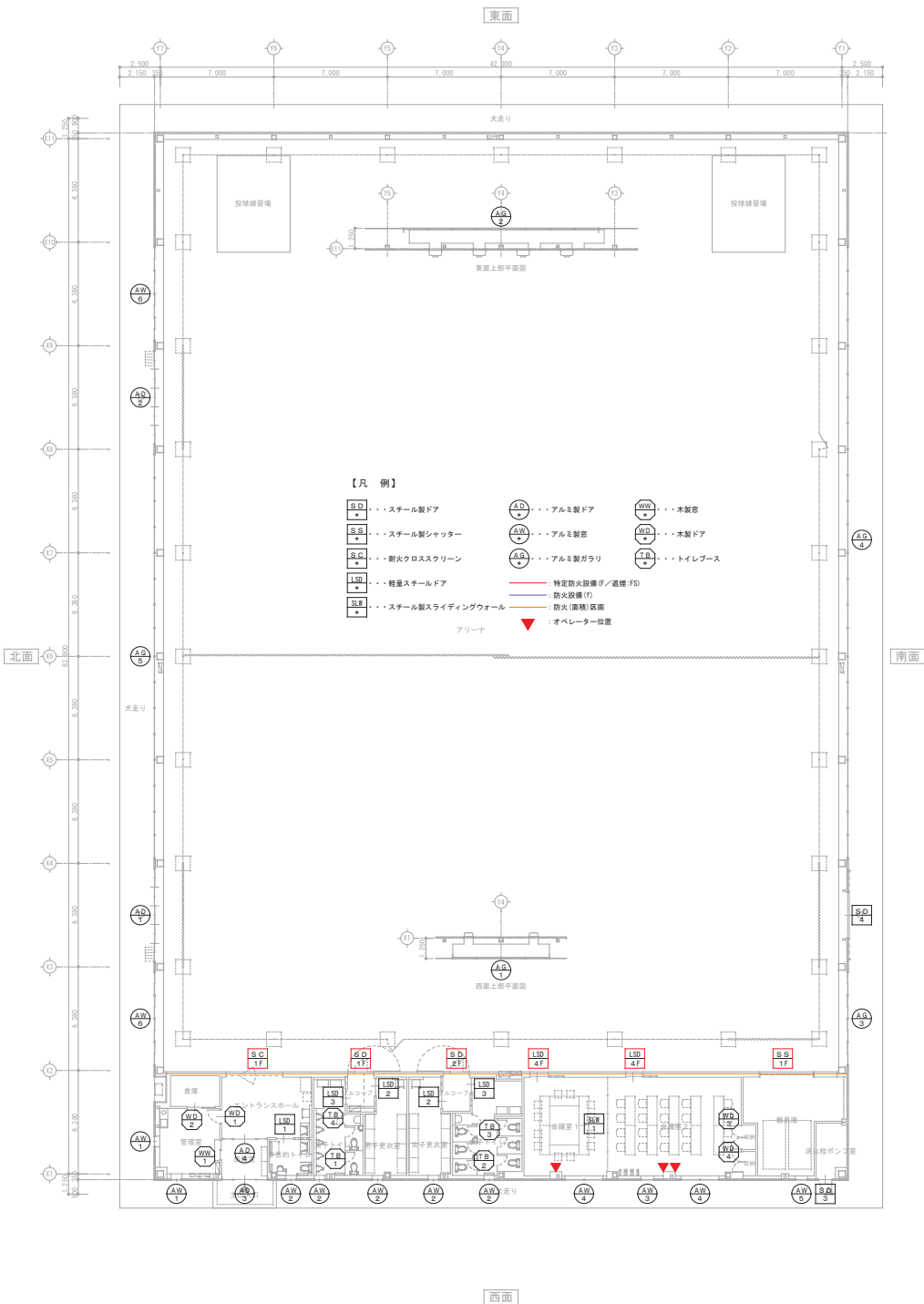
— F P B21x2 (柱型) 耐火構造 FP060MP-007
 ▲ ALCジョイント(点線は上部ジョイント位置を表す)
 ※特記なき軽量鉄骨間仕切りは100型とする



◎ 株式会社 堀取建築設計事務所 〒339-0026 長野県伊那市西町5863番地1 TEL 0265 (72) 7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)第7Y051号 酒井 優	図面を作成した建築士 一級建築士 大田金太郎 144815号	図面を作成した建築士 一級建築士 大田金太郎 144815号	凡例 備考	工事名称 令和7年度 美原防災スポーツセンター(仮称)建設 建築工事	図面名称 平面詳細図2 アリーナ	SCALE [A1]・1:50 [A3]・1:100	年月日 R7.3	No. D-15
---	---	--	--	------------------------------	--	--	--	--------------------------------	--------------------------------

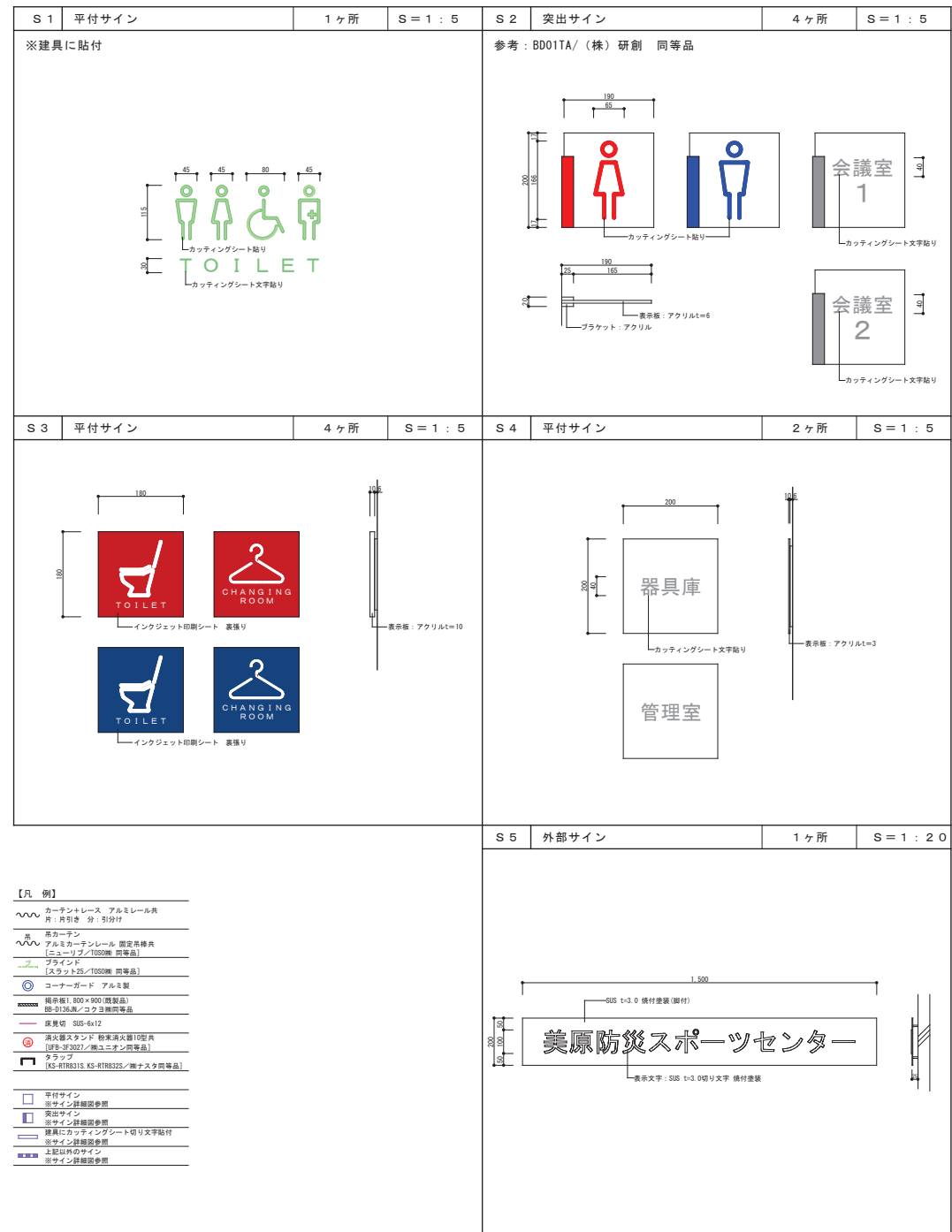
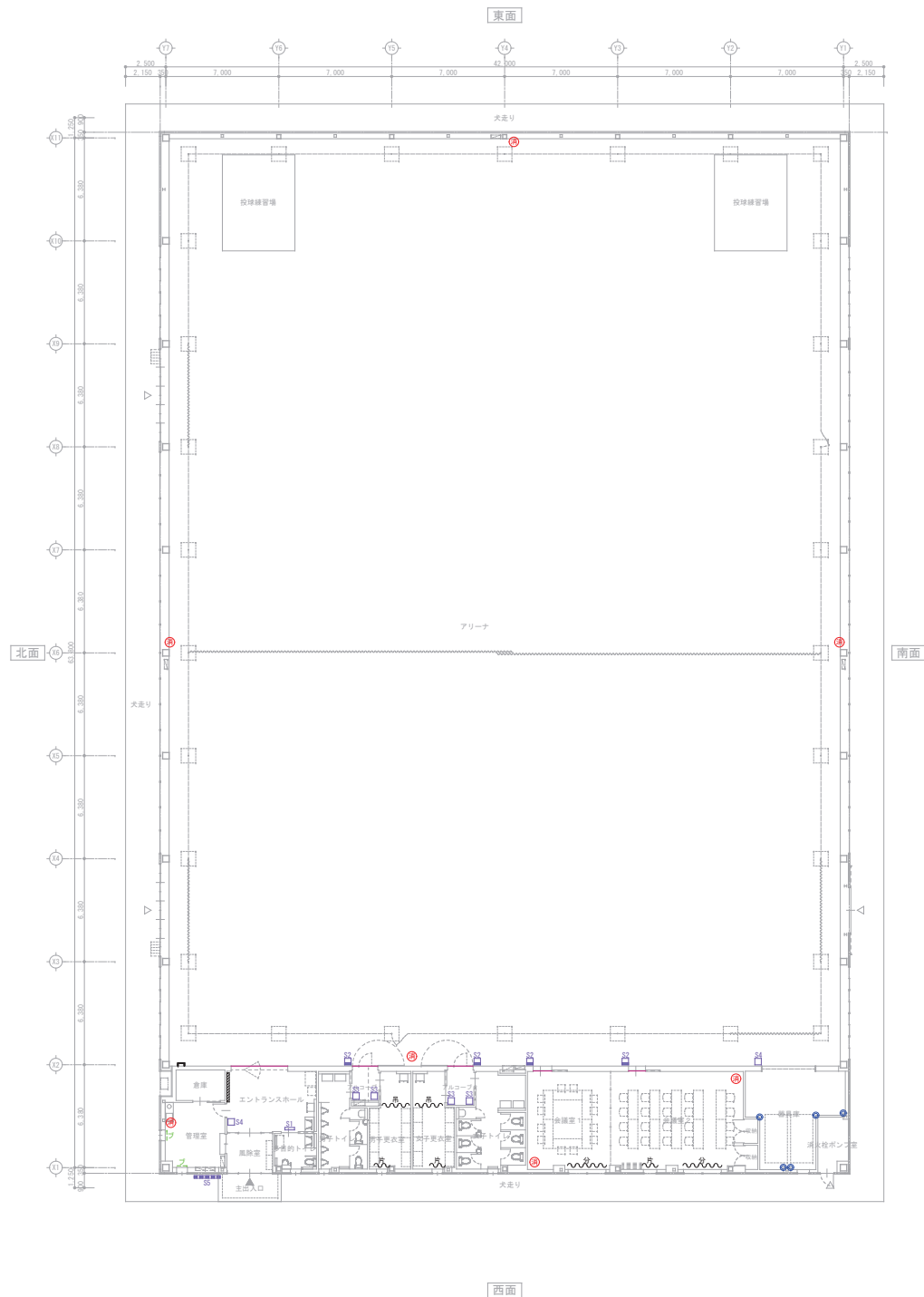


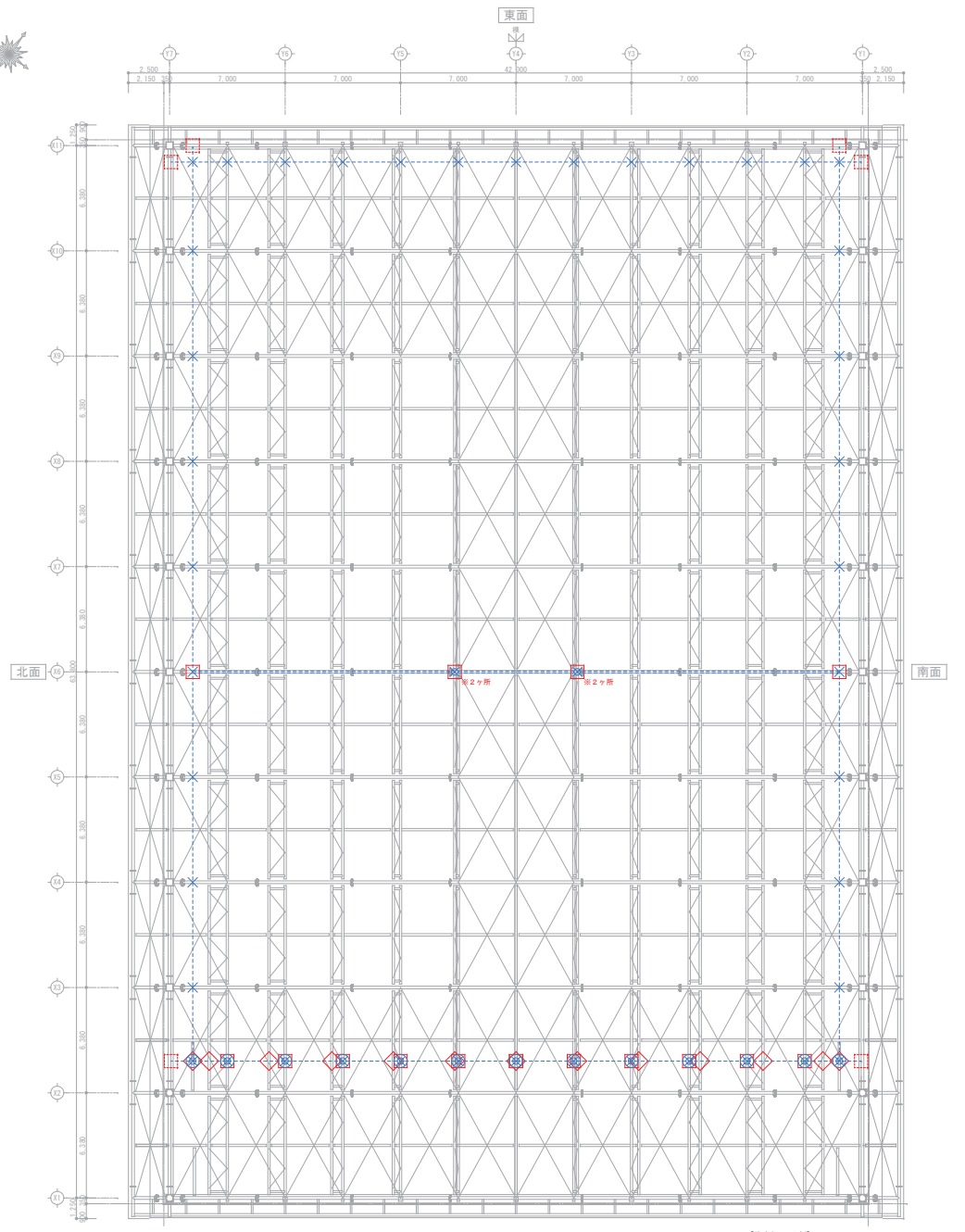




記号・数量	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所
使用場所	アルコブ1	アルコブ2	消火栓ポンプ室	アリーナ
形状・寸法				
種 類	複層知照連動常時開放式防火戸 (くくり戸付) [H12建告1369号/548建告2563号] 継続採光・特定防火設備	複層知照連動常時開放式防火戸 (くくり戸付) [H12建告1369号/548建告2563号] 継続採光・特定防火設備	片開き戸 [100] 常施工時確認	引き分けハンガー戸 [250] 常施工時確認
景 品	Q100 常施工時確認	Q100 常施工時確認	Q100 常施工時確認	Q100 常施工時確認
構造・板	Q1-1 板 S O P	Q1-1 板 S O P	Q1-1 板 S O P	Q1-1 板 S O P
付属金物等	オートヘンジ ケースハンドル 感知連動開閉金物一式 取付金物一式	オートヘンジ ケースハンドル 感知連動開閉金物一式 取付金物一式	T 型 D.C. 以下給水給水 以下三方弁 レバーハンドル シリンダー駆	W カンタム 駆 ガードプレート (防塵) 標準金物一式 S P ハンガード A 三和シャッター工業機用部品
記号・数量	1ヶ所	1ヶ所	2ヶ所	2ヶ所
使用場所	器具庫	エントランスホール		
形状・寸法				
種 類	重量電動シャッター (正巻/天井内納まり)	電動防火クロススクリーン (ウォークスルータイプ)		
景 品	スラットスチールt1.6 (AL) S O P	樹脂コーティング耐熱ガラスクロス (0.3mm)		
構造・板	露出型SSGガイドレール スチールタテ枠 S O P 開閉機 (SS15/三相200V/0.13kw) 標準金物一式 設置物検知装置	露出型SSGガイドレール スチールタテ枠 S O P 開閉機 (SS15/三相200V/0.13kw) サンリタスクリーン E (H12) / 三和シャッター工業機用部品		
記号・数量	1ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	1ヶ所
使用場所	多目的トイレ	男子・女子更衣室	男子・女子トイレ	会議室 1, 2
形状・寸法				
種 類	片引きフラッシュハンガー戸 (戸袋納まり)	片引きフラッシュハンガー戸 (戸袋納まり)	片引きフラッシュハンガー戸 (戸袋納まり)	スライディングウォール
景 品	[150] 常施工時確認	[150] 常施工時確認	[150] 常施工時確認	[320] 常施工時確認
構造・板	化粧鋼板t=0.6	化粧鋼板t=0.6	化粧鋼板t=0.6	化粧鋼板t=0.6
付属金物等	複層ハンガーレール ガイドローラー エンドストッパー SUS引棒 大型表示錠 スチール三方弁 S O P 取付金物一式 スムードSS/三和シャッター工業機用部品	複層ハンガーレール ガイドローラー エンドストッパー SUS引棒 大型表示錠 スチール三方弁 S O P 取付金物一式 スムードSS/三和シャッター工業機用部品	複層ハンガーレール ガイドローラー エンドストッパー SUS引棒 大型表示錠 スチール三方弁 S O P 取付金物一式 スムードSS/三和シャッター工業機用部品	複層ハンガーレール ガイドローラー エンドストッパー SUS引棒 大型表示錠 スチール三方弁 S O P 取付金物一式 スムードSS/三和シャッター工業機用部品
記号・数量	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	2ヶ所
使用場所	アリーナ	アリーナ	風除室	エントランスホール
形状・寸法				
種 類	引違い折畳み戸 (10枚構成 外タテ)	引違い折畳み戸 (10枚構成 外タテ)	両引き自動ドア	両引き自動ドア
景 品	70	70	100	100
構造・板	F L 5	F L 5	F L 5	F L 5
付属金物等	両面バインド 両面取付取手 引違戸錠 取付金物一式 パネラー タイプ/文化シャッター工業機用部品	両面バインド 両面取付取手 引違戸錠 取付金物一式 パネラー タイプ/文化シャッター工業機用部品	自動センサー設置 タッチセンサー センサー安全装置 取付金物一式 アルミ三方弁	自動センサー設置 タッチセンサー センサー安全装置 取付金物一式 アルミ三方弁
記号・数量	5ヶ所	1ヶ所	2ヶ所	1ヶ所
使用場所	多目的トイレ・男子・女子トイレ・男子・女子更衣室	会議室 1, 2	会議室 1, 2	器具庫
形状・寸法				
種 類	アルミ製 ずべり出し窓	アルミ製 ランマ外側し+緩衝し2連窓	アルミ製 ランマ外側し+緩衝し2連窓	アルミ製 緩衝し窓
景 品	70	70	70	70
構造・板	Low-E3+A6+F L 3	Low-E3+A6+F L 3	Low-E3+A6+F L 3	Low-E3+A6+F L 3
付属金物等	内開き網戸 取付金物一式 網継 集成材t=25 C L	内開き網戸 取付金物一式 網継 集成材t=25 C L	内開き網戸 取付金物一式 網継 集成材t=25 C L	内開き網戸 取付金物一式 網継 集成材t=25 C L

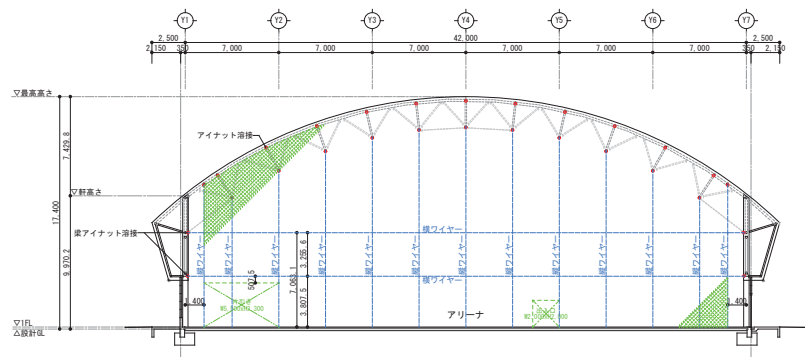
[illegible]



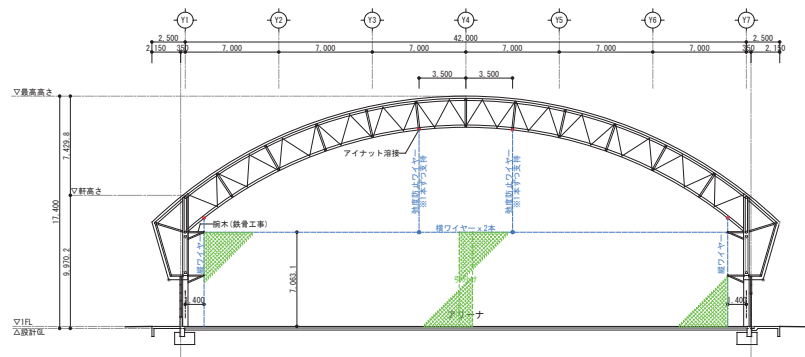


天井伏図

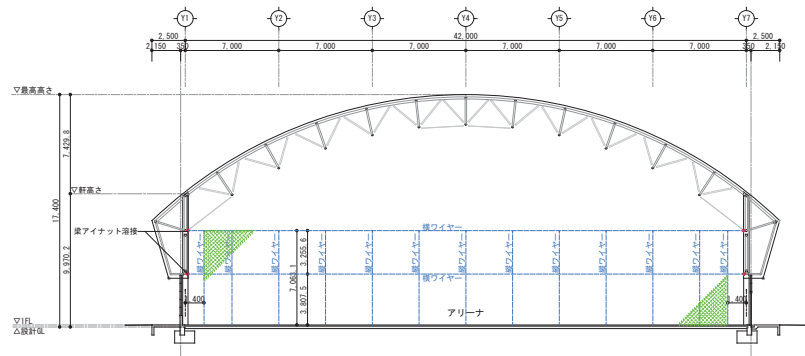
-----: 横(縦)ワイヤー 鋼より線1x7 呼び38(計算外径7.8mm)



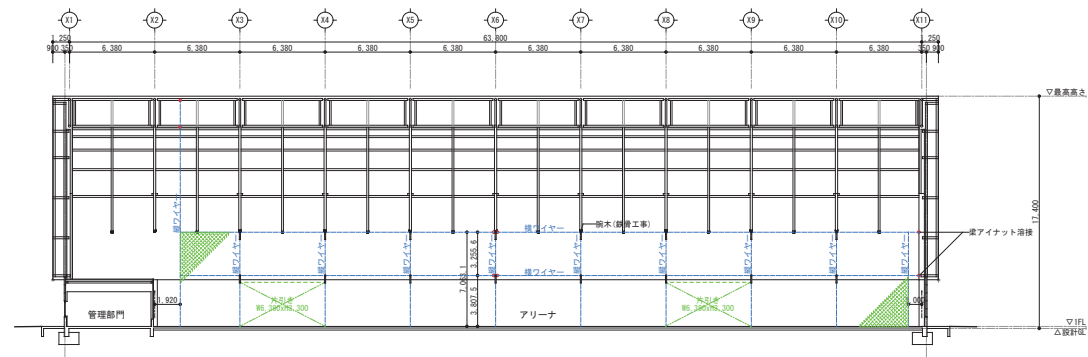
X2+1,980



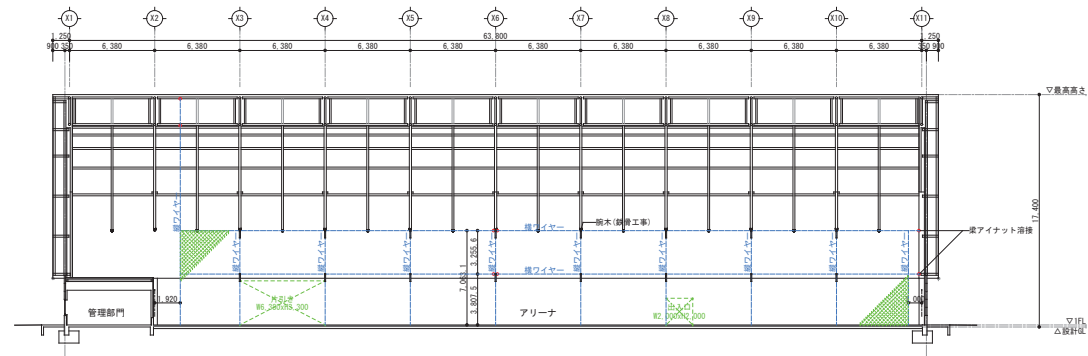
X6 (中央部)



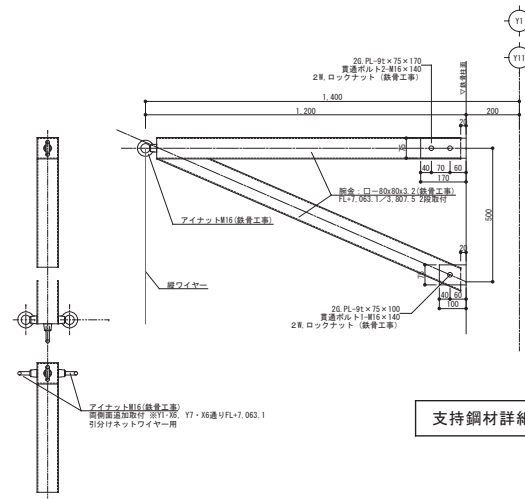
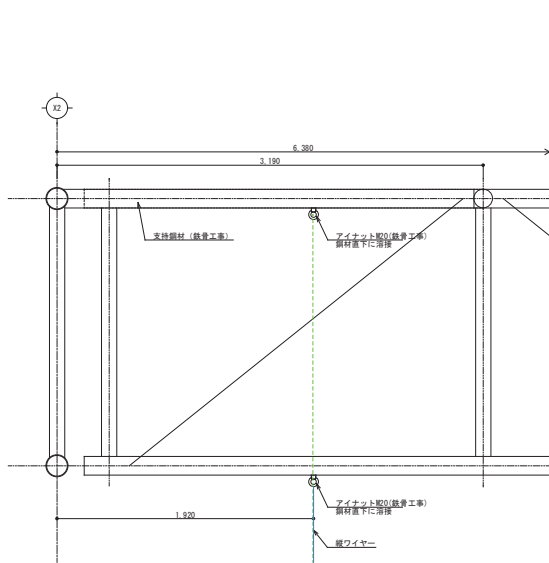
X11-1,000



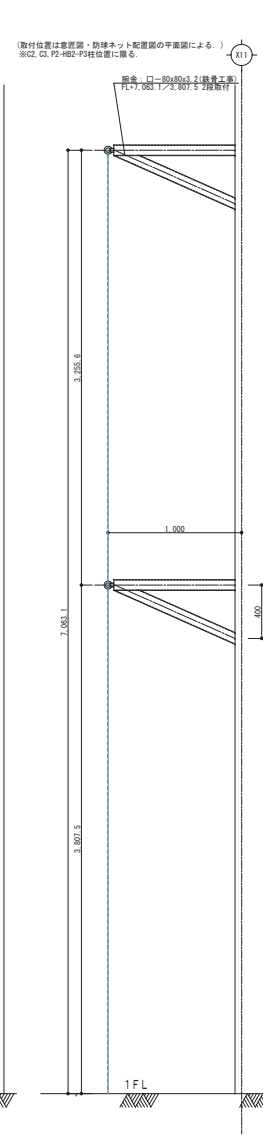
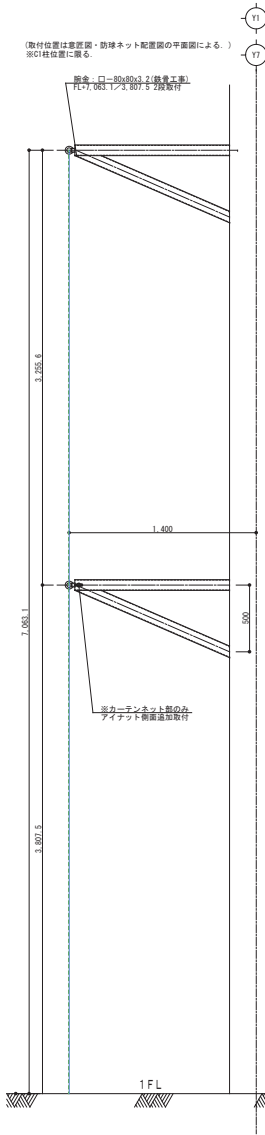
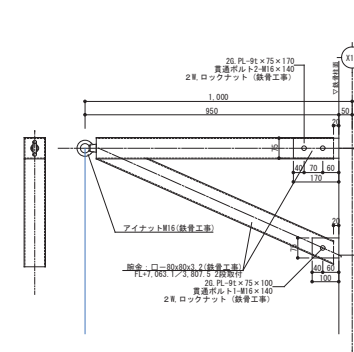
Y7-1,500



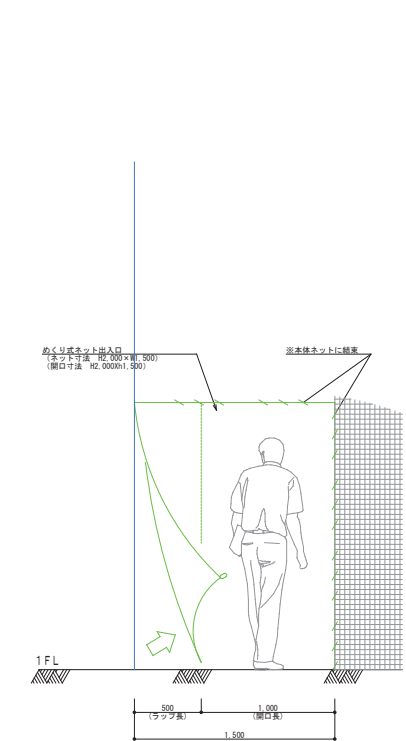
Y1+1,500



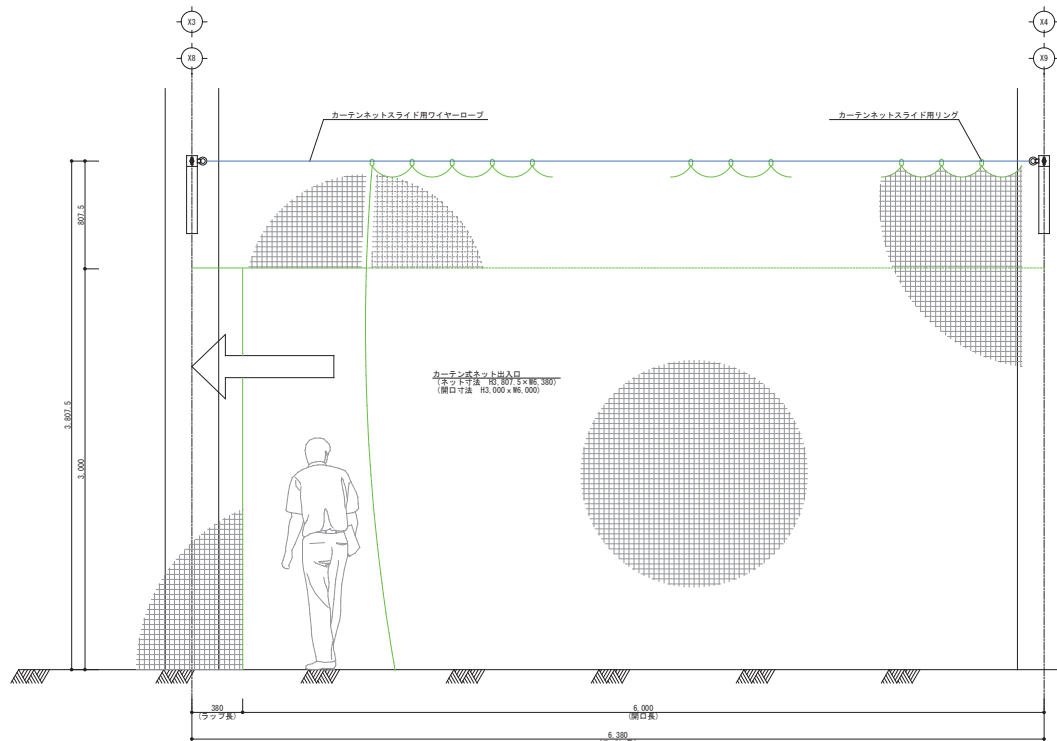
支持鋼材詳細図 S=1/10



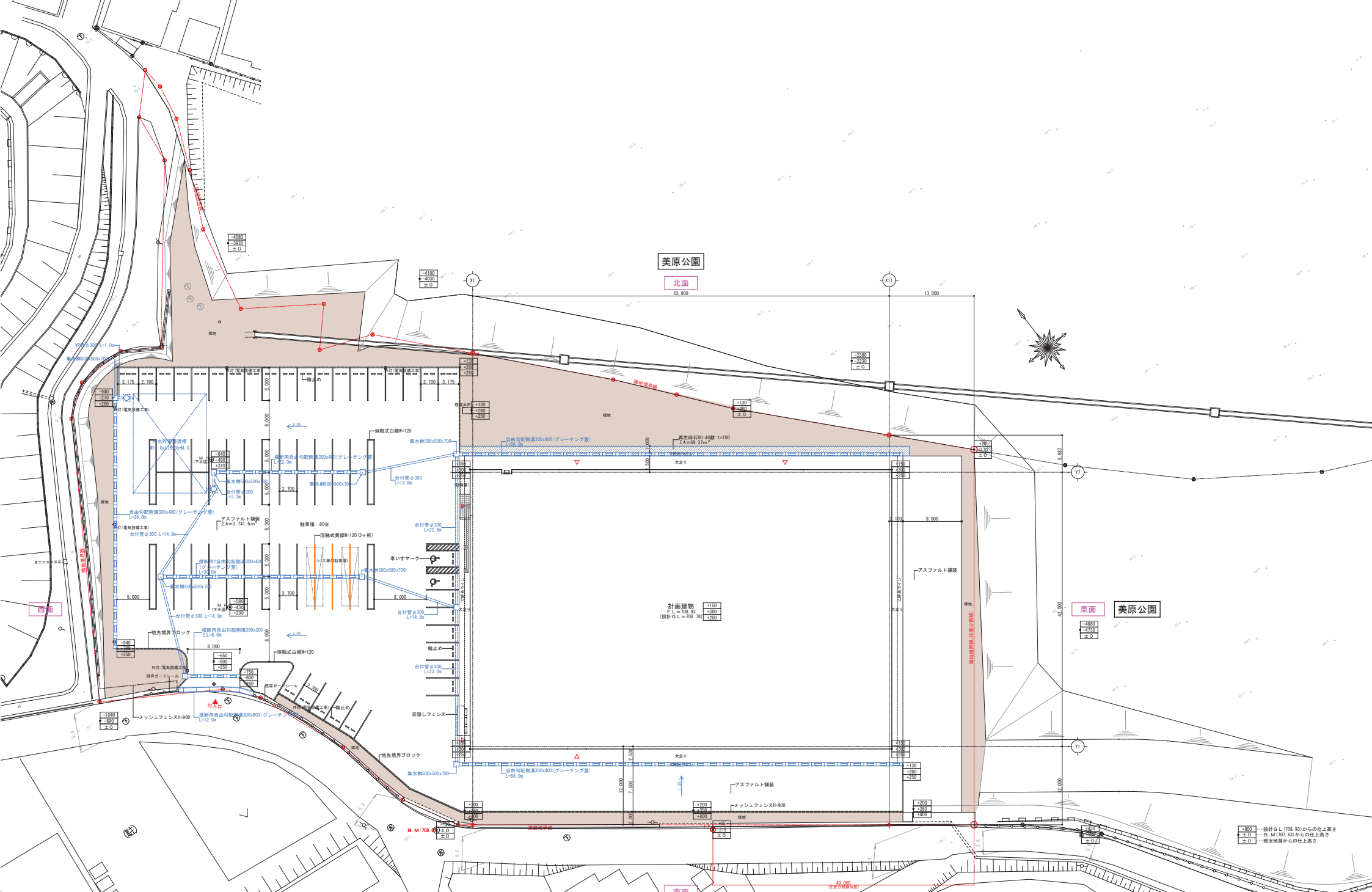
支持鋼材詳細図 S=1/20

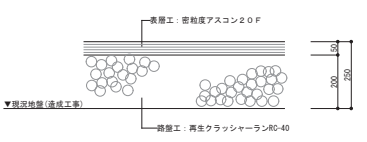
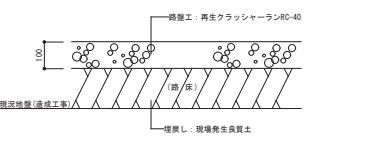
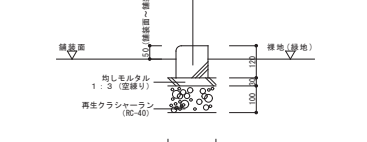
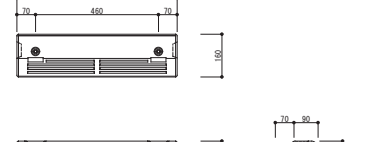
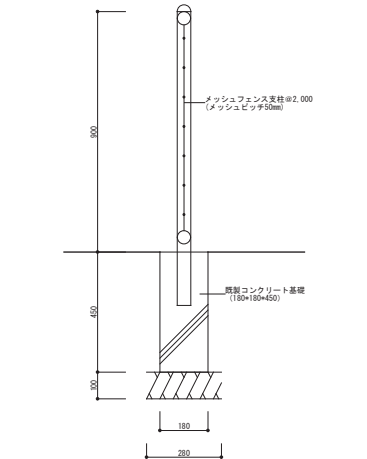
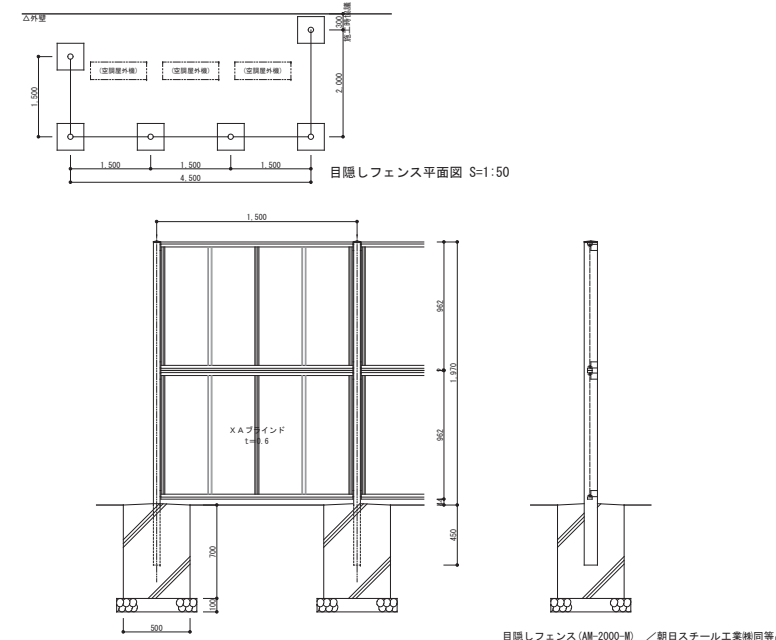
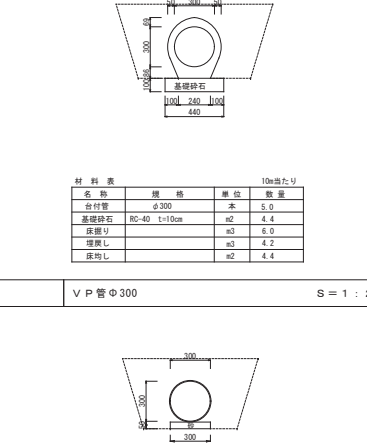
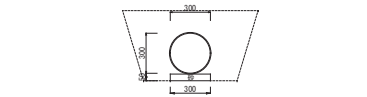
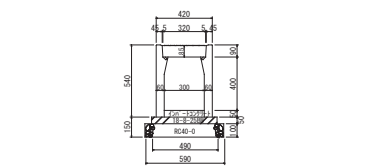
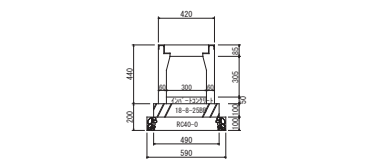
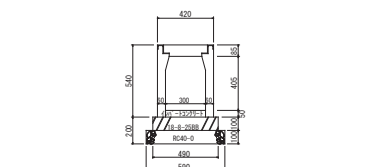
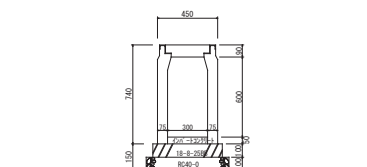


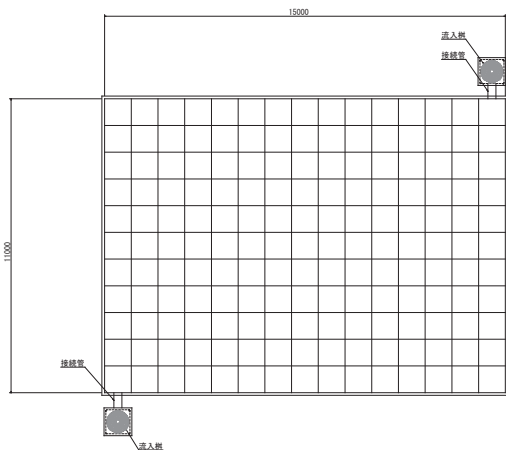
めくり式出入口詳細図 S=1/20



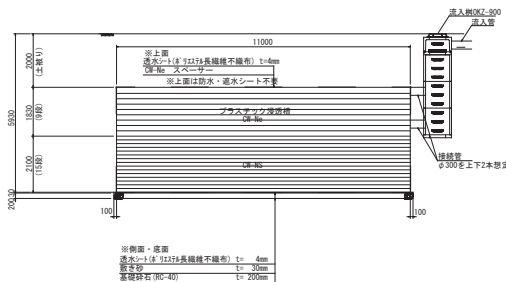
カーテン式出入口詳細図 S=1/20



アスファルト舗装（駐車場）		砕石舗装		地先境界ブロック		コンクリート製輪留め																																																																																																																																					
S = 1 : 10		S = 1 : 10		S = 1 : 10		S = 1 : 10																																																																																																																																					
																																																																																																																																											
ΣA=3,248.0㎡		ΣA=116.4㎡				パーキングブロック NSP-100B/三洋コンクリート機 同等品																																																																																																																																					
メッシュフェンス (H=900)		目隠しフェンス (空調屋外機置場)		台付管φ300		VP管φ300																																																																																																																																					
S = 1 : 10		S = 1 : 20		S = 1 : 20		S = 1 : 20																																																																																																																																					
																																																																																																																																											
朝日 A R フェンス (AR-A800) / 朝日スチール工業㈱同等品		目隠しフェンス平面図 S=1:50		材料表 10m当たり		材料表 10m当たり																																																																																																																																					
				<table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th></tr><tr><td>台付管</td><td>φ300</td><td>本</td><td>5.0</td></tr><tr><td>基礎砕石</td><td>RC-40 t=10cm</td><td>m²</td><td>4.4</td></tr><tr><td>床留り</td><td>m³</td><td>m³</td><td>6.0</td></tr><tr><td>埋戻し</td><td>m³</td><td>m³</td><td>4.2</td></tr><tr><td>底均し</td><td>m²</td><td>m²</td><td>4.4</td></tr></table>		名 称	規 格	単 位	数 量	台付管	φ300	本	5.0	基礎砕石	RC-40 t=10cm	m ²	4.4	床留り	m ³	m ³	6.0	埋戻し	m ³	m ³	4.2	底均し	m ²	m ²	4.4	<table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th></tr><tr><td>VP管</td><td>φ300</td><td>本</td><td>2.5</td></tr><tr><td>砂</td><td>t=5cm</td><td>m²</td><td>3.0</td></tr><tr><td>床留り</td><td>m³</td><td>m³</td><td>4.5</td></tr><tr><td>埋戻し</td><td>m³</td><td>m³</td><td>4.4</td></tr><tr><td>底均し</td><td>m²</td><td>m²</td><td>3.0</td></tr></table>		名 称	規 格	単 位	数 量	VP管	φ300	本	2.5	砂	t=5cm	m ²	3.0	床留り	m ³	m ³	4.5	埋戻し	m ³	m ³	4.4	底均し	m ²	m ²	3.0																																																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																																																																								
台付管	φ300	本	5.0																																																																																																																																								
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m ²	4.4																																																																																																																																								
床留り	m ³	m ³	6.0																																																																																																																																								
埋戻し	m ³	m ³	4.2																																																																																																																																								
底均し	m ²	m ²	4.4																																																																																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																																																																								
VP管	φ300	本	2.5																																																																																																																																								
砂	t=5cm	m ²	3.0																																																																																																																																								
床留り	m ³	m ³	4.5																																																																																																																																								
埋戻し	m ³	m ³	4.4																																																																																																																																								
底均し	m ²	m ²	3.0																																																																																																																																								
自由勾配側溝300x400		横断用自由勾配側溝300x300		横断用自由勾配側溝300x400		横断用自由勾配側溝300x600																																																																																																																																					
S = 1 : 20		S = 1 : 20		S = 1 : 20		S = 1 : 20																																																																																																																																					
																																																																																																																																											
材料表 (10m当たり)		材料表 (10m当たり)		材料表 (10m当たり)		材料表 (10m当たり)																																																																																																																																					
<table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>計 算 式</th><th>単 位</th><th>数 量</th></tr><tr><td>自由勾配側溝</td><td>300×400</td><td>10×2</td><td>本</td><td>5</td></tr><tr><td>ベニヤ板</td><td>18-8-2588</td><td>10×0.49×0.05</td><td>m³</td><td>0.245</td></tr><tr><td>型枠</td><td>10×0.05×2</td><td>m²</td><td>1</td></tr><tr><td>砕石基礎</td><td>RC-40</td><td>10×0.59</td><td>m²</td><td>5.9</td></tr><tr><td>2cm→1t=0.05</td><td>18-8-2588</td><td>10×0.3×0.05</td><td>m³</td><td>0.15</td></tr><tr><td>ブルーシート</td><td>1.0m</td><td>枚</td><td>5</td></tr></table>		名 称	規 格	計 算 式	単 位	数 量	自由勾配側溝	300×400	10×2	本	5	ベニヤ板	18-8-2588	10×0.49×0.05	m ³	0.245	型枠	10×0.05×2	m ²	1	砕石基礎	RC-40	10×0.59	m ²	5.9	2cm→1t=0.05	18-8-2588	10×0.3×0.05	m ³	0.15	ブルーシート	1.0m	枚	5	<table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>計 算 式</th><th>単 位</th><th>数 量</th></tr><tr><td>自由勾配側溝</td><td>300×300</td><td>10×2</td><td>本</td><td>5</td></tr><tr><td>ベニヤ板</td><td>18-8-2588</td><td>10×0.49×0.1</td><td>m³</td><td>0.49</td></tr><tr><td>型枠</td><td>10×0.1×2</td><td>m²</td><td>2</td></tr><tr><td>砕石基礎</td><td>RC-40</td><td>10×0.59</td><td>m²</td><td>5.9</td></tr><tr><td>2cm→1t=0.05</td><td>18-8-2588</td><td>10×0.3×0.05</td><td>m³</td><td>0.15</td></tr><tr><td>ブルーシート (B-A1)</td><td>1.0m</td><td>枚</td><td>5</td></tr></table>		名 称	規 格	計 算 式	単 位	数 量	自由勾配側溝	300×300	10×2	本	5	ベニヤ板	18-8-2588	10×0.49×0.1	m ³	0.49	型枠	10×0.1×2	m ²	2	砕石基礎	RC-40	10×0.59	m ²	5.9	2cm→1t=0.05	18-8-2588	10×0.3×0.05	m ³	0.15	ブルーシート (B-A1)	1.0m	枚	5	<table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>計 算 式</th><th>単 位</th><th>数 量</th></tr><tr><td>自由勾配側溝</td><td>300×400</td><td>10×2</td><td>本</td><td>5</td></tr><tr><td>ベニヤ板</td><td>18-8-2588</td><td>10×0.49×0.1</td><td>m³</td><td>0.49</td></tr><tr><td>型枠</td><td>10×0.1×2</td><td>m²</td><td>2</td></tr><tr><td>砕石基礎</td><td>RC-40</td><td>10×0.59</td><td>m²</td><td>5.9</td></tr><tr><td>2cm→1t=0.05</td><td>18-8-2588</td><td>10×0.3×0.05</td><td>m³</td><td>0.15</td></tr><tr><td>ブルーシート (B-A1)</td><td>1.0m</td><td>枚</td><td>5</td></tr></table>		名 称	規 格	計 算 式	単 位	数 量	自由勾配側溝	300×400	10×2	本	5	ベニヤ板	18-8-2588	10×0.49×0.1	m ³	0.49	型枠	10×0.1×2	m ²	2	砕石基礎	RC-40	10×0.59	m ²	5.9	2cm→1t=0.05	18-8-2588	10×0.3×0.05	m ³	0.15	ブルーシート (B-A1)	1.0m	枚	5	<table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>計 算 式</th><th>単 位</th><th>数 量</th></tr><tr><td>自由勾配側溝</td><td>300×600</td><td>10×2</td><td>本</td><td>5</td></tr><tr><td>ベニヤ板</td><td>18-8-2588</td><td>10×0.52×0.1</td><td>m³</td><td>0.52</td></tr><tr><td>型枠</td><td>10×0.1×2</td><td>m²</td><td>2</td></tr><tr><td>砕石基礎</td><td>RC-40</td><td>10×0.62</td><td>m²</td><td>6.2</td></tr><tr><td>2cm→1t=0.05</td><td>18-8-2588</td><td>10×0.3×0.05</td><td>m³</td><td>0.15</td></tr><tr><td>ブルーシート (B-A1)</td><td>1.0m</td><td>枚</td><td>5</td></tr></table>		名 称	規 格	計 算 式	単 位	数 量	自由勾配側溝	300×600	10×2	本	5	ベニヤ板	18-8-2588	10×0.52×0.1	m ³	0.52	型枠	10×0.1×2	m ²	2	砕石基礎	RC-40	10×0.62	m ²	6.2	2cm→1t=0.05	18-8-2588	10×0.3×0.05	m ³	0.15	ブルーシート (B-A1)	1.0m	枚	5
名 称	規 格	計 算 式	単 位	数 量																																																																																																																																							
自由勾配側溝	300×400	10×2	本	5																																																																																																																																							
ベニヤ板	18-8-2588	10×0.49×0.05	m ³	0.245																																																																																																																																							
型枠	10×0.05×2	m ²	1																																																																																																																																								
砕石基礎	RC-40	10×0.59	m ²	5.9																																																																																																																																							
2cm→1t=0.05	18-8-2588	10×0.3×0.05	m ³	0.15																																																																																																																																							
ブルーシート	1.0m	枚	5																																																																																																																																								
名 称	規 格	計 算 式	単 位	数 量																																																																																																																																							
自由勾配側溝	300×300	10×2	本	5																																																																																																																																							
ベニヤ板	18-8-2588	10×0.49×0.1	m ³	0.49																																																																																																																																							
型枠	10×0.1×2	m ²	2																																																																																																																																								
砕石基礎	RC-40	10×0.59	m ²	5.9																																																																																																																																							
2cm→1t=0.05	18-8-2588	10×0.3×0.05	m ³	0.15																																																																																																																																							
ブルーシート (B-A1)	1.0m	枚	5																																																																																																																																								
名 称	規 格	計 算 式	単 位	数 量																																																																																																																																							
自由勾配側溝	300×400	10×2	本	5																																																																																																																																							
ベニヤ板	18-8-2588	10×0.49×0.1	m ³	0.49																																																																																																																																							
型枠	10×0.1×2	m ²	2																																																																																																																																								
砕石基礎	RC-40	10×0.59	m ²	5.9																																																																																																																																							
2cm→1t=0.05	18-8-2588	10×0.3×0.05	m ³	0.15																																																																																																																																							
ブルーシート (B-A1)	1.0m	枚	5																																																																																																																																								
名 称	規 格	計 算 式	単 位	数 量																																																																																																																																							
自由勾配側溝	300×600	10×2	本	5																																																																																																																																							
ベニヤ板	18-8-2588	10×0.52×0.1	m ³	0.52																																																																																																																																							
型枠	10×0.1×2	m ²	2																																																																																																																																								
砕石基礎	RC-40	10×0.62	m ²	6.2																																																																																																																																							
2cm→1t=0.05	18-8-2588	10×0.3×0.05	m ³	0.15																																																																																																																																							
ブルーシート (B-A1)	1.0m	枚	5																																																																																																																																								
						材料表 1基礎当たり																																																																																																																																					
						<table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th></tr><tr><td>基礎CON</td><td>18-8-2588</td><td>m³</td><td>0.37</td></tr><tr><td>型枠</td><td>m²</td><td>m²</td><td>4.4</td></tr><tr><td>基礎砕石</td><td>RC40-0</td><td>m²</td><td>0.8</td></tr><tr><td>床留り</td><td>m³</td><td>m³</td><td>2.5</td></tr><tr><td>埋戻し</td><td>m³</td><td>m³</td><td>1.8</td></tr><tr><td>底均し</td><td>m²</td><td>m²</td><td>0.8</td></tr></table>		名 称	規 格	単 位	数 量	基礎CON	18-8-2588	m ³	0.37	型枠	m ²	m ²	4.4	基礎砕石	RC40-0	m ²	0.8	床留り	m ³	m ³	2.5	埋戻し	m ³	m ³	1.8	底均し	m ²	m ²	0.8																																																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																																																																								
基礎CON	18-8-2588	m ³	0.37																																																																																																																																								
型枠	m ²	m ²	4.4																																																																																																																																								
基礎砕石	RC40-0	m ²	0.8																																																																																																																																								
床留り	m ³	m ³	2.5																																																																																																																																								
埋戻し	m ³	m ³	1.8																																																																																																																																								
底均し	m ²	m ²	0.8																																																																																																																																								



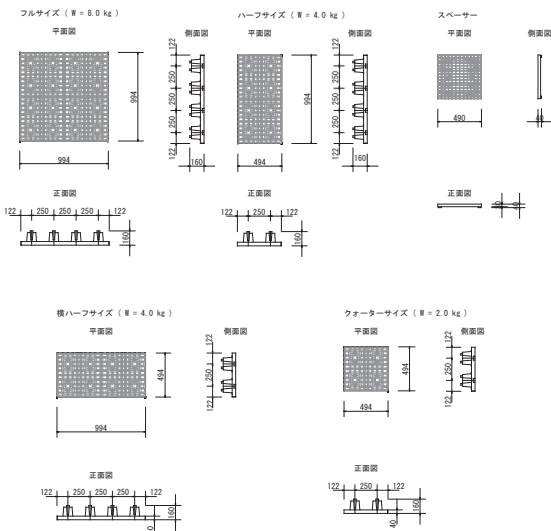
雨水浸透槽 平面図 S=1:100



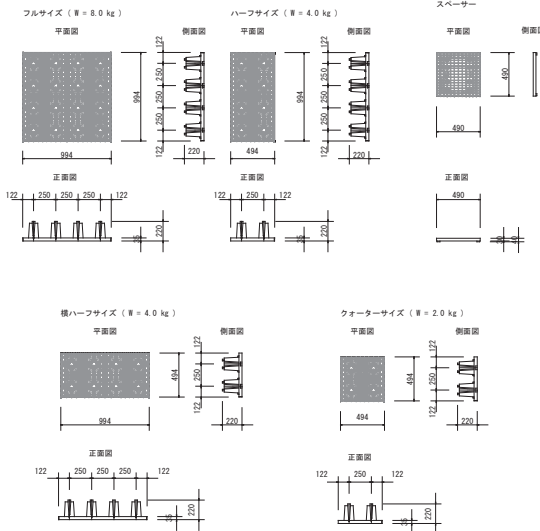
雨水浸透槽 断面図 S=1:100

- 特記事項：
- ・最終流入側にスクリーンを設置すること。
 - ・槽は建物等構造物の荷重を受けない位置に設置すること。
 - ・地下水位は水層面を下回るものとする。
 - ・地下水位が槽底面より高い場合は浮力及び土圧の検討が必要。
 - ・埋め戻しは改良土を使用し、縦断断面がわからないように均等に埋め戻すこと。
 - ・完成後は降雨による槽の浮き上がり防止の為、迅速な埋め戻しをすること。
 - ・計画上の土被り500mmの時、T-25対応。
 - ・施工後槽上部及び側面4m以内での掘削の掘削きは土被り+擁土高で製品の最大土被り2000mm以上にならないようにすること。

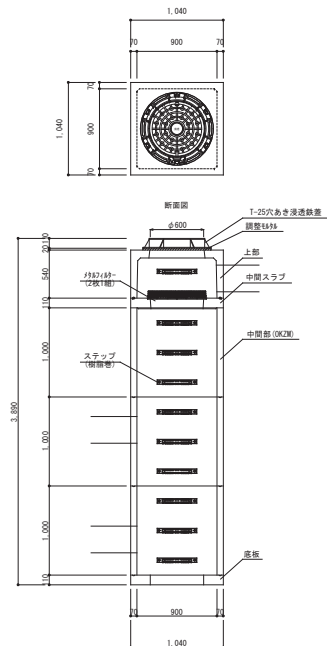
【貯留量】(長さ)15.0m×(幅)11.0m×(深さ)3.93m×(空率率)約0.94 ≈ 612.56m³



クロスウェーブNS部材詳細図 S=1:20



クロスウェーブNo部材詳細図 S=1:20

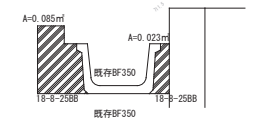


流入樹詳細図 S=1:30

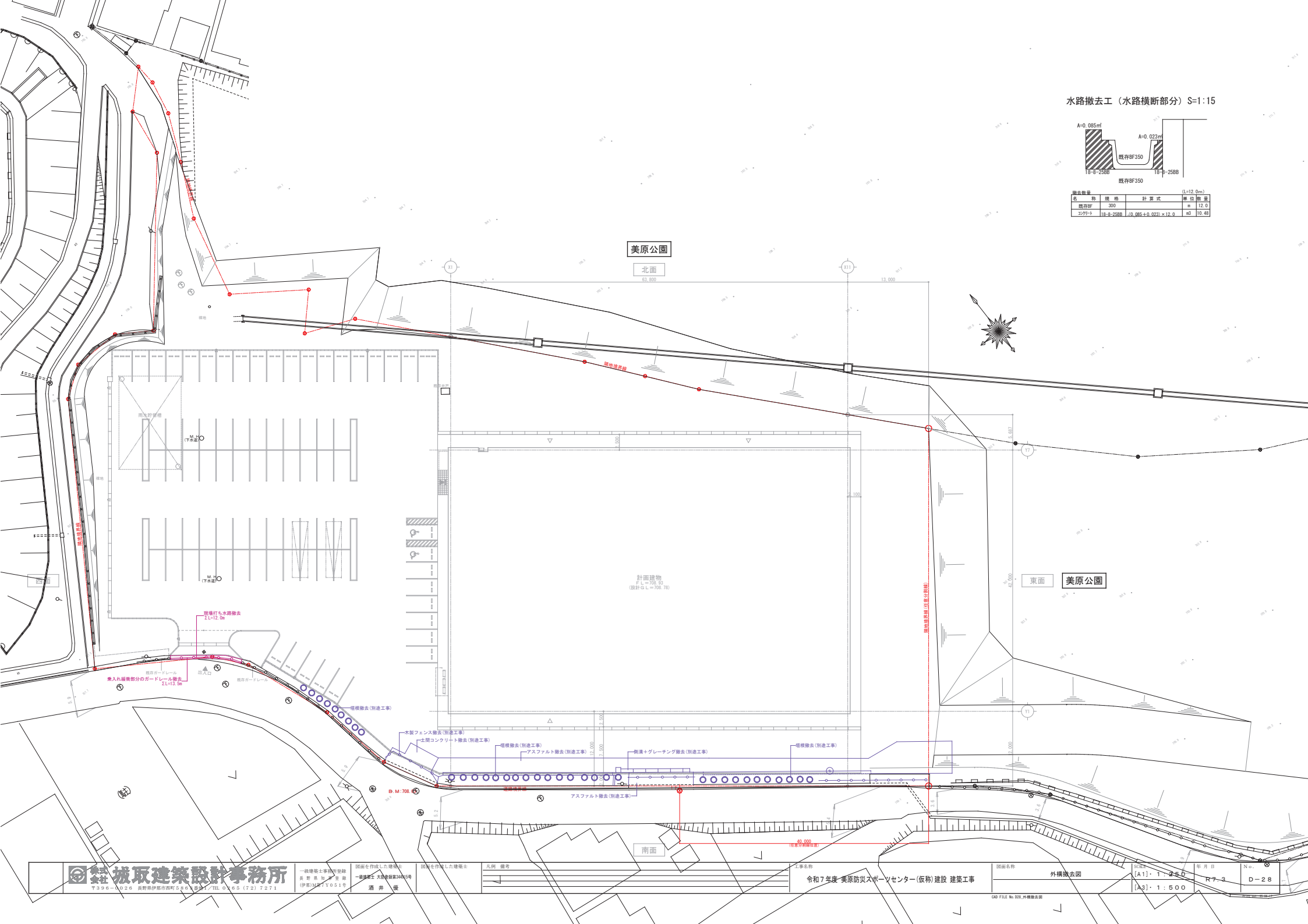
参考図：クロスウェーブ／積水化学工業株式会社

株式会社 堀取建築設計事務所	一級建築士事務所登録 番号 希 知 事 登 録 (伊賀)M監? Y 0 5 1 号	図面を作成した建築士 一級建築士 大庭貴雄 344815号	図面を作成した建築士 二級建築士 酒井 優	凡例・備考	工事名称 令和7年度 美原防災スポーツセンター(仮称)建設 建築工事	図面名称 雨水排水設備詳細図	SCALE [A1]・ 図中参照 [A3]・ ー	年 月 日 R 7 . 3	No. D - 2 7

水路撤去工（水路横断部分）S=1:15



撤去数量			(L=12.0m)	
名	格	規格	計算式	単位数量
既設BF		300		m
2ヶ所			$(18.9 - 2588) \times (0.085 + 0.023) \times 12.0$	m ²



構造設計標準仕様

適用は ☐ 印を記入する.

1. 建築物の構造内容

- (a) 工事名称 **令和7年度 美原防災スポーツセンター(仮称)建設 建築工事**

建築場所 **長野県伊那市美原7867番地3ほか**

(b) 工事種別 ☒ 新築 ☐ 増築 ☐ 増改築 ☐ 改築

(c) 構造設計一般建築士との関係 ☒ 必要 ☐ 必要としない

☐ 法20条第二号() 国土法20m超 ☐ 5m超13m以下 ☒ 13m超 ☐ その他()

(d) 主要用途 **屋内スポーツ練習場**

種別・用途	構造	延べ面積(㎡)	最高/軒高(m)	計算A→	通判
(3) スポーツセンター	S→F	2,762.45	17.40 / 9.97	X/Y 2/2	A→2通判

17.40≧9.97

(e) 屋上付属物
☐ 広告塔 ☐ 高架水塔 ☒ hN ☐ 屋外機
☐ 煙突 ☐ キュービクル ☒ hN ☐ 化粧バラベッチ立ち上がり

(f) 特設計画 ☐ 有 () ☐ 無

(g) 付帯工事
☐ 門扉 ☐ 階段 ☐

(2) 鉄筋強度 (N/mm^2)

部 位	床(折)版用	小梁用	梁・基礎用	地 震 用	備 考
擁壁筋	0	0	0	0	
会館構造管理部門	2,600	2,900	1,800	600	
器具用	4,900	4,900	2,400	2,000	☐ 基礎、梁に考慮しない

(d) 地震強度 建築物地震係数 $\alpha = 1.25$

(e) 積雪荷重 普通積雪強度 55 cm 、単位積雪 20M/㎡/cm

(f) 縦勾配屋根の積雪強化 屋根傾度 有 $\alpha =$ (c) 風圧力の調整 $\bullet 1.1$

(5) 風荷重 基準風速 $V_o = 30 m/s$ 、地表面粗糙度区分 III

(6) 土圧、水位 土圧係数 $K_A = 0.5$ ☐
設計地下水位 $\blacksquare$ $GL - n$ m

(7) 特別な荷重
☐ エレベーター ton 人 m/s ☐ リフト kg ☐
☐ 高架水塔 m^3 ☐

2. 使用構造材料

- | 適用箇所 | 種 類 | 設計基準強度 $F_{cN} = N/\text{mm}^2$ | スラブル cm | 備 考 |
|------------|--|--|------------------|--------|
| 均土コンクリート | ☒ 普通 | ☐ 13.5 ☐ 16 ☒ 18 | 15 | |
| 土留コンクリート | ☒ 普通 | ☐ 18 ☒ 21 | 18 | |
| 基礎・基礎梁 | ☒ 普通 | ☐ 18 ☐ 21 ☒ 24 | 15・18 | |
| 柱・梁・床・壁 | ☒ 普通 ☐ 軽量 | ☐ 18 ☐ 21 ☒ 24 | 18 | |
| デッキコンクリート | ☐ 普通 ☐ 軽量 | ☐ 18 ☐ 21 ☐ 24 | 15 | |
| 押入コンクリート | ☐ 普通 ☐ 軽量 | ☐ 13.5 ☐ 16 ☐ 18 | 18 | 比重 2.3 |
| ラップルコンクリート | ☐ 普通 | ☐ 13.5 ☐ 16 ☐ 18 | 15 | |
- (2) コンクリートブロック (C B)
- ☐ A 種 ☐ B 種 ☐ C 種 厚 100 120 150 190
- (3) 鉄 筋
- | | 種 類 | 径 | 使用箇所 | 継手工法 |
|------|--|-----------|--------|--|
| 異径鉄筋 | ☒ SD295A | D10 ~ D16 | 基礎・床版等 | ☒ 重ね継手
D19以上は、柔 |
| | ☐ SD395B | | | |
| | ☒ SD345 | D19 ~ D25 | 柱・梁・主筋 | |
| 丸 鋼 | ☐ SR235 | | | ☐ 特殊継手
() |
| 浮床丸鋼 | ☐ SR235 | 6φ~100φ | | |

- | (4) 鉄骨 | | 種 類 | 使用箇所 | 塩漬溶接 | 備考 |
|--------|---|---|---|-----------------|--|
| 鋼 材 | ☒ S540D | ☐ S840D | ☒ S400B | 柱、梁、PL | ☐ 有 ☒ 無 |
| | ☒ S18K400 | ☐ S18K490 | ☒ S18K400 | 柱、梁、隅、耐震梁 | ☐ 有 ☒ 無 |
| | ☒ BCR295 | ☐ BCP235 | ☐ BCP325 | 耐柱、隅柱、耐震梁 | ☐ 有 ☒ 無 |
| | ☐ S490DA | ☒ S490C | ☐ | D.F.、P.L.、B.P.L | ☐ 有 ☒ 無 |
| | ☐ | ☐ | ☐ | | ☐ 有 ☒ 無 |
| | ☐ | ☐ | ☐ | | ☐ 有 ☒ 無 |
- 詳細は鉄骨部材リストによる

- (5) **ポルト**

☐ 高カポルト ☐ F10T ☐ S8T ☒ S10T 選定品 (☒ M16 ☒ M20 ☐ M22)
☒ 中ポルト M12 M16 高カポルトすべり係数試験 ☐ 要 ☒ 否
☒ アンカーポルト ☒ SS400 ☐ ABR400 ☒ 低油彩[※] (☒ M16 ☒ M20 ☐ M22)
☐ ABR490 ☒ 低油彩[※] (☐ M20 ☐ M22)
☒ 露出既設柱脚 (ハイベスNEO工法)

☐ 曝付スタンド

(6) **屋根、床、壁** 使用箇所

☐ 折 板 型式
☐ デッキプレート 型式
☐ フラットデッキ 型式
☐ キーストンプレート 型式
☐ 押し出し成形セメント板 型式 厚
☒ ALC版 型式 厚 100、50
☒ 窯業系サイディング[※] 型式 厚 16 外壁
☒ 数値ヤ(付)イナダ[※] 型式 厚 外壁
 (アルミスパンレル)

3. 地 盤

- (1) 地盤調査資料
☐ 有 ☐ 敷地内 ☐ 近隣 ☐ ボーリング調査 ☐ 平板載荷試験 ☐ 水平地盤反力係数の測定
☐ 無 ☐ (調査予定) ☐ 有 ☐ 無 ☐
- (2) 地盤調査計画
☐ ボーリング調査 ☐ 特約買入試験 ☐ 標準買入試験 ☐ 水平地盤反力係数の測定
☐ 土質試験 ☐ 物理探査 ☐ 平板載荷試験 ☐
- (3) 地盤調査及び試験坑の結果により、杭長、杭径、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。
- (4) ボーリング標準買入値、土質構成

5. 鉄筋コンクリート工事

- コンクリート
 ● コーリットは JIS 認定工場の製品とし施工に関しては JASS5 による。
 ● セメントは、JIS R 5210 の普通ポルトランドセメントを標準とする。
 ● 設計計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
 ● 集中、集中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、設計、打ち込み、養生管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
 ● フレッシュコンクリートの硬化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術研究センターの技術評価を用いた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定値の表示値を一回の測定ごとに記録したと見直し（ラベ）を保持し承認を得ること。
 ● 測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試験が取り分け3回行い、その平均値を試験値とする。
 ● 構造体コンクリート現地の圧縮強度試験試体（JASST-603）は、現場中養生、または現場から発生し、採取は打ち込み区ごとと、打ち込み日ごととする。また、打ち込み量が15 m^3 を超える場合は150 m^3 ごとは、その現場ごとに一回を標準とする。
 ● 一回に採取する試体は、適当な間隔をとり3つの運搬車からその必要本数を採取する。
 ● 供試体の数量は、特別指示なき場合は1個当たり6本以上とし、そのうち4用にて3本を用いる。
 ● ポンプ打つコンクリートは、打ち込み位置にてできるだけ近づける位置に打つコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とす。ポンプ圧送に関しては、コンクリート圧送技術士または同等以上の技能を有する者が従事すること。
 ● 打ち込みの場合には20分以内で打ち終り時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分より、打ち込み場所には20分以内とする。
 JASS5の適用
 コンクリートの計画使用期間: F_{id} は、☐短期 ☒標準 ☐長期 ☐超長期 とし、
 設計基準強度: F_{cd} = 24 N/mm^2 または、 F_{cd} = 18 N/mm^2 の大きい値を設計基準強度 F_{cd} とする。
 一 品質管理強度: F_{aq} = 24 N/mm^2 とする。
 なお集中、集中コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は工事監理者と協議の上決定する事。
 設計管理強度 F_{cd} は、 F_{cd} に構造体強度増減率 S (加) を加えた値とする。
 S 値 普通ポルトランドセメントの場合
 θ : 打ち込みから材料28日までの予想平均気温

$$8 \leq \theta \quad S = 3\text{N}/\text{mm}^2, \quad 0 \leq \theta < 8 \quad S = 6\text{N}/\text{mm}^2$$
 集中におけるコンクリートの取り扱いを受ける時期
$$S = 6\text{N}/\text{mm}^2$$
- (2) 鉄 筋
 ● 鉄筋は JIS G 3112 の規格品を標準とする。
 ● 鉄筋の加工方法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準」または「型式鉄筋コンクリート構造配筋標準」による。
 ● D19 未満は、全て重ね継手とする。継手 (D19 以上) をガス圧着とする場合は日本圧接協会「鉄筋のガス圧着工事標準仕様書」による。
 ● ガス圧着部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に直した圧接箇所ごと (200箇所を超えるときは圧接箇所ごとに1回行い、1回の試験は超音波試験の場合30箇所、引張試験の場合3本以上とする)。
 外張試験 ☒ 有 ☐ 無 引張試験 ☒ 有 ☐ 無 超音波探傷試験 ☒ 有 ☐ 無
 主筋の断端 (H.O.P.) の加工方法は、☒ H 型 (タガ型) ☐ W 型 (溶接型)
☐ S 型 (スパイラル型) とする。
 ● 鉄筋の試験は第三者検査機関とし、工事監理者の承認を得る事。

- | 型 種 | | セ 丈 器 | | 支 柱 | | | | |
|-------------------------------|----------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------|---------|-------|
| 部 位 | 基礎・はり壁・柱・壁 | スラブ下・はり下 | | スラブ上 | | | | |
| セメントの埋込み
の程度 | 単張ボルト
ランドセメント | 普通ボルト
ランドセメント | 単張ボルト
ランドセメント | 単張ボルト
ランドセメント | 単張ボルト
ランドセメント | | | |
| | 高野セメント
A種 | 高野セメント
A種 | 高野セメント
A種 | 高野セメント
A種 | 普通ボルト
ランドセメント | | | |
| 充填
期間の
平均気温 | シリカセメント
A種 | シリカセメント
A種 | シリカセメント
A種 | シリカセメント
A種 | 高野セメント
A種 | | | |
| | | | | | シリカセメント
A種 | | | |
| コン
クリ
ート
の
硬
度 | 15℃以上 | 2 日 | 3 日 | 4 日 | 6 日 | 8 日 | 17 日 | 28 日 |
| | 5℃~15℃ | 3 日 | 5 日 | 6 日 | 10 日 | 12 日 | 25 日 | 28 日 |
| | 5℃未満 | 6 日 | 8 日 | 10 日 | 16 日 | 18 日 | 28 日 | 28 日 |
| コンク
リートの
圧縮強度 | 5N / mm ² | 設計基準強度の 60 % | | | | | 設計基準強度の | |
| | | | | | | | 85 % | 100 % |

- 注 1 片持梁、座、スパン9、0m以上のはりでは、工事管理者の指示による。
- 注 2 大梁の支柱の盛りかえは行わない。また、その他の場合も原則として行わない。
- 注 3 支柱の盛りかえは、必ず柱上階のコンクリート打ち後とする。
- 注 4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
- 注 5 支柱の盛りかえは、小梁が終わってから、スラブを行なう。
- 注 6 一跨に全部の支柱を取り回して、盛りかえをするとはならない。
- 注 7 上表以外のセメントを使用する場合は、工事管理者の指示による。

6. 鉄骨工事

- ④ 鉄骨工事は指示のない限り行わないことによる

● 日本建築学会「J A S S E」 「鉄骨積床検査基準」 「鉄骨工事技術指針」

● 鋼材供保部「建築鉄骨工事工事指針」

● 建設大臣官庁官庁官庁部修繕「建築工事共通仕様書」 最新版

(2) 工事監理者の承認を必要とするもの

■ 制作工場 ■ 製作委託者 ■ 工作間 ■ 施工計画書

■ 認定工場 (大臣認定 グレード登録 ランク以上)

■ 材料検査証明書または試験成績書

■ 鋼材 ■ 高力ボルト ■ 特殊ボルト ■ スタッドボルト

■ 母材検査表 □ □ □ □

(3) 工事監理者が行う検査項目

(□ 印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)

□ 環状検査 □ 組立・閉接検査 □ 製品検査

□ 環状検査 □

(4) 接合部の強度は下記によると

● 日本建築学会「溶接工事基準、解説1」 Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅷ、Ⅸ、

(5) 接合部の検査

● 溶接部の検査 (検査結果は係日工事監理者に報告すること)

検査箇所	検査方法	検査比率又は検査数				備 考
		社 内	第三者	工事監理者		
突合せ溶接部	超音波探傷試験	100 %	30 %	能		
	外観 (目視) 検査	100 %	30 %	能		
□	マクロ試験・その他	値	値	値		
第三者検査機関名						
第三者検査機関名とは、建築士、工事監理者又は工事係者が受入れ検査を代行させるもの、自ら契約した検査会社をいう。						

注) 現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。

● 国土交通省告示1464号に関する溶接部の検査 (社) 建築建設協会「突合せ継手の検査」による。

● 突合口は「J 18 B 1 1 8 6 の高力ボルト」を標準とする。溶接部の処理は突合口を溶接後 2 倍以上の範囲でショットブラスト、グライナー・掛け等を施して除去した後、屋外に自然暴露して発生した、赤さび、収縮であること。ただし、ショットブラスト、グライナー等による処理で表面が 5mm 以上露出する場合は、赤さびは発生しないこととする。

● 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの部位が十分に密着するよう注意して行う。また、締付けは原則として 2 段階にする。締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行われているかを検査する。

(6) 防錆塗装

● 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の溶接面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。耐火被覆範囲は防錆塗装は行わない。

使用 箇所	塗 装	塗 装 厚	塗り回数	備 考
		施工	現場	
見え隠れか	JIS K 5674-1 種	4mm	2 回以上	1 層、2 層で色を変える。
見え隠れ		8mm	2 回以上	

● 現場における高力ボルト接合部及び接合部の表面塗装は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ閉じたペイントを使用し 2 回塗りとする。

(7) ● 耐火被覆の材料 型式 単位 比重 3,0kH/m³ × 3,5cm

7. 設備関係

- [illegible]

8. その他

- 該官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
- 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

1. 一般事項

(1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

(2) 記号

○…鉄筋種類の呼び名に用いた数値、丸線では、○…部材の径、R…直径
e…間隔、r…半径、C…中心線、【】…部材間の内法距離、ho…部材間の内法高さ
ST…あらばね HSDP…帯筋 S、HSDP…補強帯筋 ●…直径又は丸筋

(3) 鉄筋の表示記号

表示記号	●	×	○	●	⊙	⊗	⊗
鉄筋径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状				
折曲げ角度	180°	135°	90°	折曲げ角度φはスラブ・壁筋の末端部またはスラブと梁端部に行われる折曲げおよび形成のキップタイにのみ用いる。
図				
鉄筋の長さ	6d以上	6d以上(※4d以上)	6d以上(※4d以上)	
※曲げ内法寸法は、SR235・SR245の径16および18以下は3d以上、SR235・SR245の径19・20は4d以上、D347およびSD390は5d以上、スラブ筋、帯筋には丸筋は使用しない。				
※4dはスラブ・梁端部の場合				

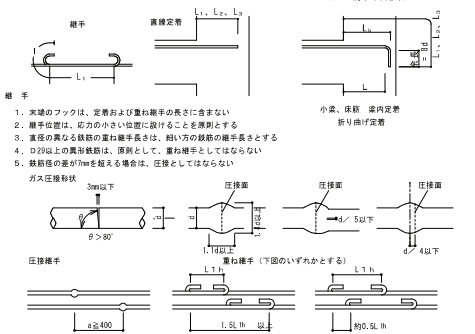
(2) 鉄筋中間部の折曲げ形状 鉄筋の折曲げ角度φは、以下

図	鉄筋の適用箇所による形状	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り寸法(φ)
	帯筋	SR235、SR245	16φ D19以下	3d以上
	あらばね スパイラル筋	SD295A・B SD349	19φ D19以上	4d以上
	上記以外の鉄筋	SD295A・B SD345 SD390	D10以下 D19～D25 D29～D41	4d以上 4d以上 5d以上

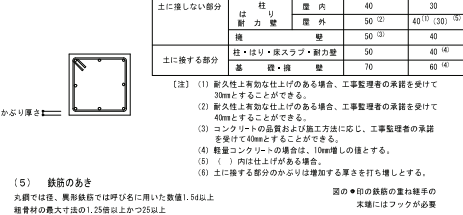
(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ
径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
主筋及び耐力筋の重ね継手の長さは特記による。特記なき場合は40d(重量筋: 50d)と、下記表L1の大きな値とする。

鉄筋の種類	設計基準強度 F _y (N/mm ²)	フックなし		フックあり		L _u	L _u
		L ₁	L ₂	L _{1h}	L _{1h}		
SD295A SD295B	21	40 d	35 d	10 d	25 d	15 d	15 d
	24, 27	35 d	30 d	25 d	20 d		
SD345	21	45 d	35 d	10 d	25 d	20 d	20 d
	24, 27	40 d	35 d	150mm以上	25 d	15 d	15 d
SD390	21	50 d	40 d	35 d	30 d	20 d	20 d
	24, 27	45 d	35 d	30 d	25 d		

- (注) 1. L₁: 継手並びに下記2.及び3.以外の定着の長さ。
2. L₂: 鉄筋端部の折れない箇所への定着の長さ。
3. L₃: 小梁及び床版の下地筋の定着の長さ。
ただし、基礎部圧版、これを受ける小梁は除く。
4. フックのある場合のL₁及びL₂は下記に示すようにフックの部分を含まない。
5. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加える。

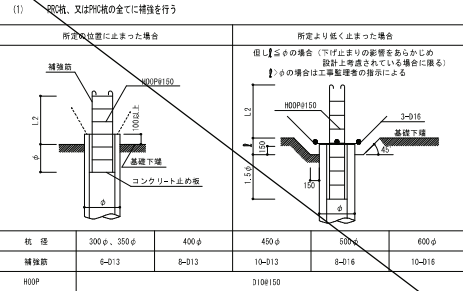


(4) かぶり厚さ (単位: mm)	設計かぶり厚さ (mm)	最少かぶり厚さ (mm)
基礎スラブ	30	20
壁スラブ	40 (1)	30 (20) (5)
柱	40	30
梁	50 (2)	40 (10) (5)
床版	50 (3)	40
柱・はり・床スラブ・耐力壁	50	40 (4)
基礎・梁	70	60 (4)

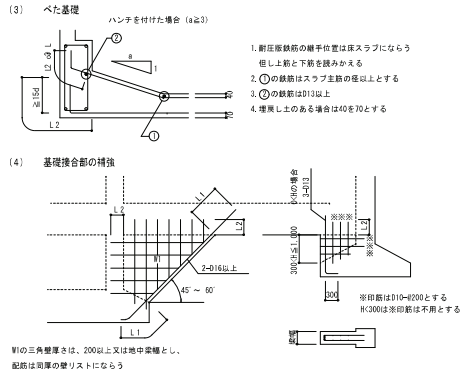
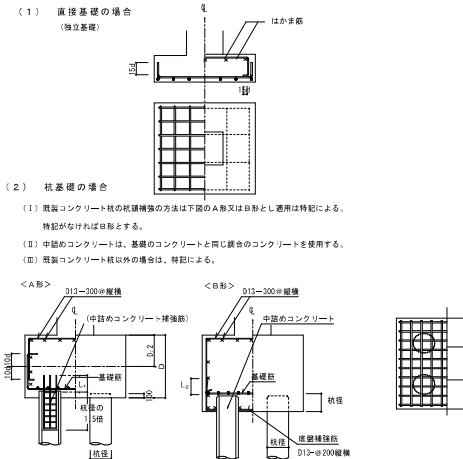


- (5) 鉄筋のあき
丸筋では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1/5d以上
継ぎ手の最大寸法は1.25倍以上かつ25d以上
- (6) 鉄筋のフック (a～fに示す鉄筋の実端部にはフックを付ける。)
a 丸筋、b あらばね、帯筋、c 帯筋の鉄筋、d 柱・梁 (基礎梁は除く) の出す耐力筋の鉄筋 (右図参照)、e 基礎梁の下地筋、f その他、本図標準図に記載する箇所

3. 杭 (地震力等の水平力を考慮して別途検討すること。)



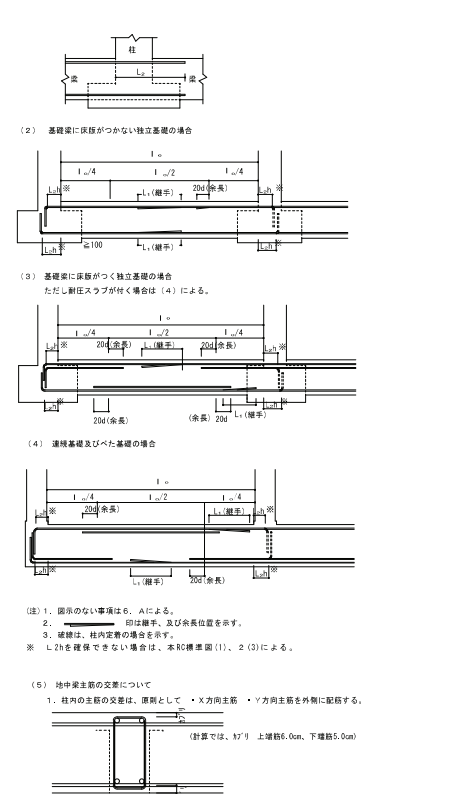
4. 基礎



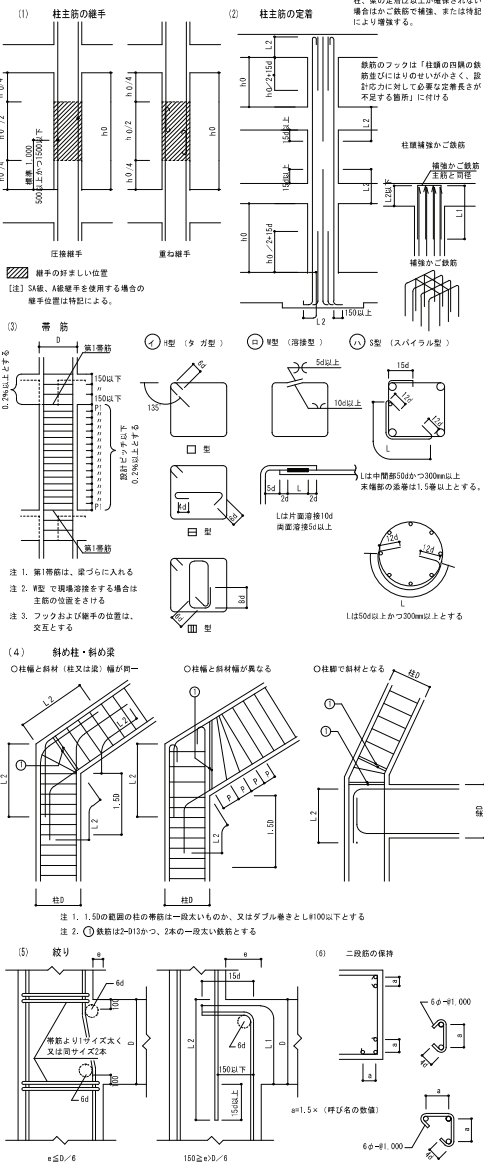
5. 地中梁

A. 基礎梁主筋の継手及び定着

- (1) 一般事項
(2) 基礎梁に定着する場合は、定着しない場合は、柱内に定着する。
(3) 基礎梁に定着する場合は、定着しない場合は、柱の中心軸を越えて定着する。



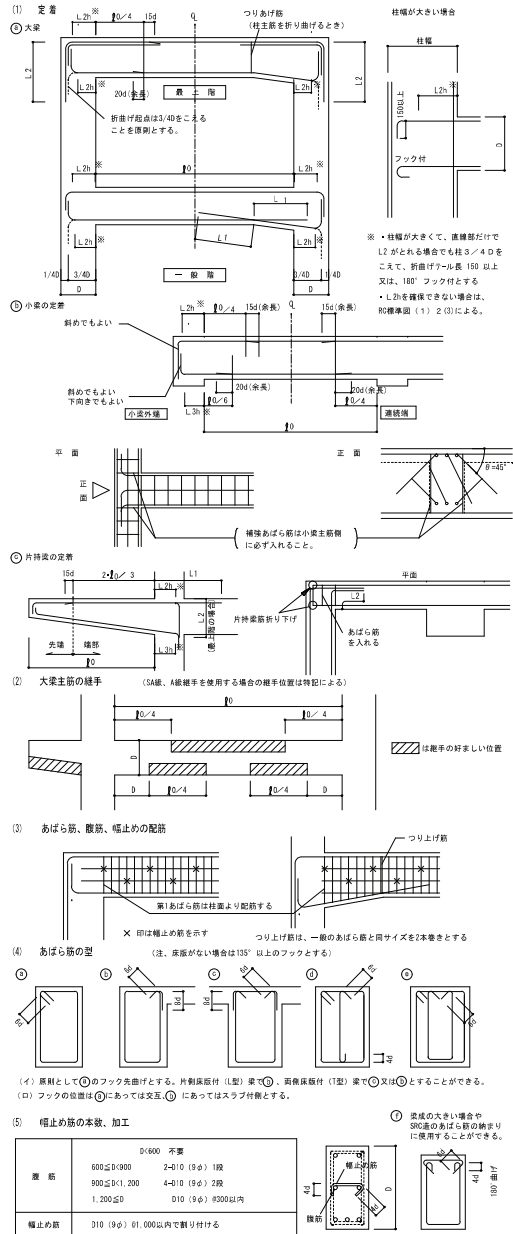
6. 柱



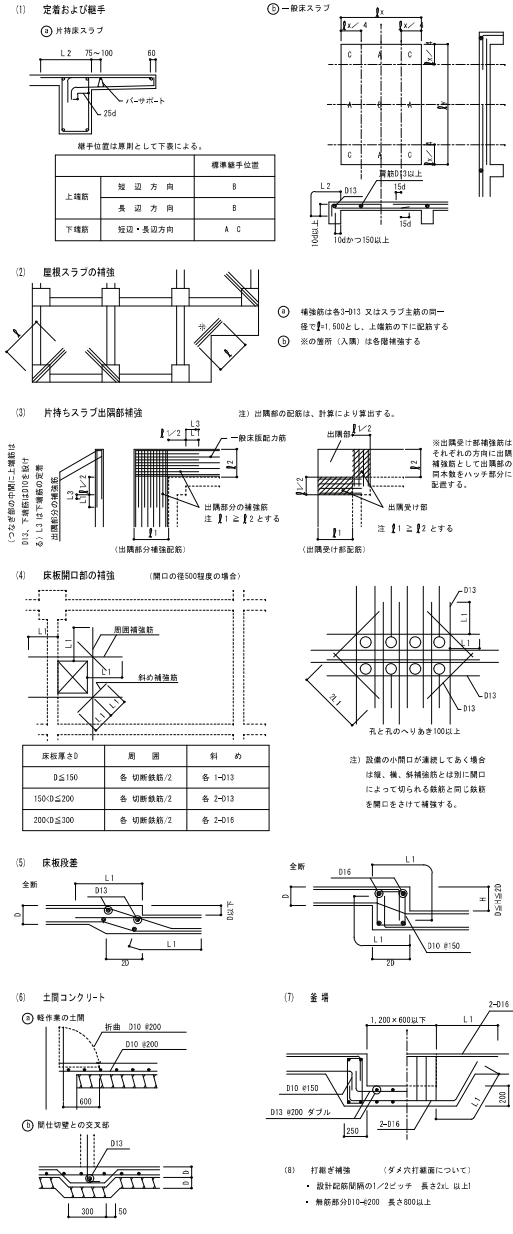
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

※修正箇所は下線を引くこと

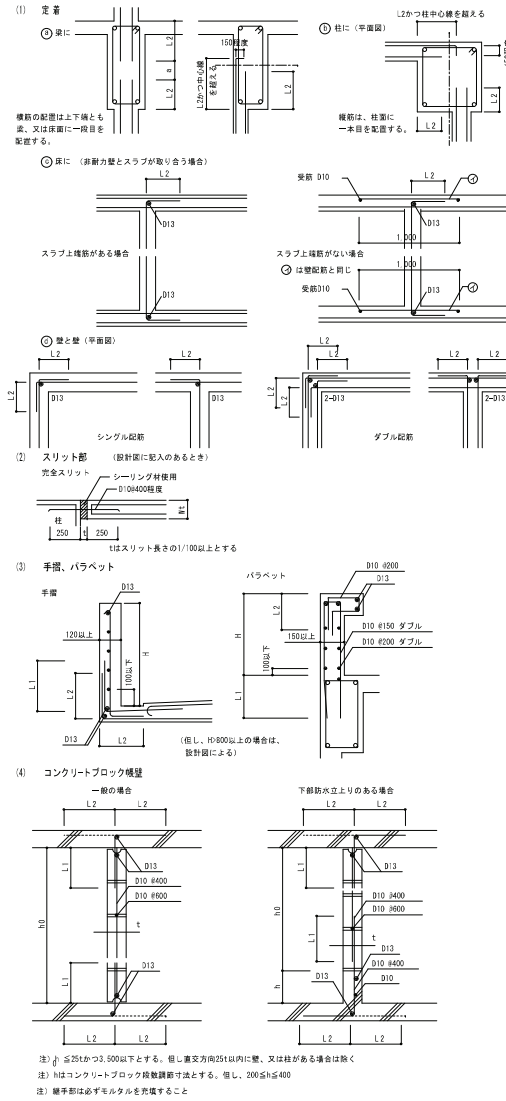
7. 大梁、小梁、片持梁



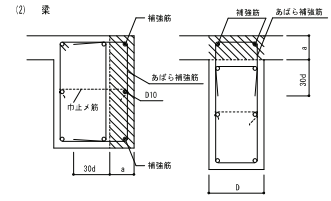
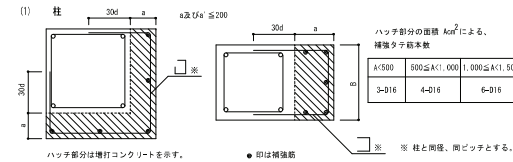
8. 床板



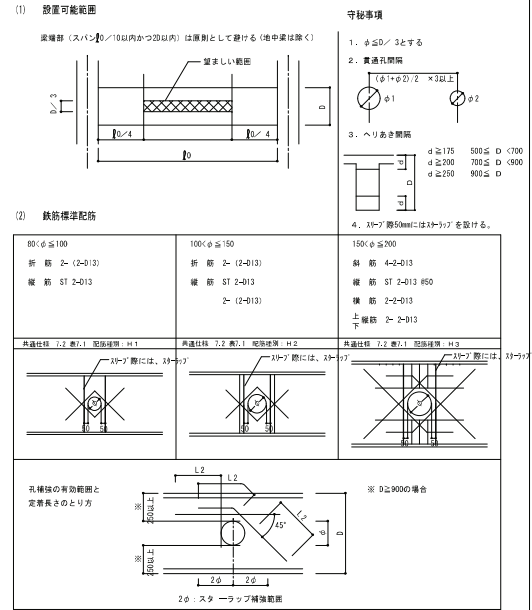
9. 壁



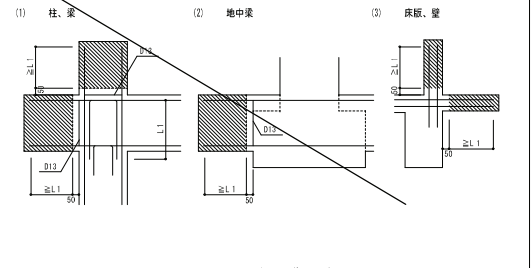
10. 柱、梁打ち増しコンクリート補強



11. 梁貫通補強



12. 増築予定



鉄骨構造標準図 (1)

1. 一般事項

- (1) 材料及び検査
- (a) 構造設計特記仕様による
- (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
但し、ベースプレートの厚さは除く
- (c) 社内検査結果の検査報告書には、検査の手法、精度及びその他の結果を添付する
- (2) 工作段
- (a) 検査製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
- (b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
- (c) 高張力鋼の定み矯正は、冷間矯正とする
- (3) 高力ボルト接合
- (a) 本標準に使用するボルトと、収縮めボルトの併用はしてはならない
- (b) 高力ボルトの摩擦面の処理は黒皮などを産金外注2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー面付け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した赤さび状態であること。但し、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で残さが50μm以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。
- (c) 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく整備されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分に密着するよう注意して行う
- (4) 溶接接合
- (a) 平成12年建設省告示第146号第二号イ、ロによる。溶接部の性能、溶着金属の性能を満足すること。
- (b) 溶接技能者
溶接技能者は施工に適合する技能に適合するJIS Z3801（手溶接）又はJIS Z3841（半自動溶接）の溶接技能検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
- (c) 溶接機器
(イ) 交流アーク溶接機 300A～500A (ニ) 炭素ガスアーク半自動溶接機
(ロ) アークエアークラウジング機 (直流) (ホ) 溶接電流を測定する電流計
(ハ) サブマージアーク溶接機一式 (ヘ) 溶接移動軌跡機
- (d) 溶接方法
アーク半溶接 (MG) ガスシールドアーク半自動溶接 (GC)
セルフ（ノンガス）シールドアーク半自動溶接 (NGC) アークエアークラウジング (AGG)
- (e) 溶接姿勢
- (イ) 縦立溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
- (ロ) 縦立溶接は溶接の始、終端、隅部など強度上、工作上、問題とならぬ箇所は避ける
- (ハ) 縦立溶接は溶接の始、終端、隅部など強度上、工作上、問題とならぬ箇所は避ける
- (イ) 縦立溶接は溶接の始、終端、隅部など強度上、工作上、問題とならぬ箇所は避ける
- (ロ) 完全溶込み溶接部の溶接は必ず裏はつり側に施工する
- (イ) エンドタブ
- 1) 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同等の間隔形状のエンドタブを配り付ける
- 2) エンドタブの材質は、母材と同等とする
- 3) エンドタブの長さとは、MG:35mm以上
NGC、GC:40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとす
- 4) プレス鋼板加工・溶接加工については、資料を提出し設計者、又は工事監理者の承認を得る
- (ロ) 裏当て金
材質は母材と同質材料とし厚さは半溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上、市は25mm以上とする
原則とする。但し、溶接性能が確認できれば監理者の承認を得る変更することができる
- (ハ) 柱-梁柱口部フランジ突き合せ溶接は基本的に1はノンスクラップ工法とする。
- (ニ) ノンスクラップ工法
- (ホ) ルート間隔
開光角度
- (イ) 裏はつり
縦断面の溶接においてAAOと記載のある部分は全て、溶接技能者の確認を動かし、部材に確認マークをつける
- (ロ) 現場溶接の開光面には、溶接に支障のない防錆塗を塗布する。又、開光部を傷めない様に養生を行う
- (5) 塗装
コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面、コンクリートと一体化とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

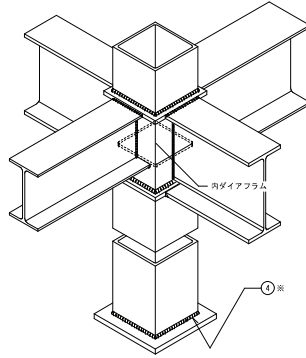
2. 溶接標準図

(注) f: 糸金 ①: ルート間隔 R: フェース S: 継手 (単位:mm)

- (1) 隅肉溶接
- (イ) 隅肉溶接
- (ロ) 隅肉溶接
- (ハ) 隅肉溶接
- (ニ) 隅肉溶接
- (ホ) 隅肉溶接
- (ヘ) 隅肉溶接
- (1) 部分溶け込み溶接
- (イ) 部分溶け込み溶接
- (ロ) 部分溶け込み溶接
- (ハ) 部分溶け込み溶接
- (ニ) 部分溶け込み溶接
- (ホ) 部分溶け込み溶接
- (ヘ) 部分溶け込み溶接
- (1) 完全溶込み溶接
- (イ) 完全溶込み溶接
- (ロ) 完全溶込み溶接
- (ハ) 完全溶込み溶接
- (ニ) 完全溶込み溶接
- (ホ) 完全溶込み溶接
- (ヘ) 完全溶込み溶接
- (1) フレア溶接
- (イ) フレア溶接
- (ロ) フレア溶接
- (ハ) フレア溶接
- (ニ) フレア溶接
- (ホ) フレア溶接
- (ヘ) フレア溶接

※溶接記号番号⑥○中に記入のこと

◎B型 (通しダイアフラムの場合)



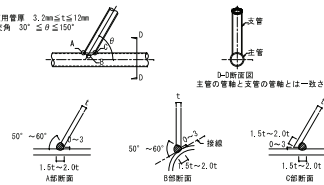
◎ 鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	入熱 (KJ/cm)	入熱 (KJ/cm)
400N級鋼	JIS Z 3211, 3212, 3214	YOM-11, 15	YOM-18, 19	YOM-50M, 50P
450N級鋼	JIS Z 3212, 3214	YOM-11, 15	YOM-18, 19	YOM-50M, 50P

(注) SKR, BCR, RCP材は、JIS Z 3312 のみ使用可
「構造設計特記仕様」6. 継手工事 (2) ①認定または登録 工場」のグレード別に定められた適用範囲と溶接条件制事項による

(5) 鋼管分岐継手

自動機械により開光加工を行う場合はこの限りではない。



構造設計者 株式会社建築設計事務所 長野県知事登録 (伊勢) 第77051号
伊勢市西町583-1 一級建築士 富田 博一 登録 業177958号
0265-72-7271 構造設計一般建築士 第 1993 号

一既製コンクリート杭の杭頭接合技術一

パイルスタッド工法 設計・施工 標準図

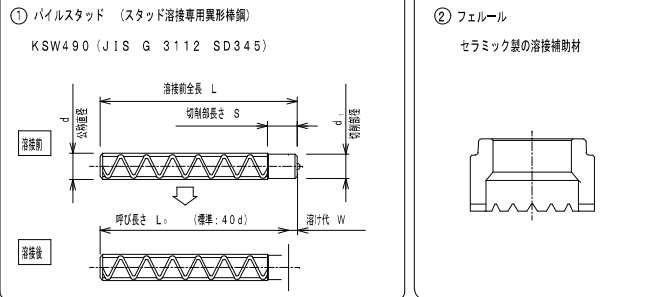
(一財) 日本建築センターによる建設技術審査証明 (2020年度版) B C J - 審査証明一7

パイルスタッド工法研究会

1. パイルスタッド工法概要

パイルスタッド工法は、溶接性に優れた異形棒鋼 KSW490 を杭頭端板に直接スタッド溶接することにより、抗体に悪影響を及ぼすことなく、抗体と基礎スラブとを接合する技術である。

2. 使用材料



パイルスタッドおよびフェルールの種類 (括弧内の寸法は、標準の呼び長さ 40 d の場合)

サイズ	呼び名	各部寸法				適用フェール *			
		d ₁	L	W	S	図記 (種)	(種) 大径工鋼	日本スタッドウェルディング (種)	
D13	D13xL (520)	13.0	L+6 (646)	2~6	18	A-13	D-13	100-101-114	
D16	D16xL (640)	16.0	L+6 (646)	2~6	20	A-16	D-16	100-101-012	
D19	D19xL (760)	19.1	L+7 (767)	3~7	28	A-19	D-19	100-101-152	
D22	D22xL (880)	22.2	L+7 (887)	3~7	30	A-22	D-22	100-101-140	
D25	D25xL (1000)	25.4	L+9 (1009)	5~9	37	A-25	D-25	100-101-045	

※ スタッドメーカーとフェールの組合せは限定しない

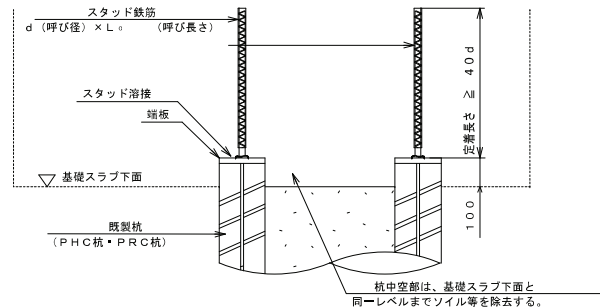
パイルスタッド (KSW490) の化学成分および機械的性質

化学成分 (%)						機械的性質		
C	Si	Mn	P	S	C+Mn/6	降伏点 (N/mm ²)	引張強度 (N/mm ²)	伸び (%)
0.20以下	0.15 ~0.35	0.30 ~0.90	0.035以下	0.035以下	0.35以下	345 ~440	490以上	20以上

3. 杭頭接合仕様

杭仕様			パイルスタッド仕様			備考
杭径	杭種	杭本数	鉄筋径	呼び長さ	本/1杭	
600φ	PHC85-B	5本	D19	L=760	8本	
500φ	PHC85-B	30本	D16	L=640	8本	
500φ	PHC85-C	9本	D19	L=760	8本	

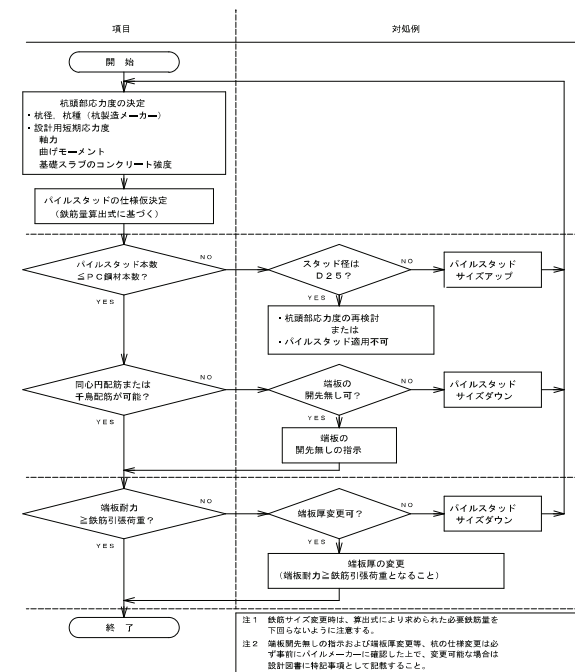
4. 杭頭接合構造図



5. 設計に関する考え方の一例

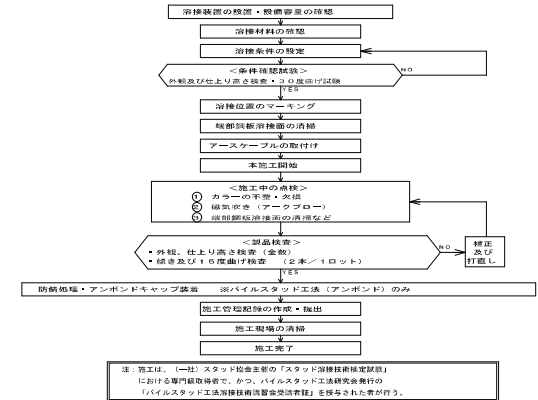
下図設計手順例は、適用にあたっての一つの参考例であり、構造設計者の考え方に基く適切な設計法により杭頭接合鉄筋量を算出することが望ましい。
詳細は、本工法建設技術審査証明 (建築技術) 報告書付録による。

設計手順例



6. パイルスタッド工法 標準施工フロー

(詳細は、本工法建設技術審査証明 (建築技術) 報告書の「施工要領」による)



7. 製品検査規定

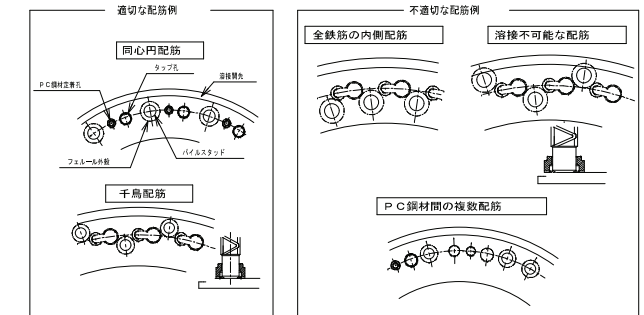
頻度	検査項目	検査方法	判定基準
全数検査	外観検査	目視	カラーが融接全面に包囲して、アンダーカットの無いこと
	仕上がり高さ	ゲージ等による	設計寸法-0mm~+4mm
抜取検査	継ぎ検査	ゲージ等による	φ±0.5
	曲げ検査	パイプ曲げ等による	溶接部に割れなどの欠陥が生じないこと

8. パイルスタッドの配筋規定

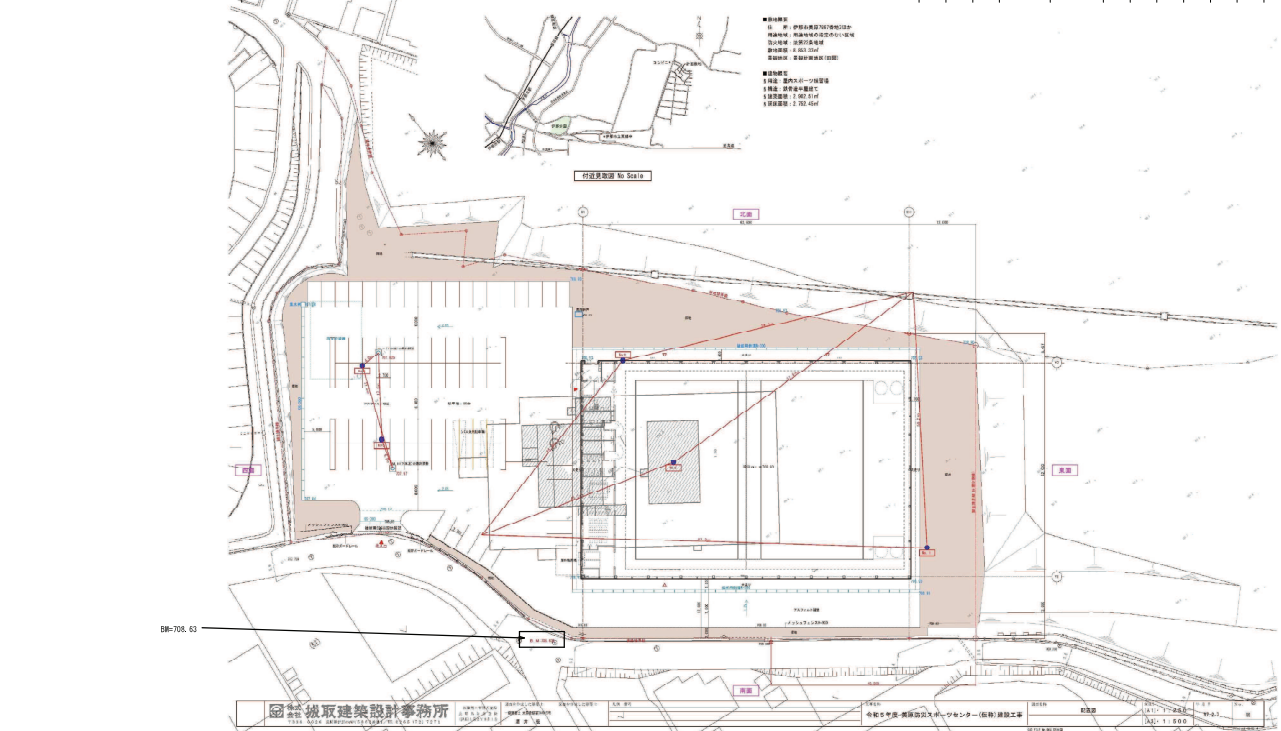
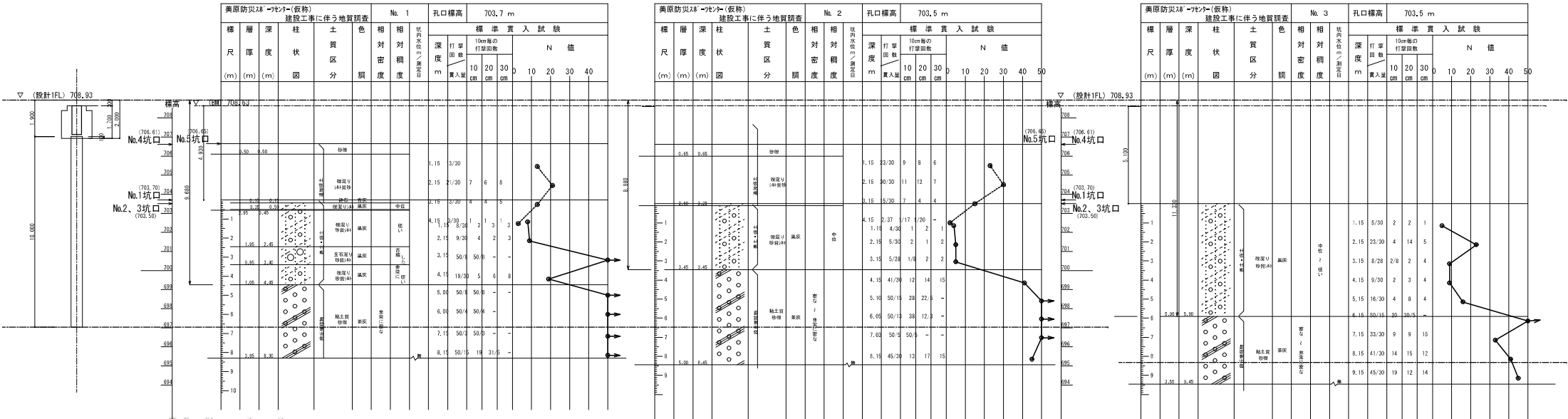
(詳細は、本工法建設技術審査証明 (建築技術) 報告書付録の「配置計画」による)

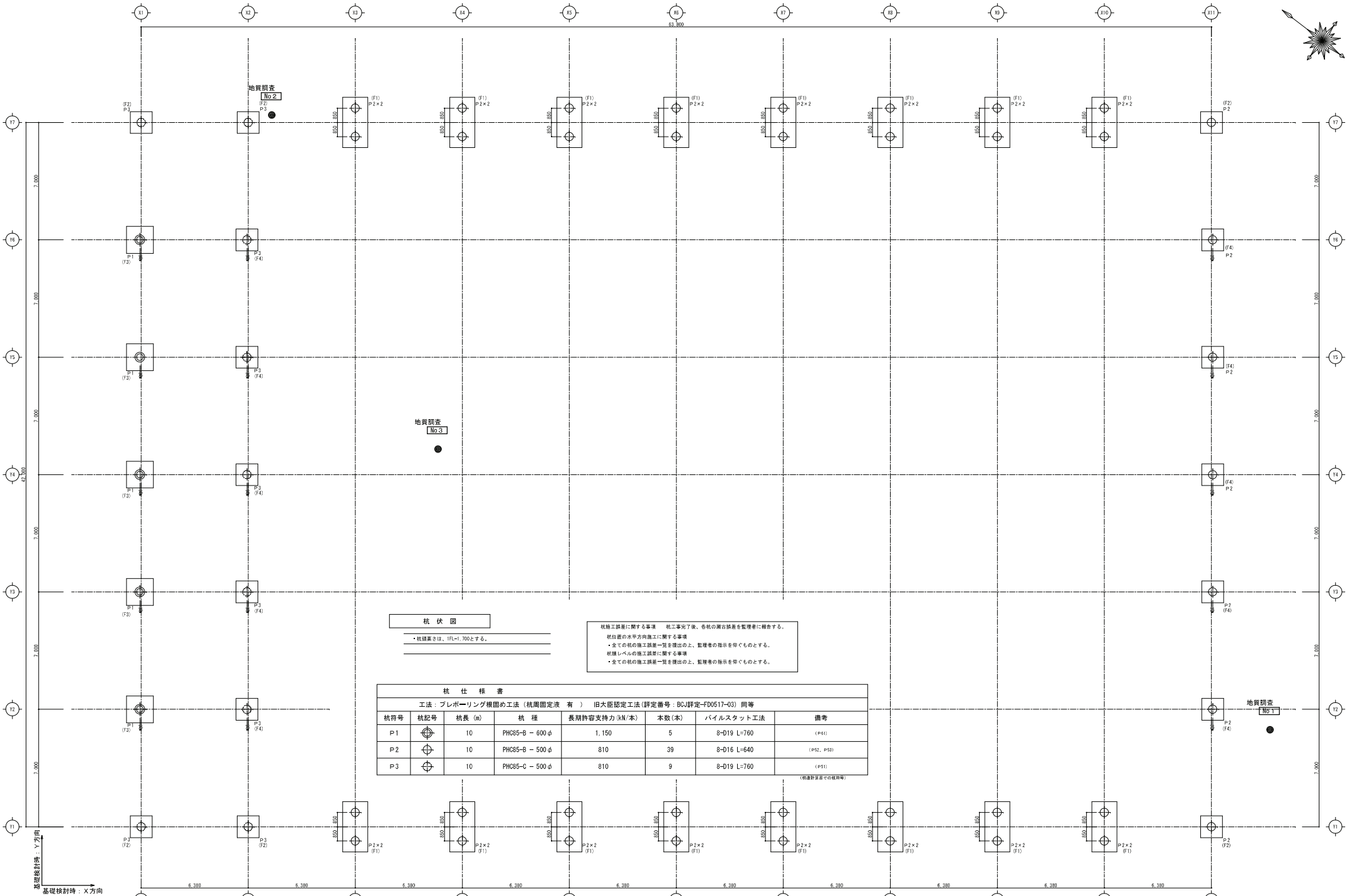
- フェール外殻が端板の開先や P C 鋼材孔と重ならない位置に溶接する。
- P C 鋼材径と同心円上の位置への配筋を基本とする。(同心円配筋)
- 同心円配筋ができない程 P C 鋼材間が狭い場合、フェールを P C 鋼材孔の同心円上の外側、内側と交互に配筋する。(千鳥配筋)
- 杭当たりの配筋本数は、6 本以上かつ P C 鋼材本数以下を原則とする。
- P C 鋼材孔間に 2 本以上配筋しないことを原則とする。
- パイルスタッドのあきは、基礎スラブコンクリート粗骨材最大寸法の 1. 2 5 倍 以上かつパイルスタッド公称直径の 1. 5 倍以上とする。

また、パイルスタッド中心と P C 鋼材中心は 2 0 mm 程度離す。



構造設計者 建設技術審査設計事務所 長野清孝 (伊勢) 監理 77051号
伊勢市建設局 伊勢市建設局 伊勢市建設局 伊勢市建設局 伊勢市建設局





杭 伏 図

- 杭間隔は、1FL-1.700とする。

杭施工調査に関する事項 杭工事完了後、各杭の調査結果を監理者に報告する。

杭位置の水平方向施工に関する事項

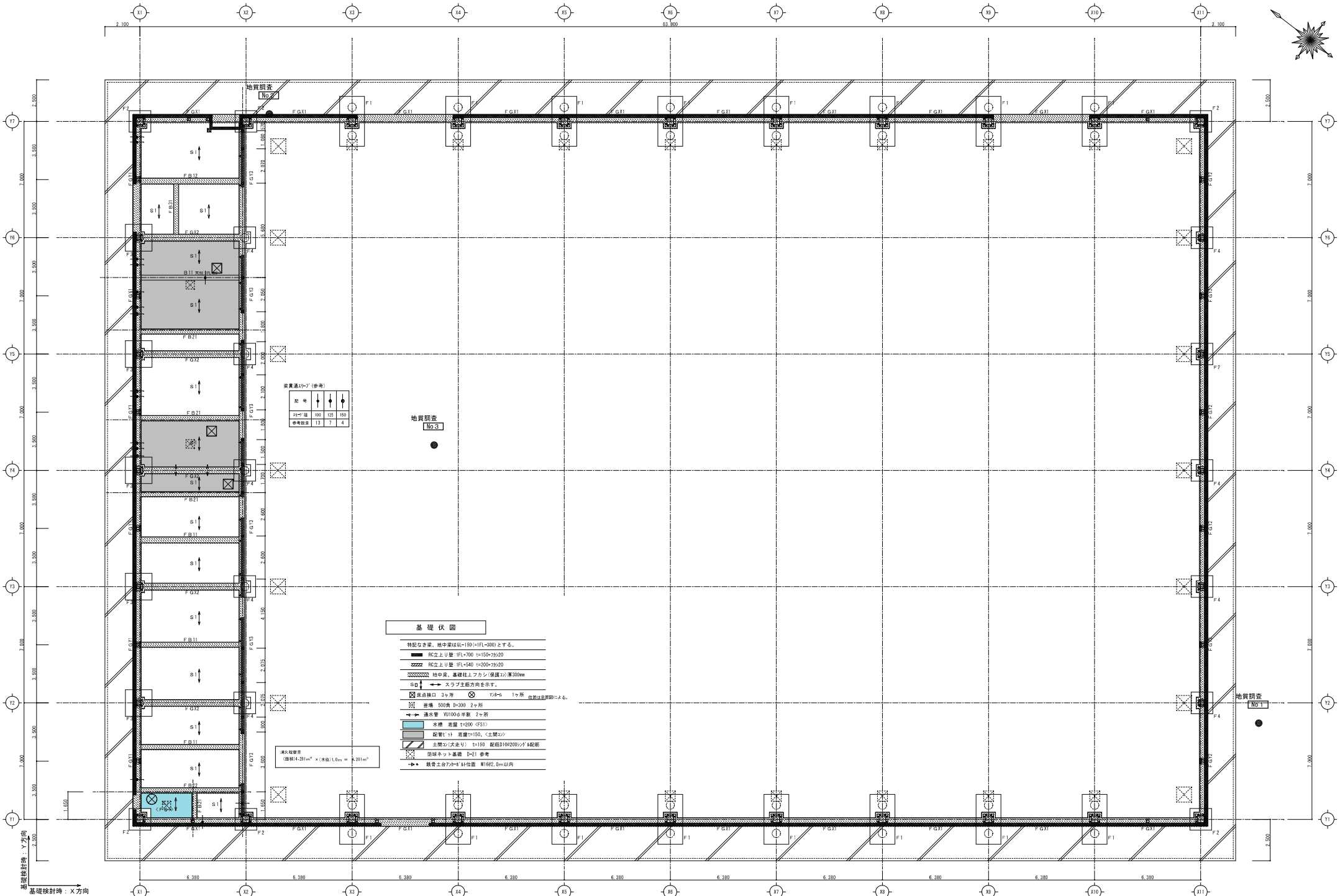
- 全ての杭の施工位置一覧を提出の上、監理者の指示を待つものとする。

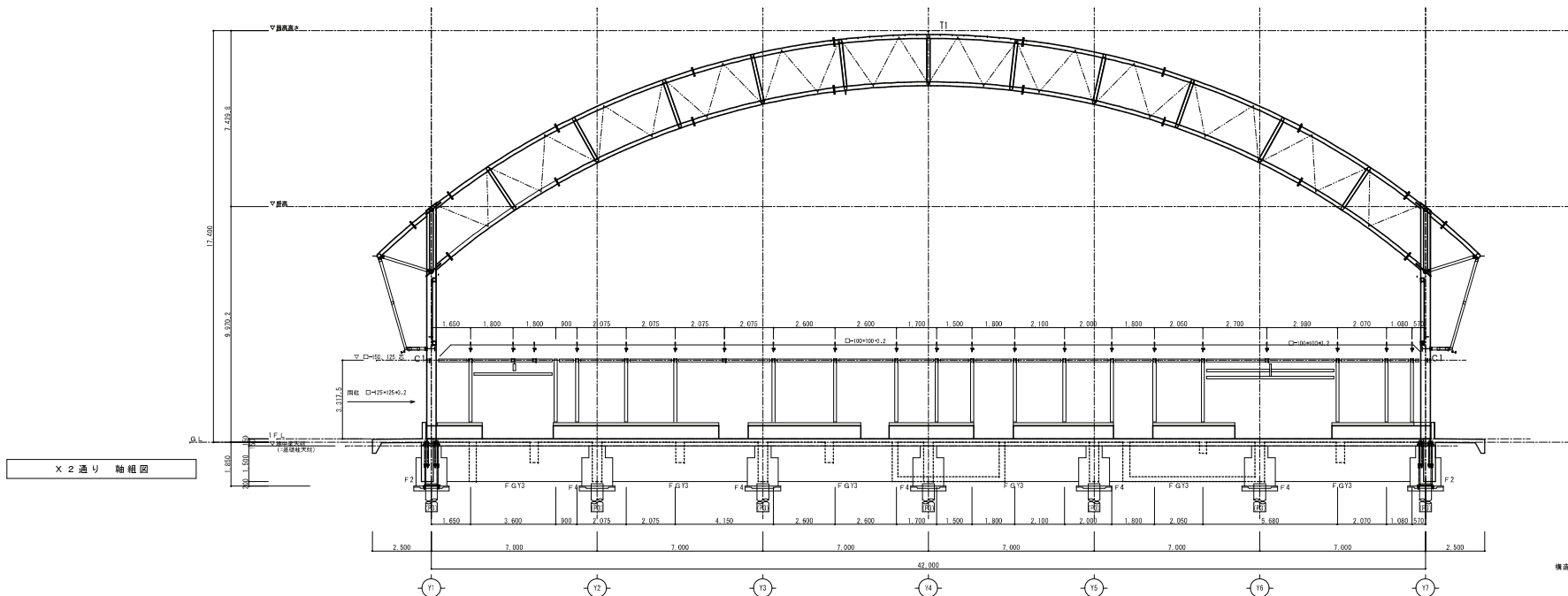
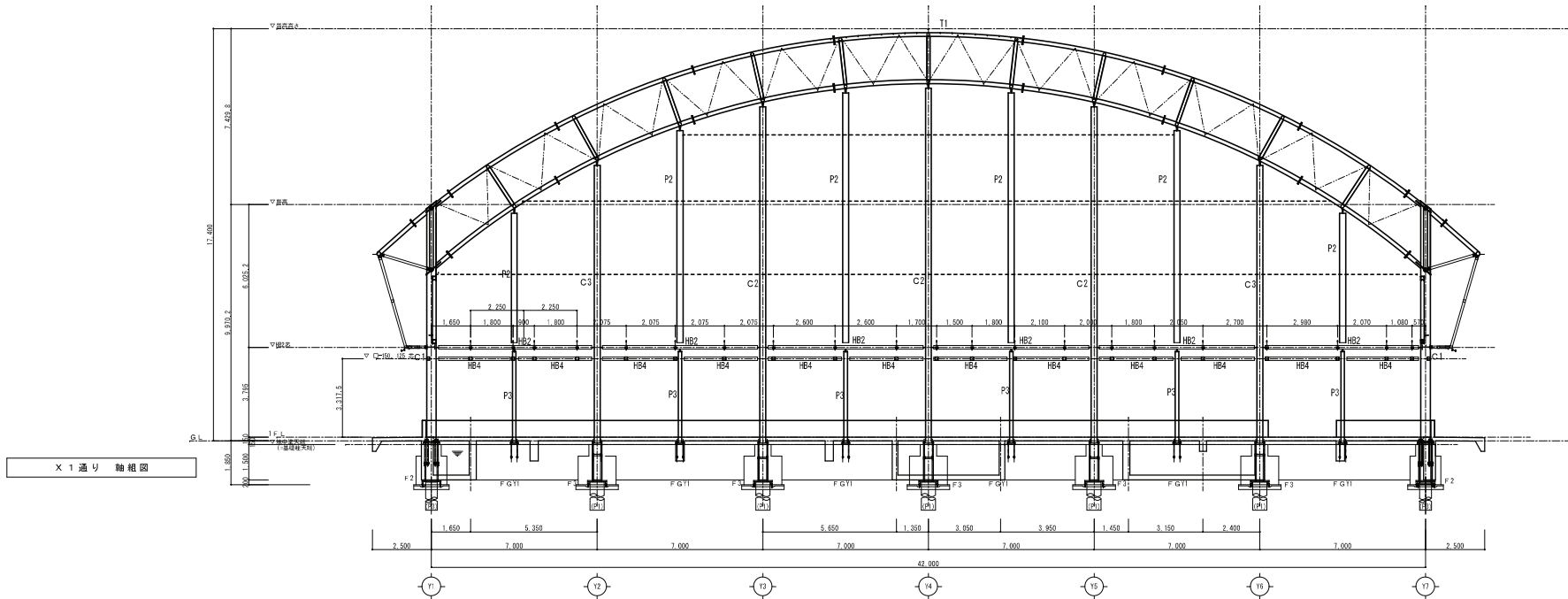
杭間隔の施工位置に関する事項

- 全ての杭の施工位置一覧を提出の上、監理者の指示を待つものとする。

杭 仕 様 書						
工法：プレボーリング掘削工法（杭間隔定液 有 ） 旧大臣認定工法（評定番号：BCJ評定-FD0517-03）同等						
杭符号	杭記号	杭長 (m)	杭 種	長期許容支持力 (kN/本)	本数 (本)	バイルスタット工法
P1	⊗	10	PHC85-B - 600 φ	1,150	5	8-D19 L=760 (P41)
P2	⊗	10	PHC85-B - 500 φ	810	39	8-D16 L=640 (P52, P53)
P3	⊗	10	PHC85-C - 500 φ	810	9	8-D19 L=760 (P51)

(杭間隔定液での杭間隔)





構造設計者 株式会社 建設設計事務所 長野県知事登録 (伊那) 第77051号
伊那市西町5863-1 一級建築士 宮脇 博一 登録 業177958号
0265-72-7271 構造設計一般建築士 第1993号

株式会社 建設設計事務所
〒399-0002 長野県伊那市西町5863第11/1101 0265 (72.2) 7271

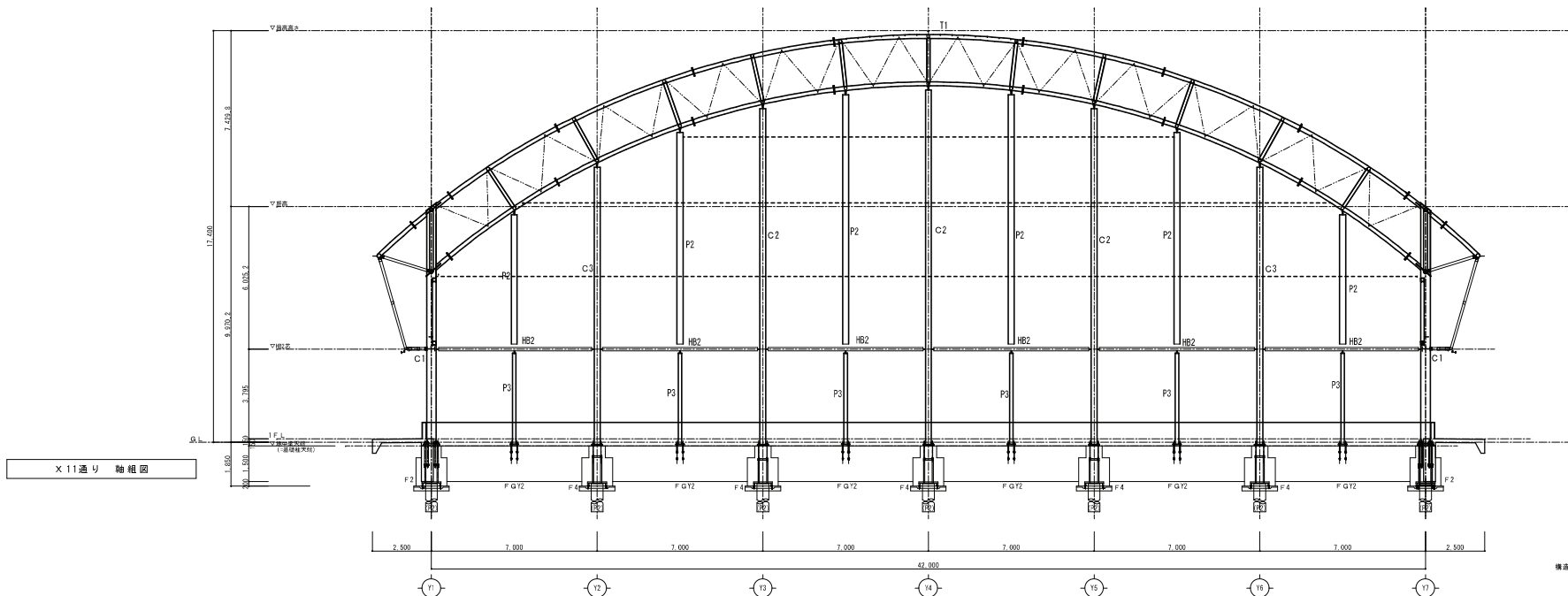
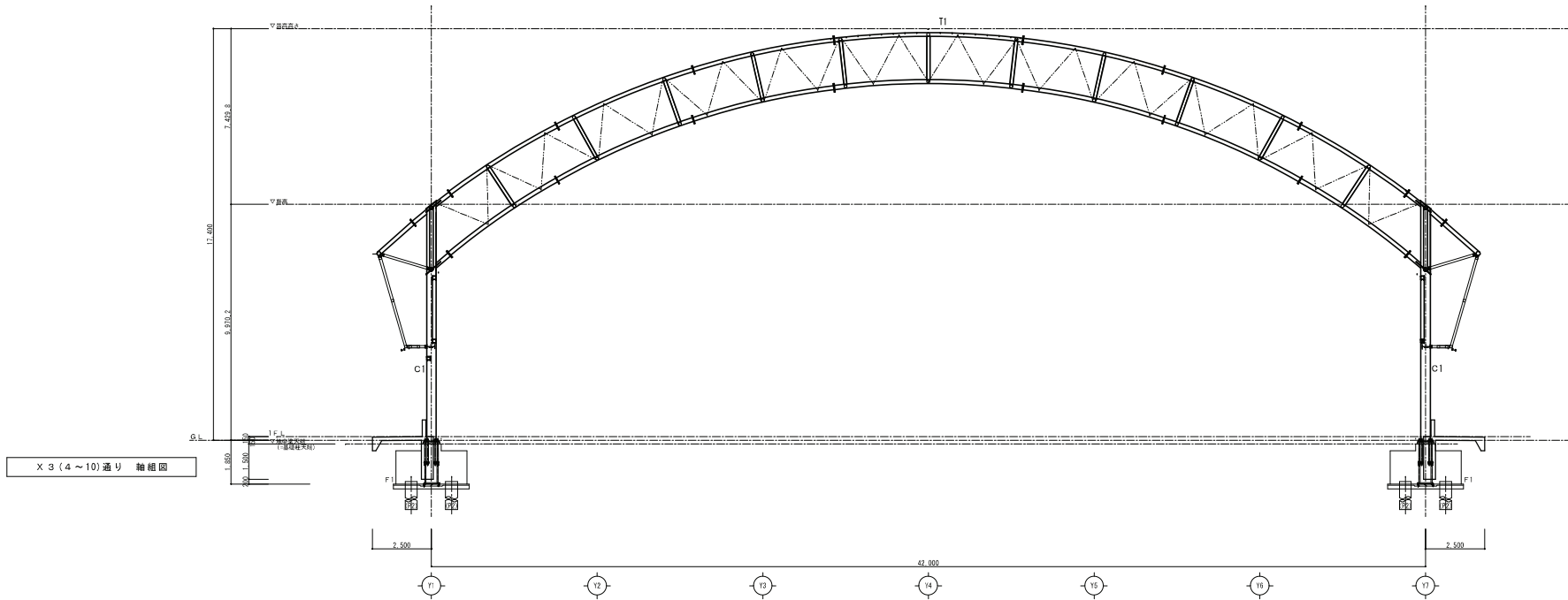
図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 登録
長野県知事登録 (伊那) 第77051号

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 登録
長野県知事登録 (伊那) 第77051号

工事名称
令和7年度 美原防災スポーツセンター(仮称)建設 建築工事

図面名称
基礎・地中梁 軸組図 (1)

SCALE
[A1]・1:100
[A3]・1:200
R 7.3
S-13



構造設計者 株式会社 建設設計事務所 長野県知事登録 (伊那) 第 77051 号
伊那市西町 5803-1 一級建築士 宮崎 博一 登録 業 第 177958 号
0265-72-7271 構造設計一般建築士 第 1993 号

株式会社 建設設計事務所
〒396-0026 長野県伊那市西町 5803 第 177958 号
TEL 0265-7271 FAX 0265-7272

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 登録
長野県知事登録 (伊那) 第 77051 号

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 登録
長野県知事登録 (伊那) 第 77051 号

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 登録
長野県知事登録 (伊那) 第 77051 号

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 登録
長野県知事登録 (伊那) 第 77051 号

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 登録
長野県知事登録 (伊那) 第 77051 号

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 登録
長野県知事登録 (伊那) 第 77051 号

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 登録
長野県知事登録 (伊那) 第 77051 号

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 登録
長野県知事登録 (伊那) 第 77051 号

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 登録
長野県知事登録 (伊那) 第 77051 号

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 登録
長野県知事登録 (伊那) 第 77051 号

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 登録
長野県知事登録 (伊那) 第 77051 号

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 登録
長野県知事登録 (伊那) 第 77051 号

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 登録
長野県知事登録 (伊那) 第 77051 号

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 登録
長野県知事登録 (伊那) 第 77051 号

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 登録
長野県知事登録 (伊那) 第 77051 号

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 登録
長野県知事登録 (伊那) 第 77051 号

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 登録
長野県知事登録 (伊那) 第 77051 号

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 登録
長野県知事登録 (伊那) 第 77051 号

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 登録
長野県知事登録 (伊那) 第 77051 号

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 登録
長野県知事登録 (伊那) 第 77051 号

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 登録
長野県知事登録 (伊那) 第 77051 号

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 登録
長野県知事登録 (伊那) 第 77051 号

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 登録
長野県知事登録 (伊那) 第 77051 号

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 登録
長野県知事登録 (伊那) 第 77051 号

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 登録
長野県知事登録 (伊那) 第 77051 号

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 登録
長野県知事登録 (伊那) 第 77051 号

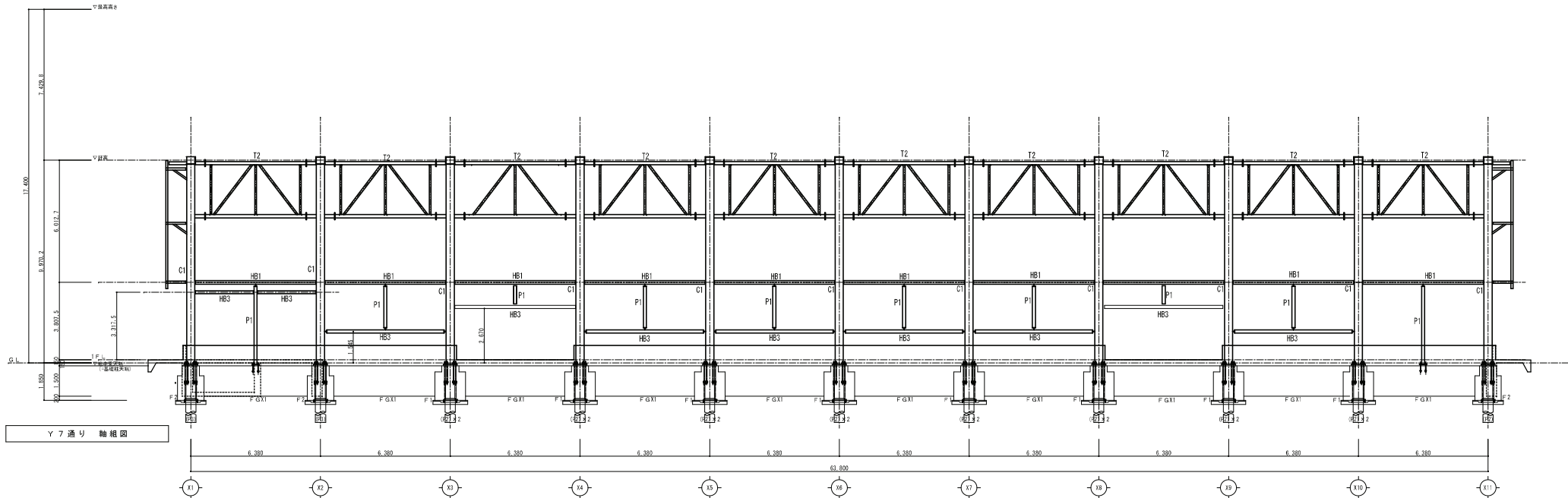
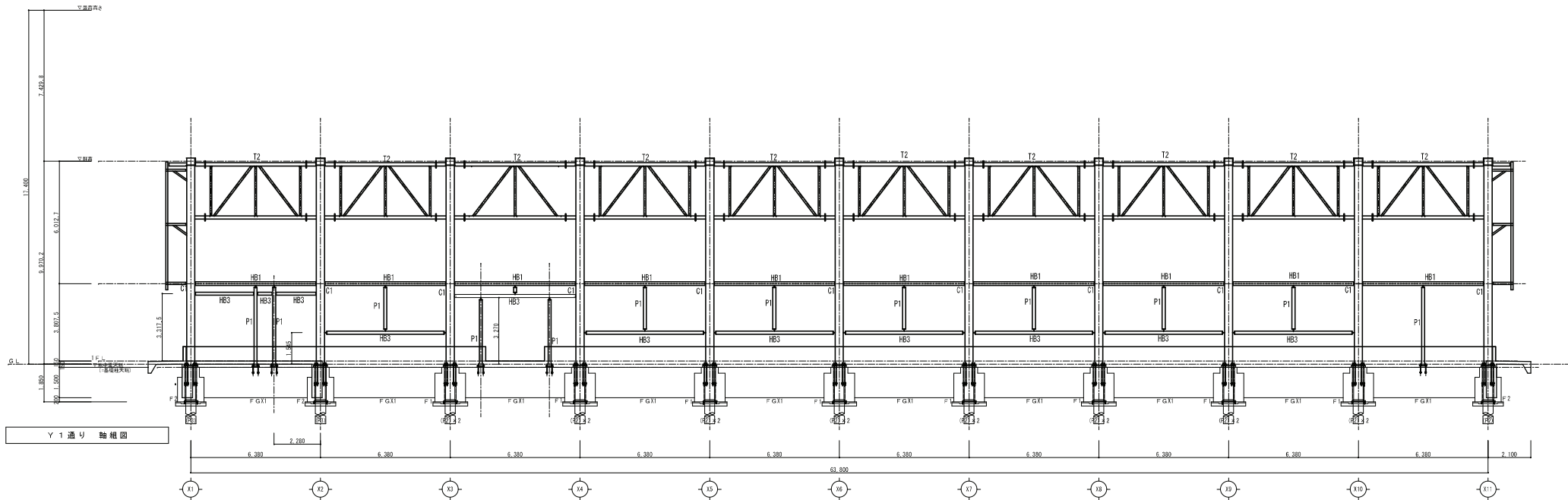
工事名称 令和 7 年度 美原防災スポーツセンター (仮称) 建設 建築工事

図面名称 基礎・地中梁 軸組図 (2)

SCALE
[A1]・1:100
[A3]・1:200

版 次 日
R 7.3

シート
S-14



構造設計者 株式会社 建設設計事務所 長野県知事登録 (伊那) 第 77051 号
伊那市西町 5003-1 一級建築士 宮崎 博一 登録 業 177958 号
0265-72-7271 構造設計一級建築士 第 1993 号

株式会社 建設設計事務所
〒339-0600 長野県伊那市西町 5003-1 伊那 1-10-1 (伊那) 第 77051 号

図面を作成した建築士
一級建築士 宮崎 博一
図面作成 伊那 1-10-1 (伊那) 第 77051 号

図面を作成した建築士
一級建築士 大田 豊雄 177958 号
構造設計一級建築士 大田 豊雄 1817 号
宮崎 博一

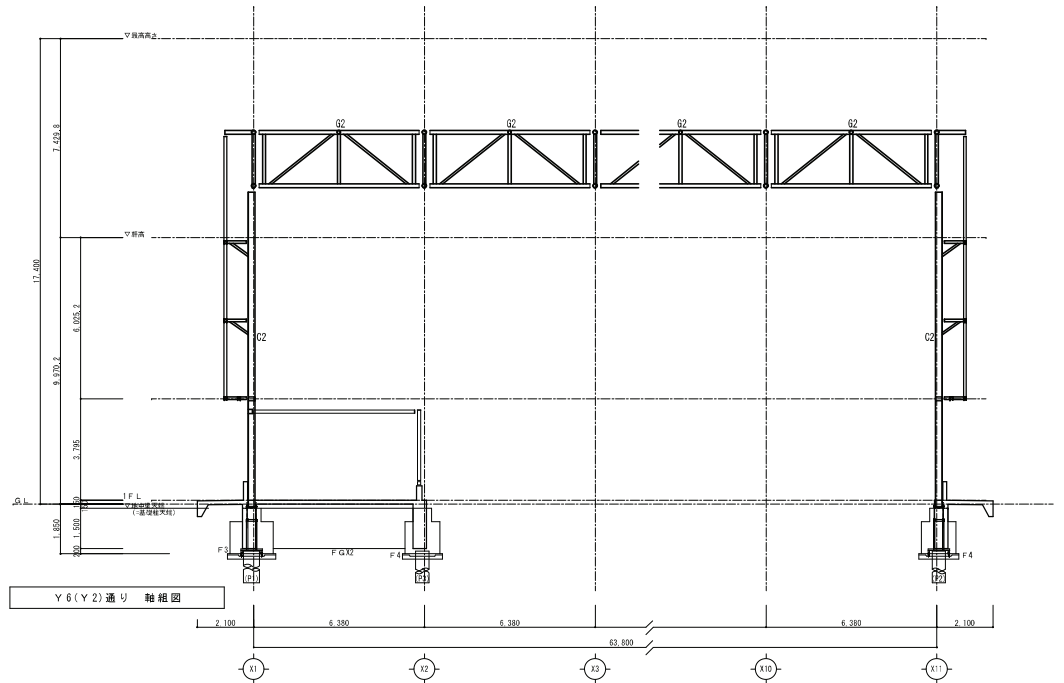
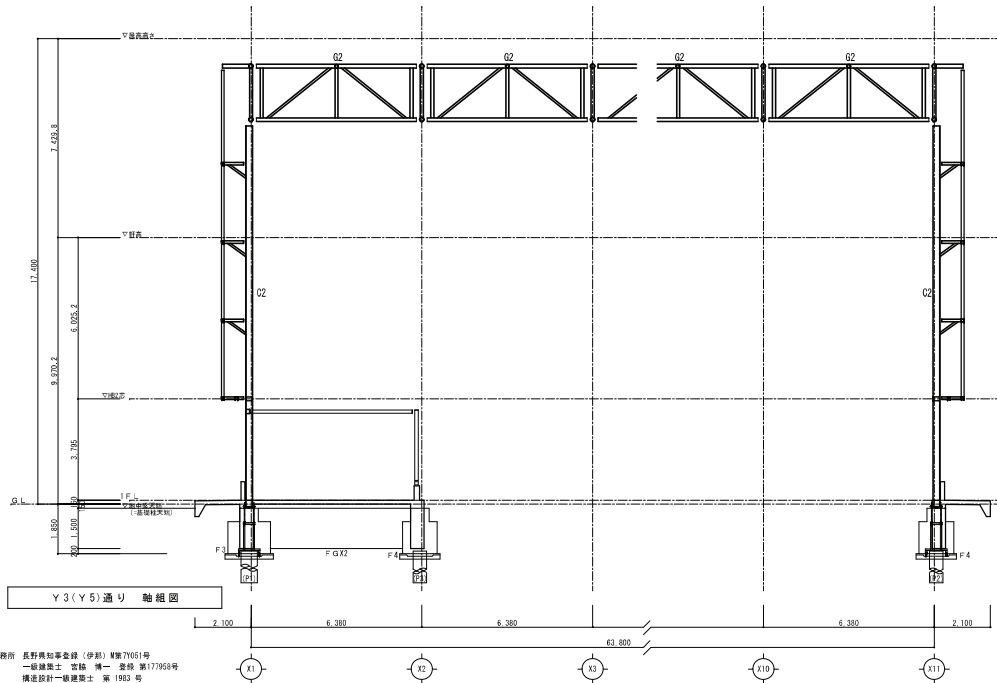
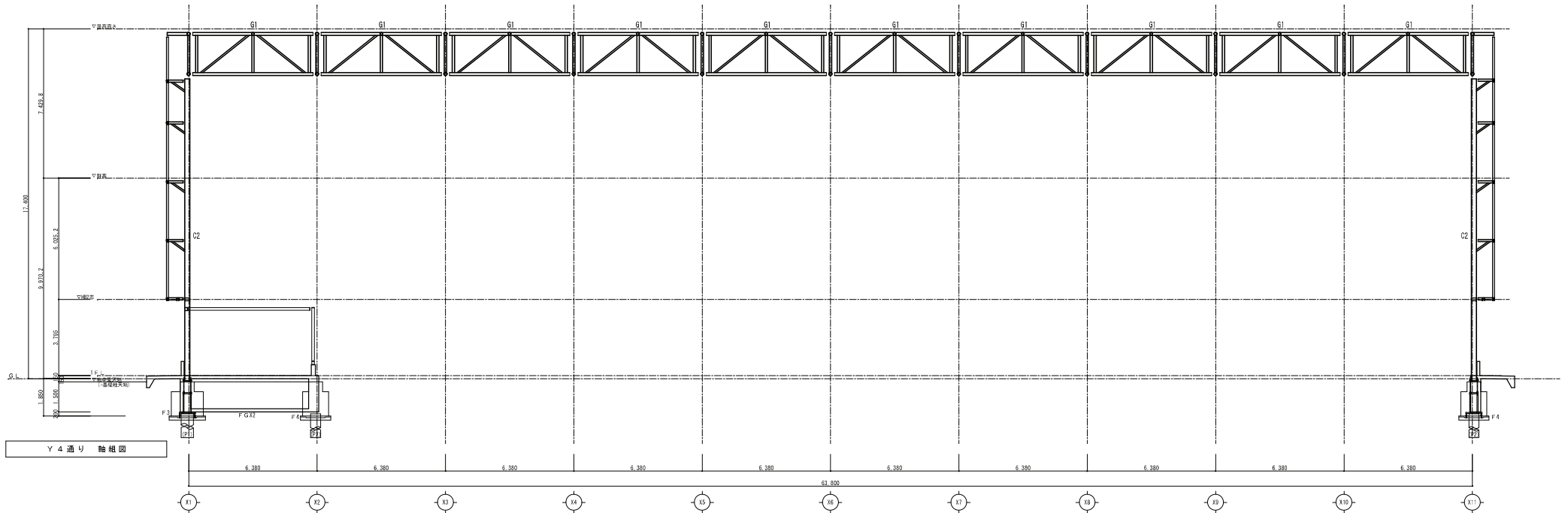
尺貫・単位
mm

工事名称
令和 7 年度 美原防災スポーツセンター (仮称) 建設 建築工事

図面名称
基礎・地中梁 軸組図 (3)

SCALE
[A1]・1:100
[A3]・1:200

年 月 日
R 7. 3
S-15



構造設計者
相模建設設計事務所
伊勢市西町883-1
0265-72-0271

長野県知事登録（伊勢）第71051号
一般建築士 宮崎 博一 登録 第177958号
構造設計一般建築士 第19852号

相模建設設計事務所
〒339-0002 長野県伊勢市西町5-8-3 3階 1/101 0265-7271 7271

認定を作成した建築士
一般建築士 大田倉雄一 177958号
構造設計一般建築士 大田倉雄一 18757号
（伊勢）第71051号

認定を作成した建築士
一般建築士 大田倉雄一 177958号
構造設計一般建築士 大田倉雄一 18757号
（伊勢）第71051号

認定を作成した建築士
一般建築士 大田倉雄一 177958号
構造設計一般建築士 大田倉雄一 18757号
（伊勢）第71051号

認定を作成した建築士
一般建築士 大田倉雄一 177958号
構造設計一般建築士 大田倉雄一 18757号
（伊勢）第71051号

認定を作成した建築士
一般建築士 大田倉雄一 177958号
構造設計一般建築士 大田倉雄一 18757号
（伊勢）第71051号

認定を作成した建築士
一般建築士 大田倉雄一 177958号
構造設計一般建築士 大田倉雄一 18757号
（伊勢）第71051号

認定を作成した建築士
一般建築士 大田倉雄一 177958号
構造設計一般建築士 大田倉雄一 18757号
（伊勢）第71051号

認定を作成した建築士
一般建築士 大田倉雄一 177958号
構造設計一般建築士 大田倉雄一 18757号
（伊勢）第71051号

認定を作成した建築士
一般建築士 大田倉雄一 177958号
構造設計一般建築士 大田倉雄一 18757号
（伊勢）第71051号

認定を作成した建築士
一般建築士 大田倉雄一 177958号
構造設計一般建築士 大田倉雄一 18757号
（伊勢）第71051号

認定を作成した建築士
一般建築士 大田倉雄一 177958号
構造設計一般建築士 大田倉雄一 18757号
（伊勢）第71051号

認定を作成した建築士
一般建築士 大田倉雄一 177958号
構造設計一般建築士 大田倉雄一 18757号
（伊勢）第71051号

認定を作成した建築士
一般建築士 大田倉雄一 177958号
構造設計一般建築士 大田倉雄一 18757号
（伊勢）第71051号

認定を作成した建築士
一般建築士 大田倉雄一 177958号
構造設計一般建築士 大田倉雄一 18757号
（伊勢）第71051号

認定を作成した建築士
一般建築士 大田倉雄一 177958号
構造設計一般建築士 大田倉雄一 18757号
（伊勢）第71051号

認定を作成した建築士
一般建築士 大田倉雄一 177958号
構造設計一般建築士 大田倉雄一 18757号
（伊勢）第71051号

認定を作成した建築士
一般建築士 大田倉雄一 177958号
構造設計一般建築士 大田倉雄一 18757号
（伊勢）第71051号

認定を作成した建築士
一般建築士 大田倉雄一 177958号
構造設計一般建築士 大田倉雄一 18757号
（伊勢）第71051号

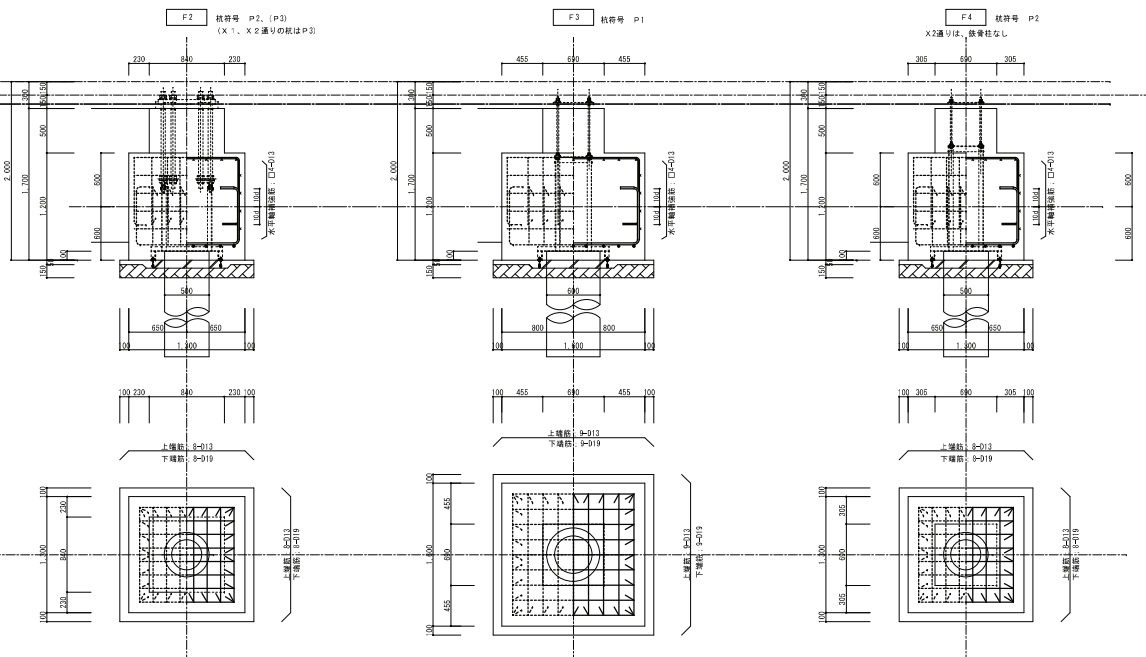
令和7年度 美原防災スポーツセンター(仮称)建設 建築工事

基礎・地中梁 軸組図 (4)

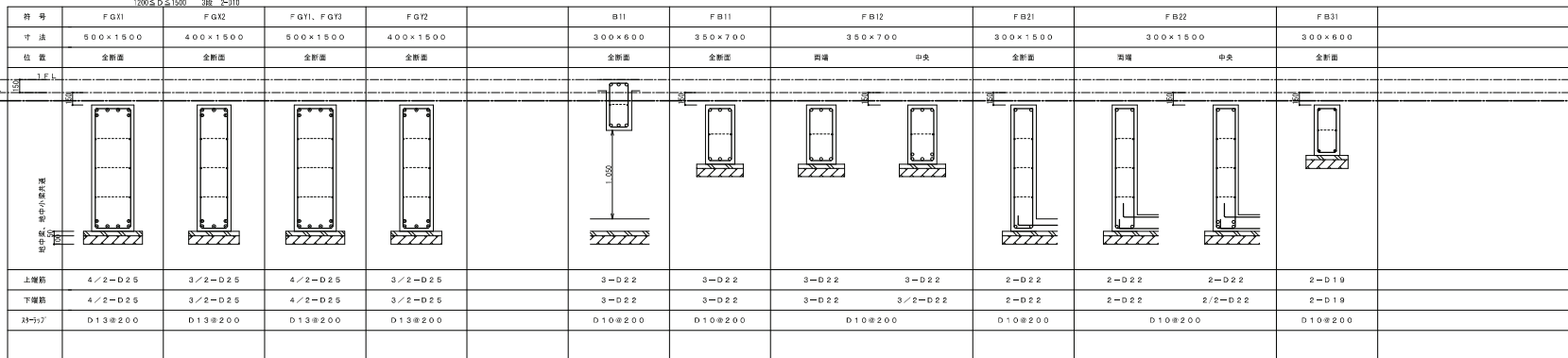
SCALE
[A1]・1:100
[A3]・1:200

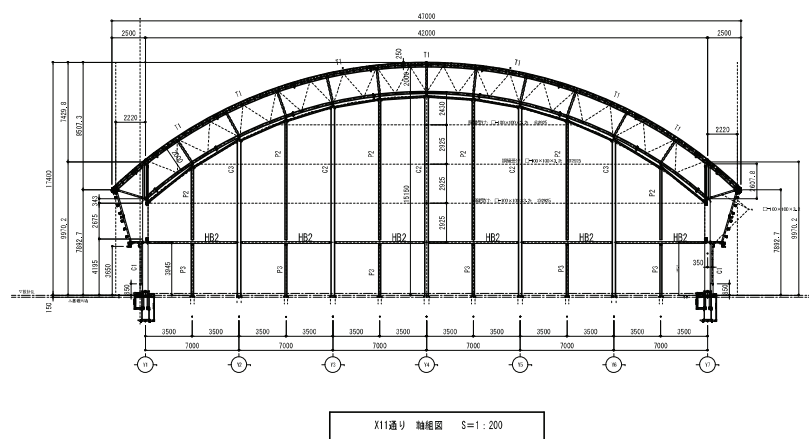
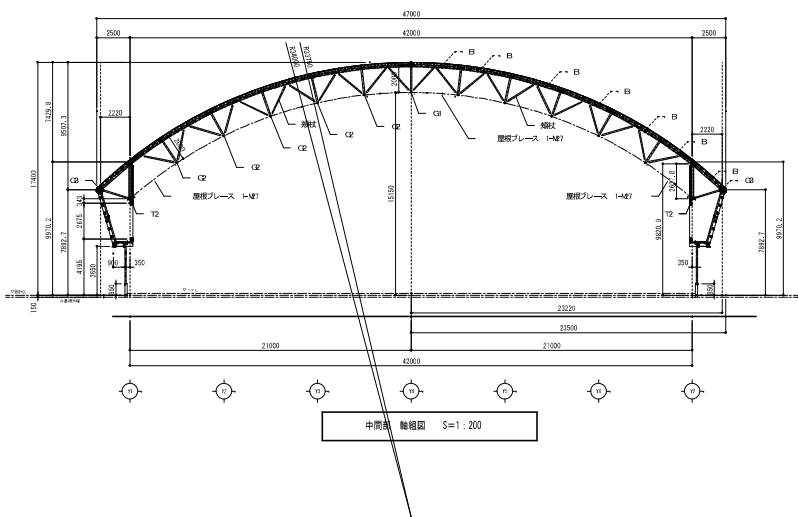
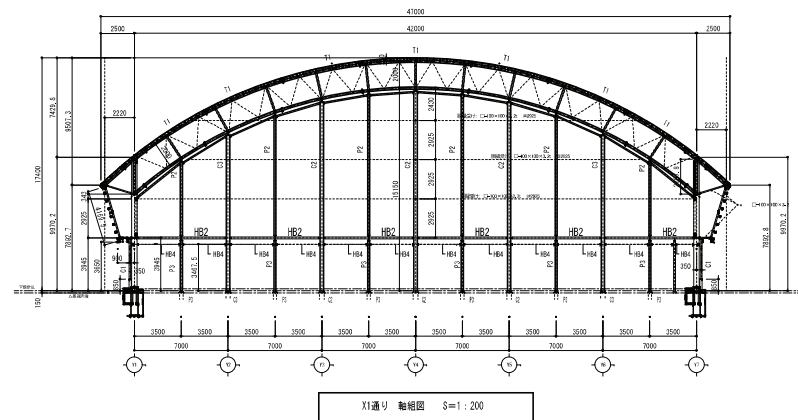
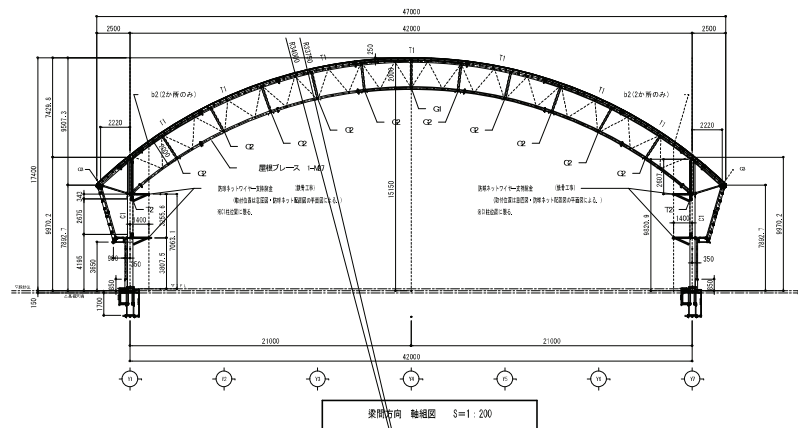
版 次 目
R 7.3

N o .
S -16



材 号	厚	位 置	短 边		长 边		备 考	材 号	厚	位 置	短 边		长 边		备 考
			全面	全面	全面	全面					全面	全面			
S1	150	上	D13#200	D10#200			FS1	200	上	D13#200	D13#200			水磨厚壁	
		下	D13#200	D10#200					下	D13#200	D13#200				
大壳V	150		D10#200	D10#200			脚管V-1 底壁	150		D13#200	D13#200				





構造設計者 株式会社 城取建築設計事務所 長野県知事登録 (伊那) 第 77051 号
 伊那市西町 5863-1 一級建築士 宮脇 博一 登録 業 177958 号
 0265-72-7271 構造設計一般建築士 第 1993 号

城取建築設計事務所
 〒399-0002 長野県伊那市西町 5863 番地 1 / TEL. 0265-7271 7271

一級建築士事務所 監修
 宮脇 博一 専任
 (伊那) 第 77051 号

図面を作成した建築士

図面を作成した建築士
 一級建築士 大田倉健太郎 77958 号
 構造設計一般建築士 大田倉健太郎 1993 号
 宮脇 博一

工程 備考

工事名称

令和 7 年度 美原防災スポーツセンター (仮称) 建設 建築工事

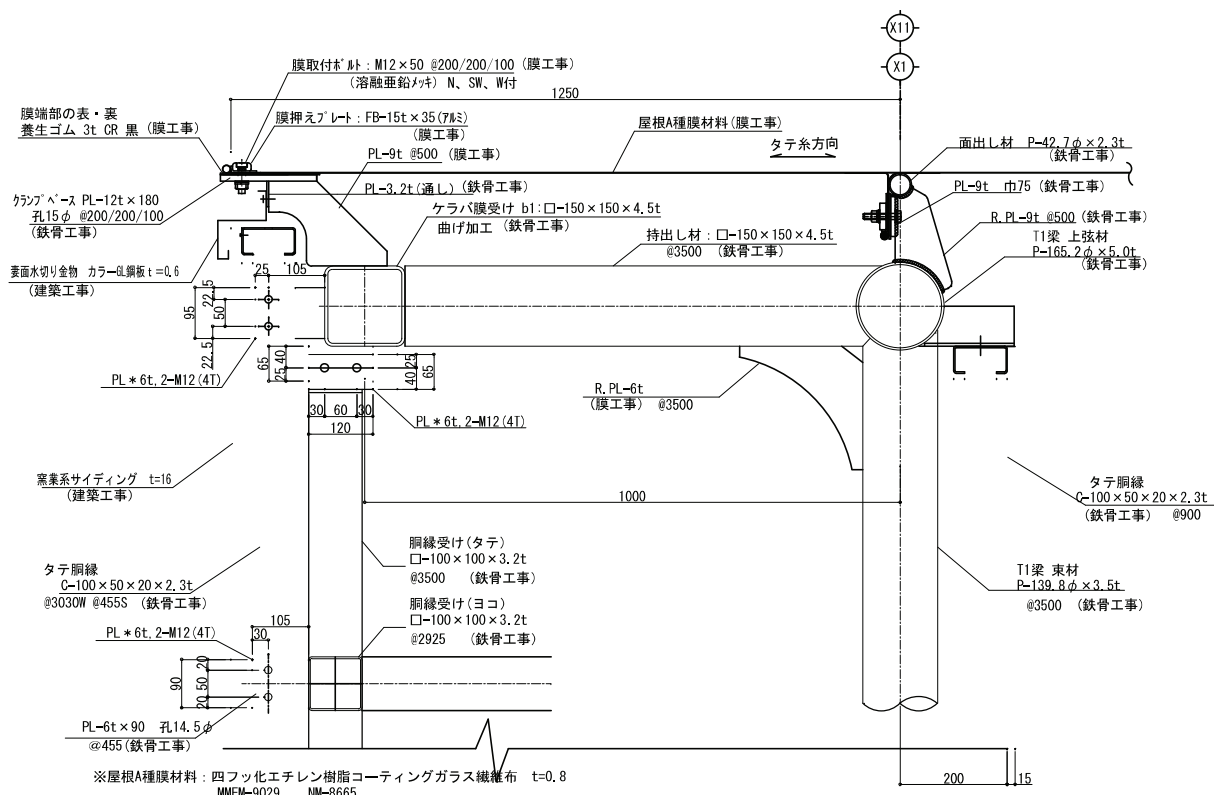
図面名称

梁間方向 軸組図

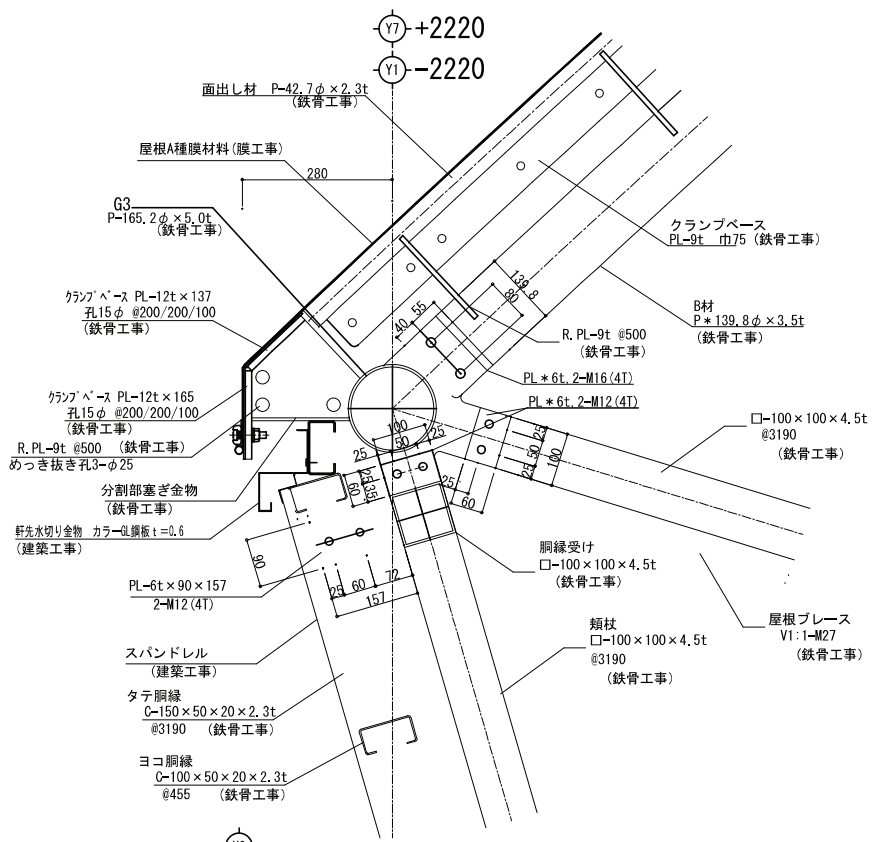
SCALE
 [A1]・1:200
 [A3]・1:400

年 月 日
 R 7. 3

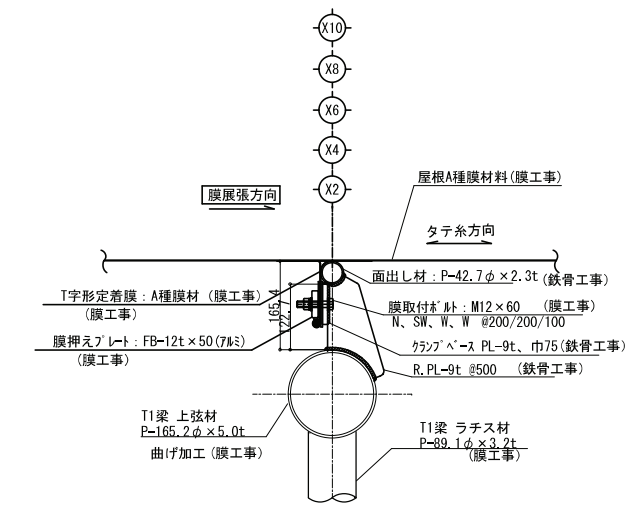
No.
 S-20



素面_膜定着部断面詳細図 S=1/5

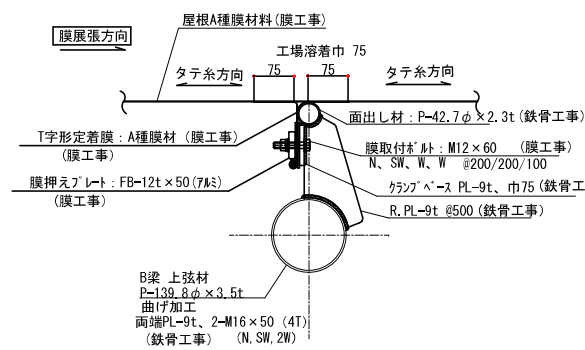


断面_膜定着部断面詳細図 S=1/5



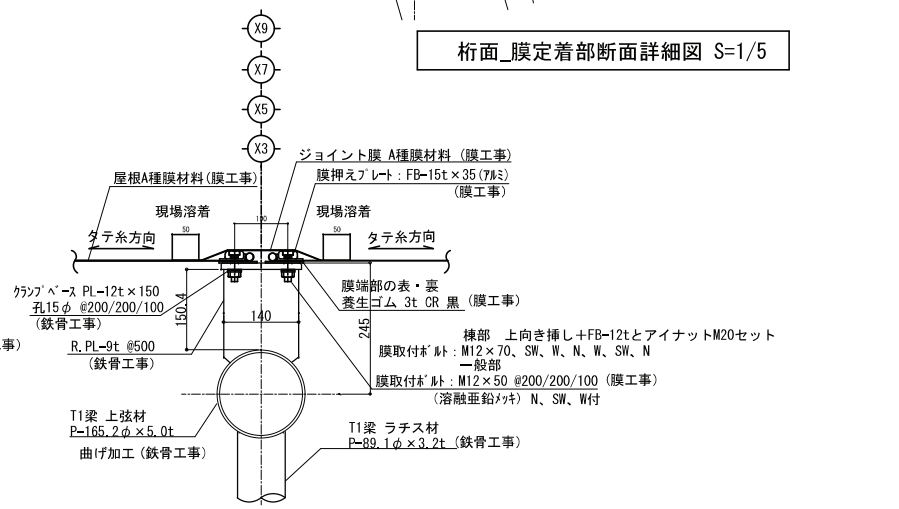
膜定着部断面詳細図 S=1/5

5通り (X2, X4, X6, X8, X10通り)



中間膜定着部断面詳細図 S=1/5

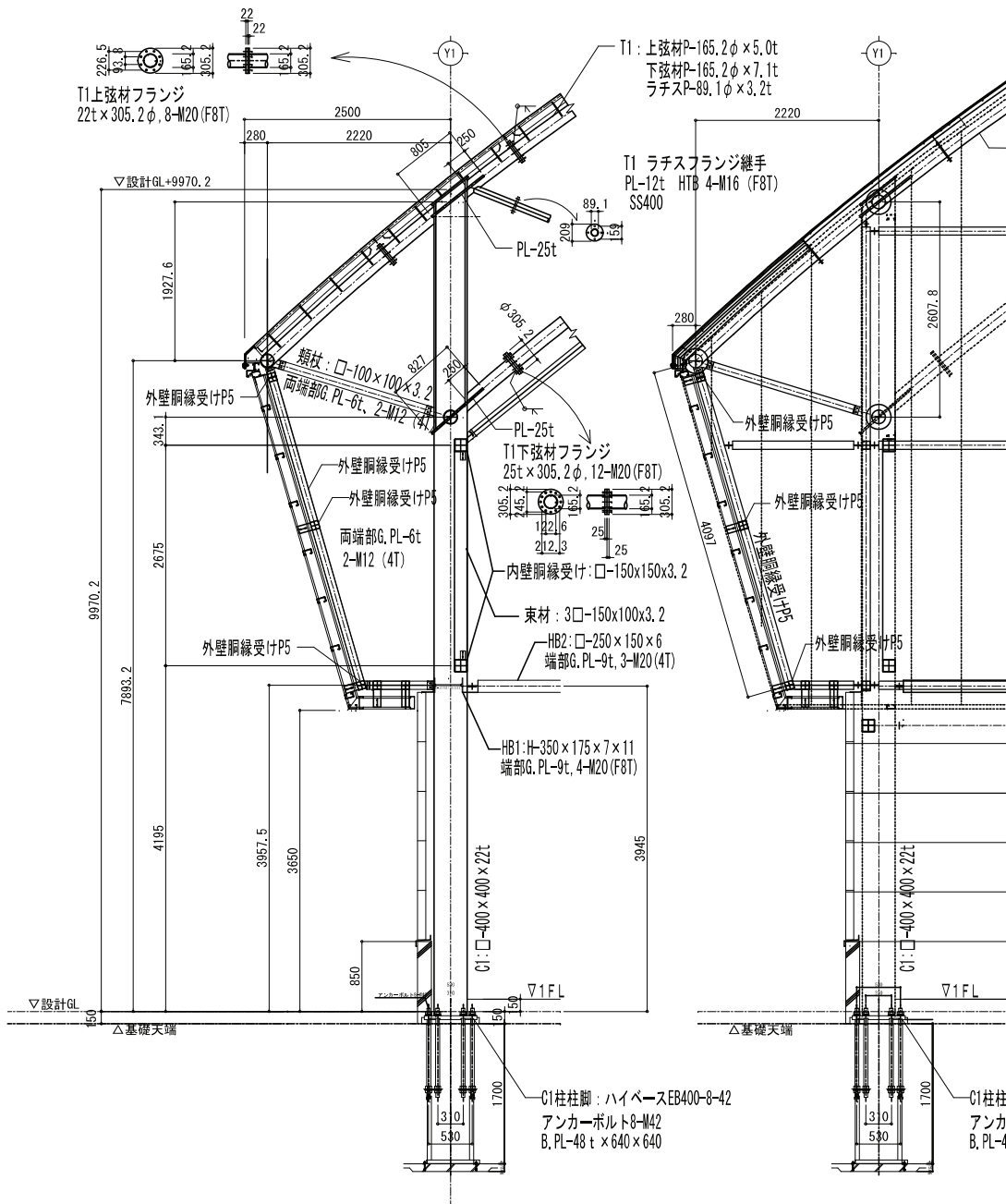
各通り間中央10通り



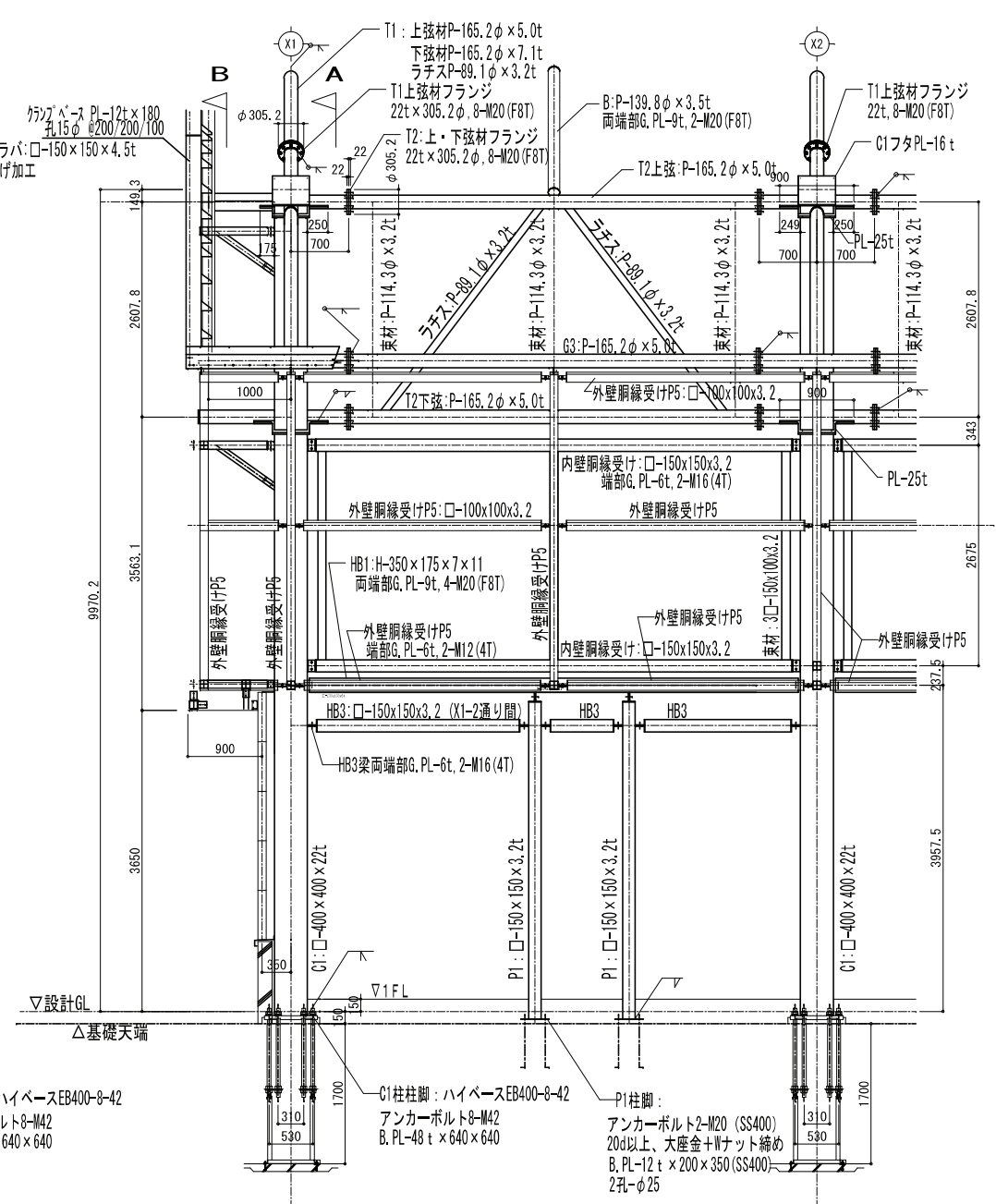
膜分割部断面詳細図 S=1/5

4通り (X3, X5, X7, X9通り)

構造設計者 株式会社建築設計事務所 長野県知事登録 (伊那) 第71951号
伊那市西町5803-1 一級建築士 宮崎 博一 登録 第177958号
0265-72-7271 構造設計一級建築士 第1993号

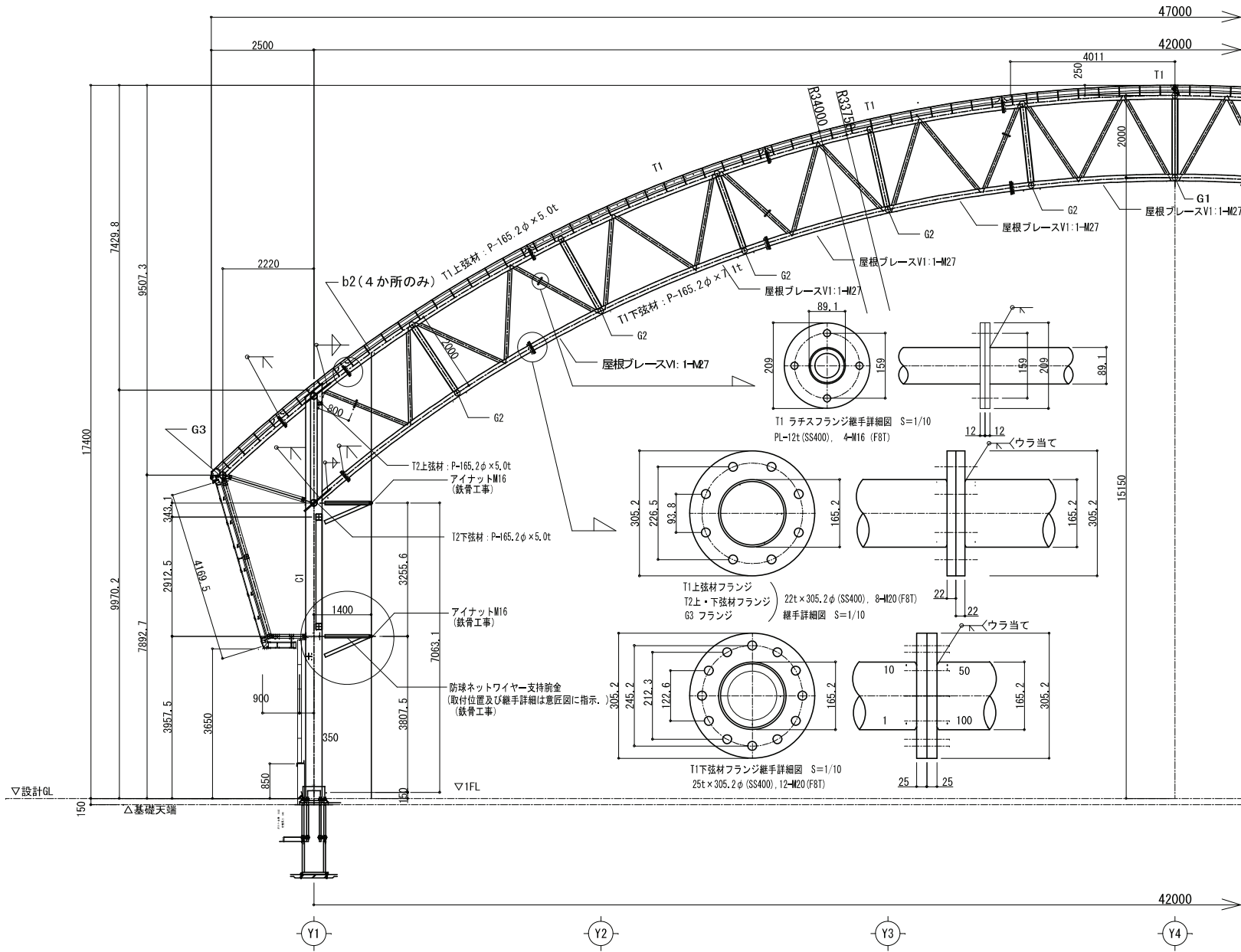


鉄骨詳細図 (A矢視図) S=1:30

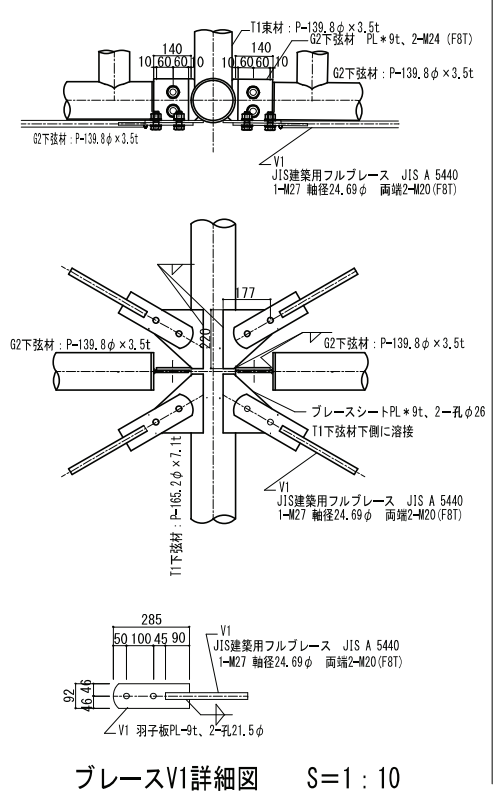


X1-X2通り・Y1通り 鉄骨詳細図 S=1:30

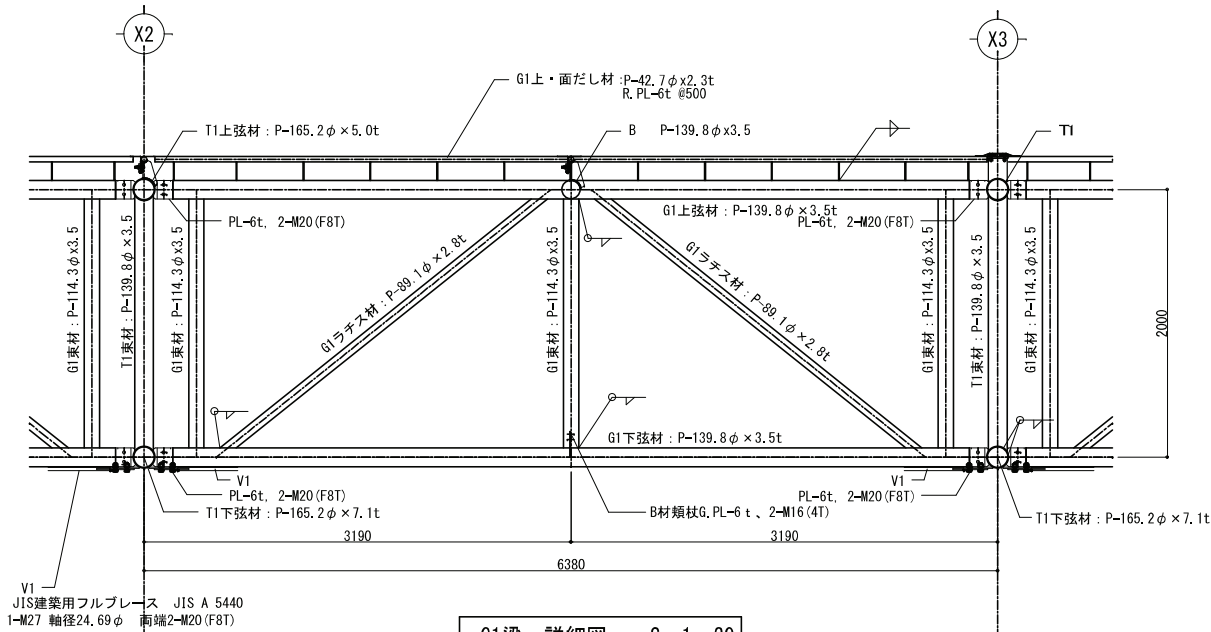
構造設計者 株式会社 建設設計事務所 長野県知事登録 (伊那) 第71051号
伊那市西町5803-1 一級建築士 宮崎 博一 登録 業177958号
0265-72-7271 構造設計一般建築士 第1993号



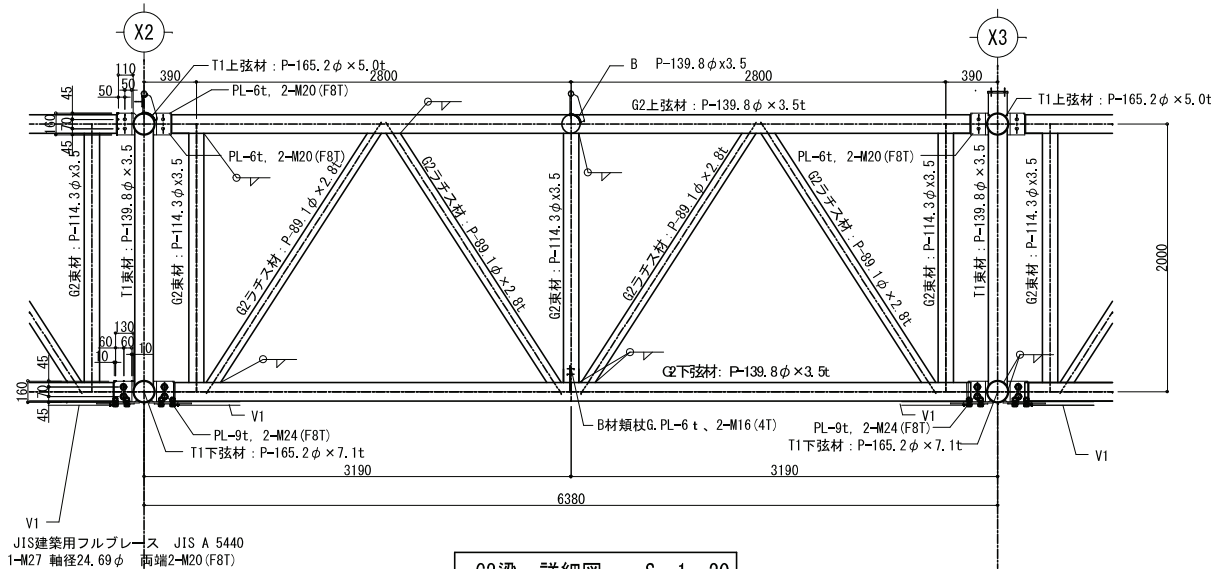
一般部鉄骨詳細図 S=1:50



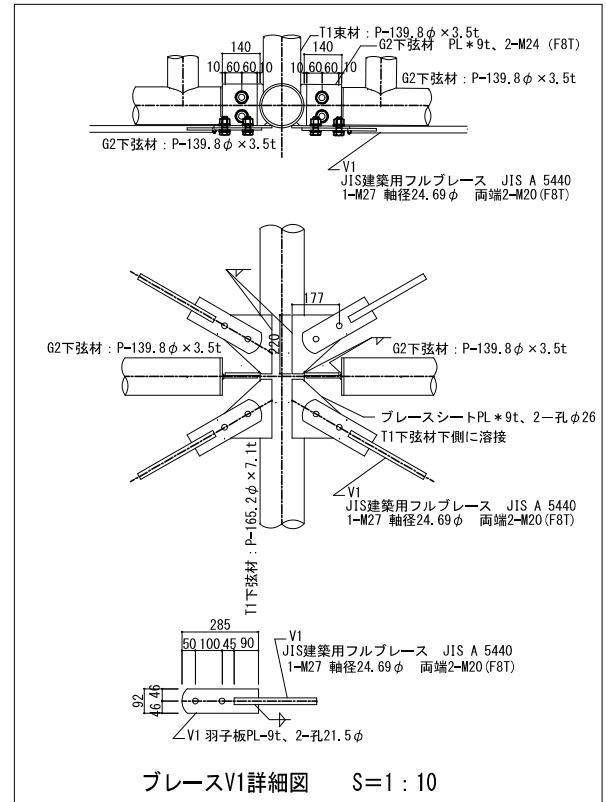
ブレースV1詳細図 S=1:10



G1梁 詳細図 S=1:20

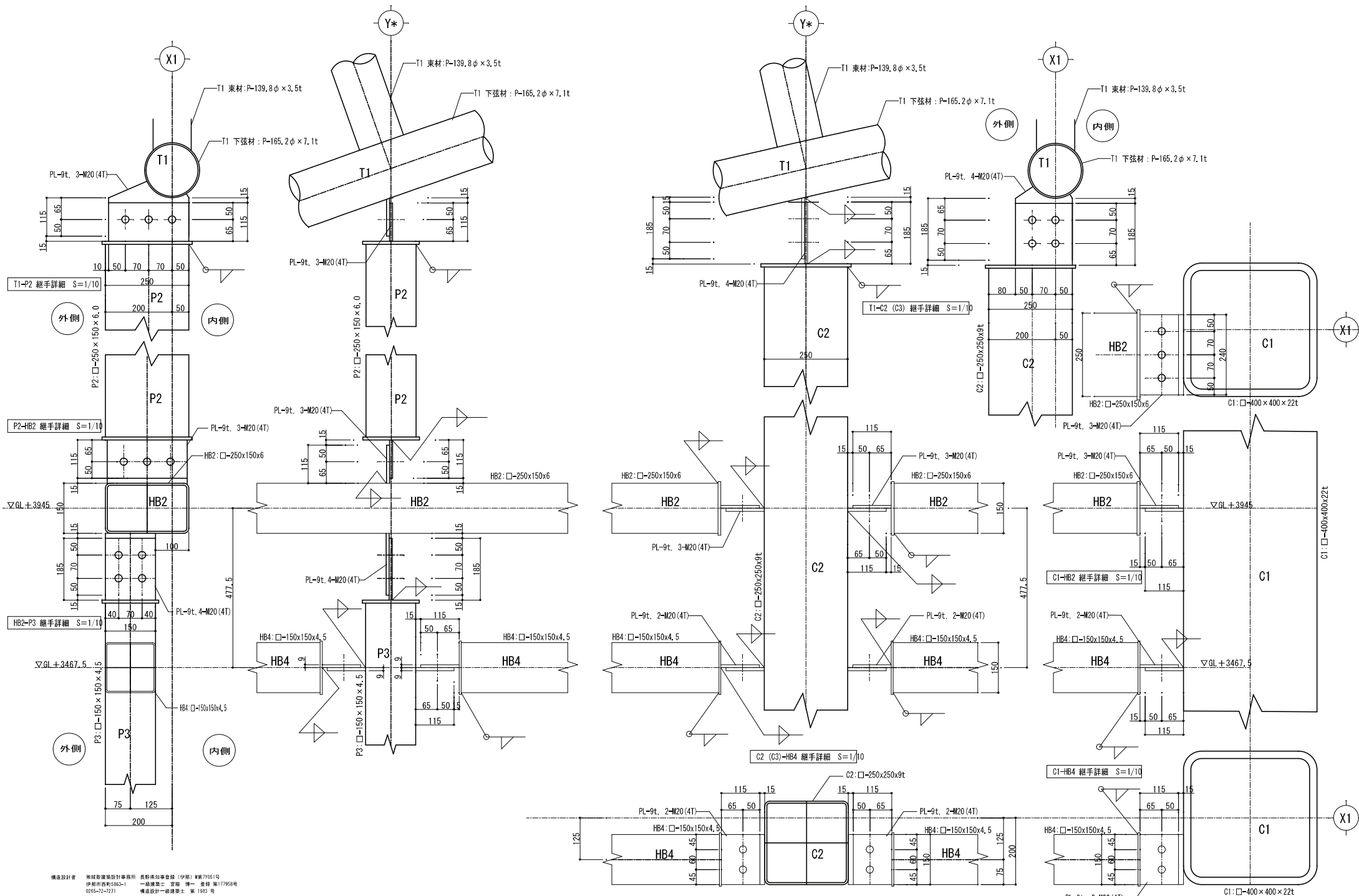


G2梁 詳細図 S=1:20



ブレースV1詳細図 S=1:10

構造設計者 株式会社建築設計事務所 長野県知事登録 (伊那) 第77051号
伊那市西町5803-1 一級建築士 宮崎 博一 登録 業177958号
0265-72-7271 構造設計一級建築士 第1993号



構造設計者 株式会社建築設計事務所 長野県知事登録（伊那）第7061号
伊那市西利583-1 一級建築士 宮脇 博一 登録 第177958号
0265-72-7271 構造設計一級建築士 第1983号

株式会社 建築設計事務所
〒399-0002 長野県伊那市西利583-1 TEL. 0265-7271 FAX. 0265-7272

図面を作成した建築士
一級建築士事務所 登録
長野県知事登録（伊那）第7061号
（伊那）第7061号

図面を作成した建築士
一級建築士 大田孝雄 第177958号
構造設計一級建築士 大田孝雄 第177958号
（伊那）第7061号

工程 備考

工事名称

令和7年度 美原防災スポーツセンター（仮称）建設 建築工事

図面名称

鉄骨詳細図（6）裏面間柱継手詳細

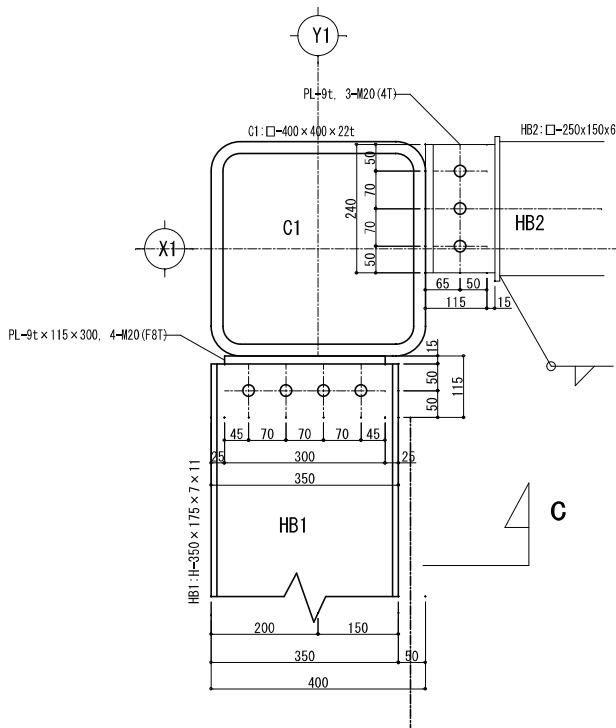
SCALE
[A1]・1:5
[A3]・1:10

版 次

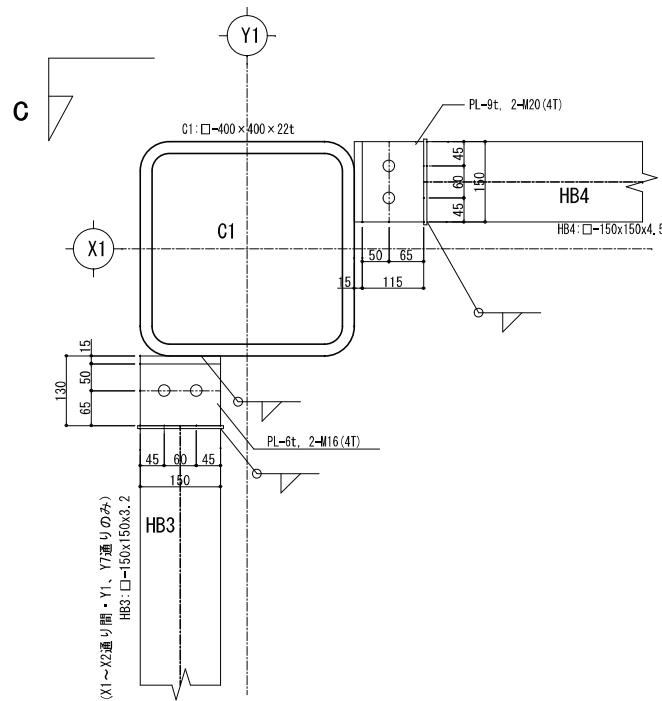
R 7. 3

シート

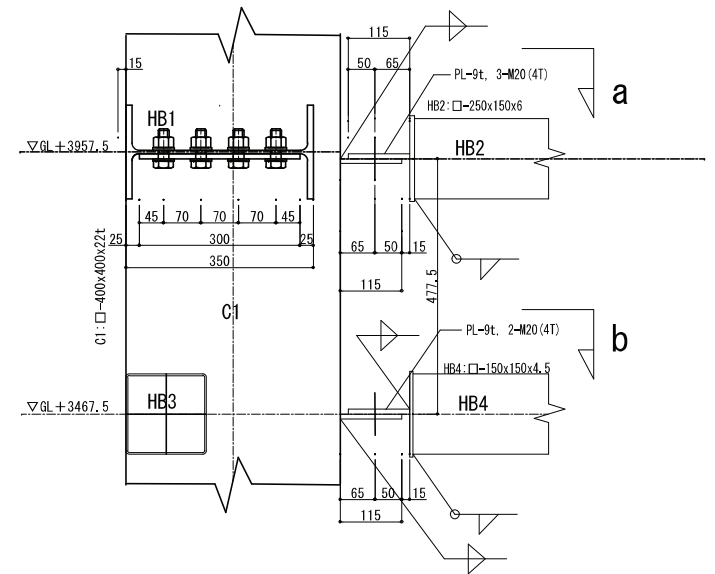
S-27



a 矢視図 S=1/5

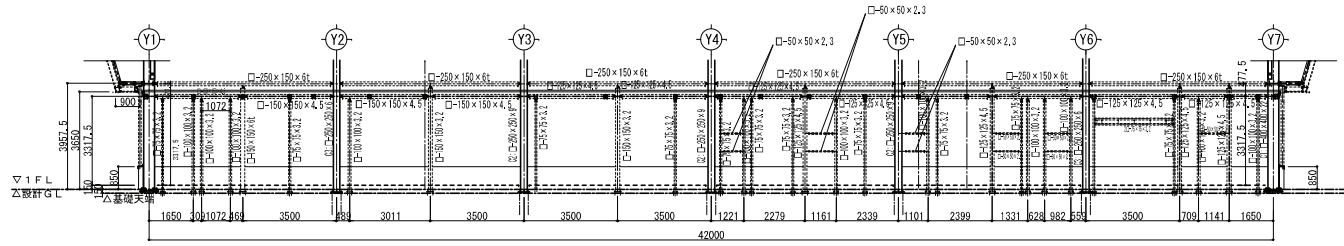


b 矢視図 S=1/5

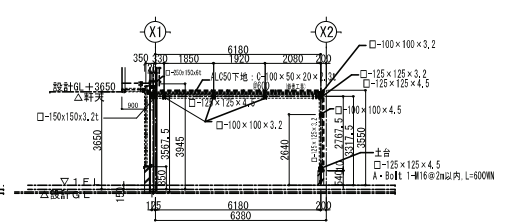


c 矢視図 S=1/5

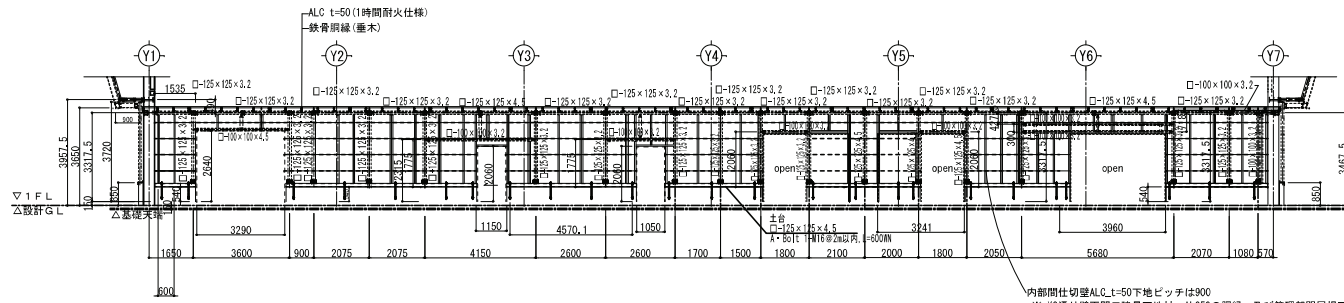
構造設計者 熊取建築設計事務所 長野県知事登録 (伊那) 第77051号
伊那市西町5863-1 一級建築士 宮脇 博一 登録 業177958号
0265-72-7271 構造設計一級建築士 第1993号



A-A 矢視図 S=1:100



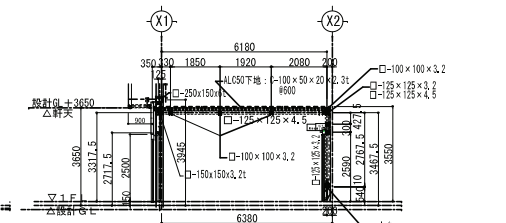
C-C 矢視図 S=1:100



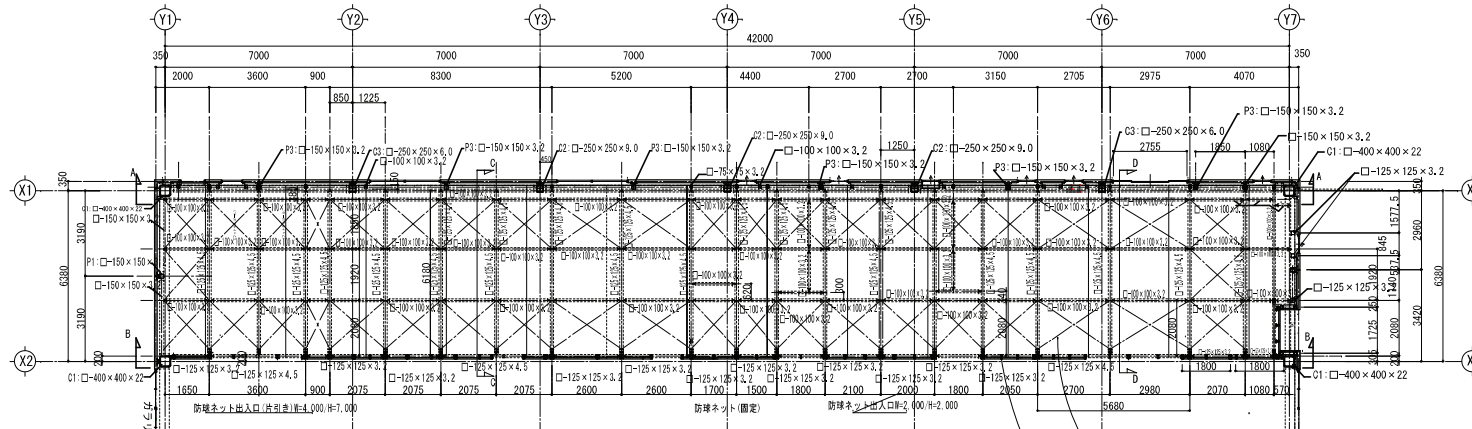
B-B 矢視図 S=1:100

西面

- 間柱
 - 縦線W(ジョイント部)
 - 間柱S
 - サツン下地ほか
- 内部間仕切壁ALC t=50(1時間耐火仕様)
鉄骨筋線(垂木)
※ X2通り壁面開口建具下地材、ALC50の同線、及び管理部門屋根下地材は鉄骨工事の範疇とする。



D-D 矢視図 S=1:100



管理部門 梁伏せ図 S=1:100

管理部門屋根構面にプレース V2:1-M12を配する。

- 天井ALC50筋線(垂木)はY通り平行#600ジョイント(#3,000)はダブル
- 内部間仕切壁ALC t=50(1時間耐火仕様)
鉄骨筋線(垂木)
※ X2通り壁面開口建具下地材、ALC50の同線、及び管理部門屋根下地材は鉄骨工事の範疇とする。

構造設計者 株式会社建築設計事務所 長野県知事登録(伊那)第77051号
伊那市西町5803-1 一級建築士 宮崎 博一 登録 業177958号
0265-72-7271 構造設計一般建築士 第1993号

株式会社 城取建築設計事務所
〒319-0002 茨城県伊原町5-8-3 5階1111号 0266-65-7271

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 伊原 博一
事務所 伊原 博一
(印) 図章 伊原 博一

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 伊原 博一
事務所 伊原 博一
(印) 図章 伊原 博一

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 伊原 博一
事務所 伊原 博一
(印) 図章 伊原 博一

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 伊原 博一
事務所 伊原 博一
(印) 図章 伊原 博一

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 伊原 博一
事務所 伊原 博一
(印) 図章 伊原 博一

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 伊原 博一
事務所 伊原 博一
(印) 図章 伊原 博一

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 伊原 博一
事務所 伊原 博一
(印) 図章 伊原 博一

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 伊原 博一
事務所 伊原 博一
(印) 図章 伊原 博一

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 伊原 博一
事務所 伊原 博一
(印) 図章 伊原 博一

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 伊原 博一
事務所 伊原 博一
(印) 図章 伊原 博一

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 伊原 博一
事務所 伊原 博一
(印) 図章 伊原 博一

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 伊原 博一
事務所 伊原 博一
(印) 図章 伊原 博一

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 伊原 博一
事務所 伊原 博一
(印) 図章 伊原 博一

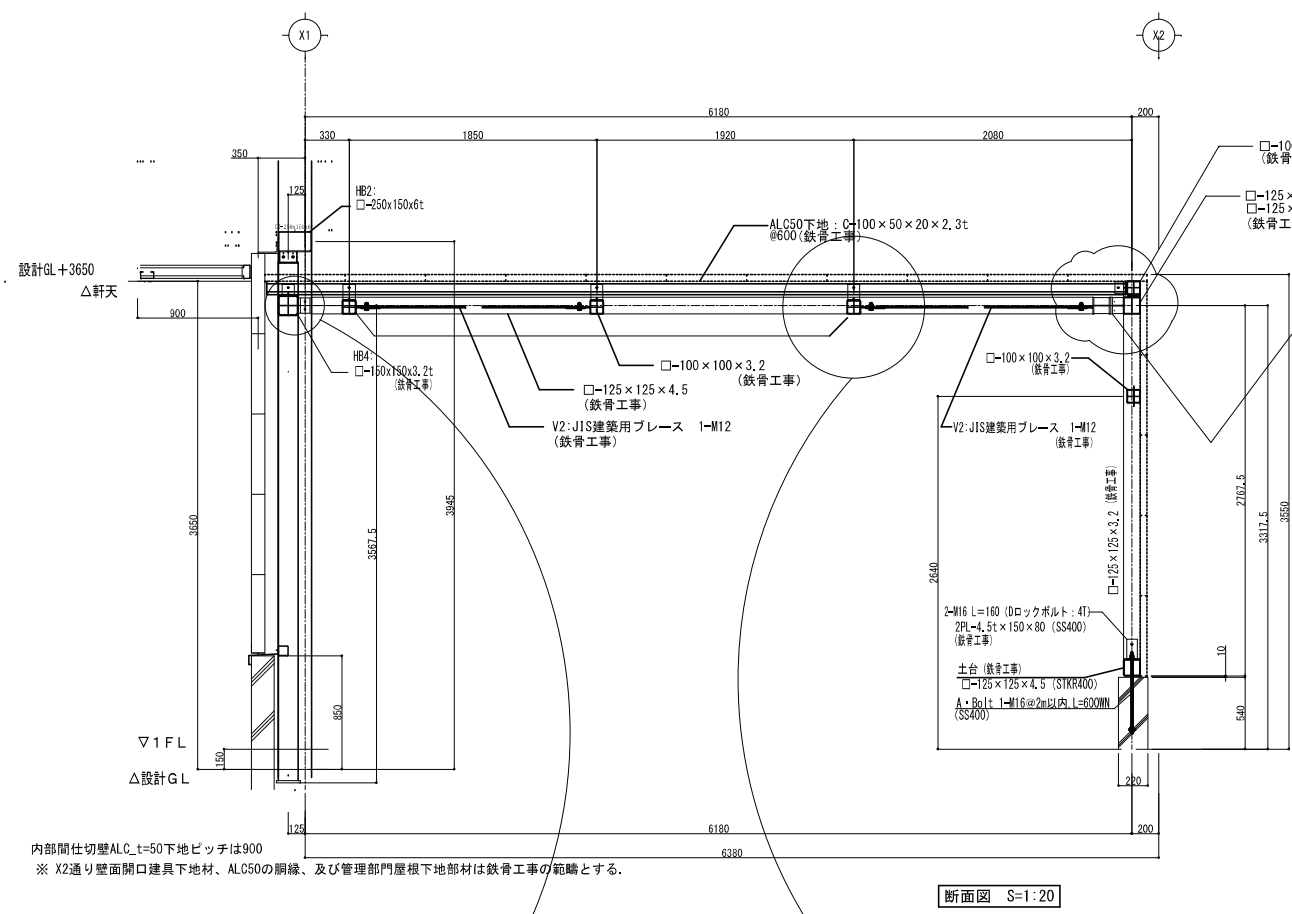
図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 伊原 博一
事務所 伊原 博一
(印) 図章 伊原 博一

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 伊原 博一
事務所 伊原 博一
(印) 図章 伊原 博一

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 伊原 博一
事務所 伊原 博一
(印) 図章 伊原 博一

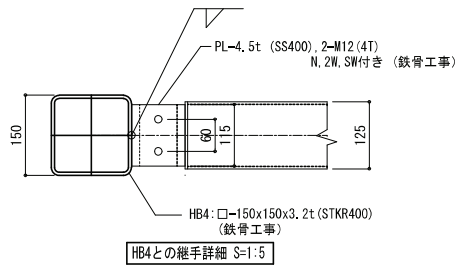
図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 伊原 博一
事務所 伊原 博一
(印) 図章 伊原 博一

図面を作成した建築士
一級建築士 事務所 伊原 博一
事務所 伊原 博一
(印) 図章 伊原 博一

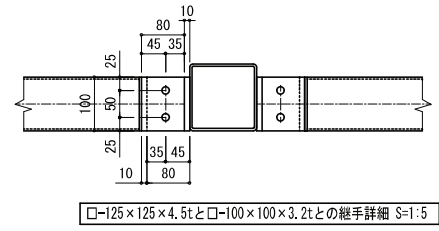


内部間仕切壁ALC_t=50下地ピッチは900
※ X2通り壁面開口建具下地材、ALC50の胴縁、及び管理部門屋根下地部材は鉄骨工事の範疇とする。

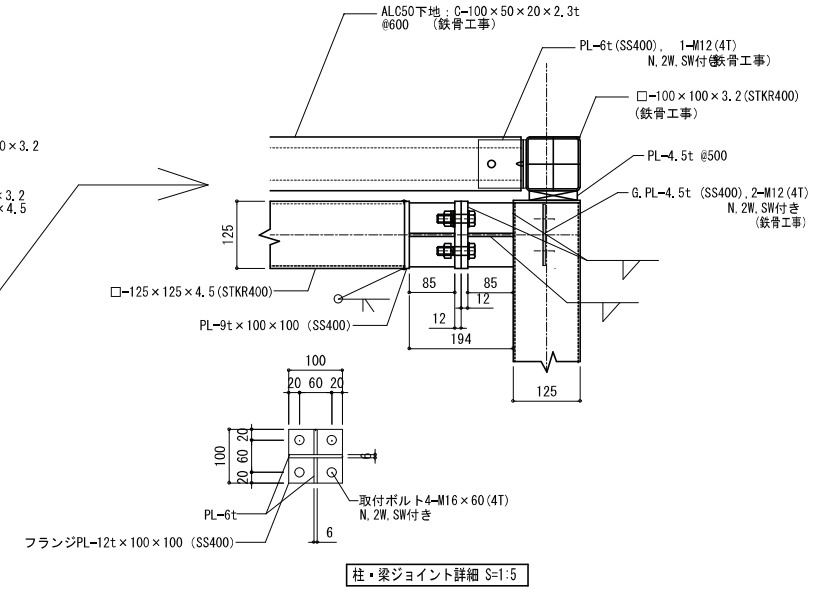
断面図 S=1:20



HB4との継手詳細 S=1:5

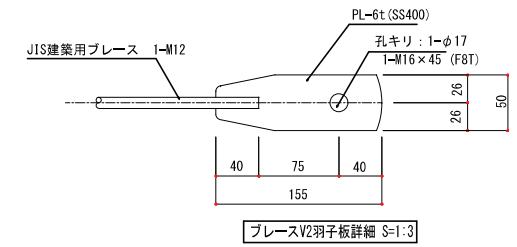
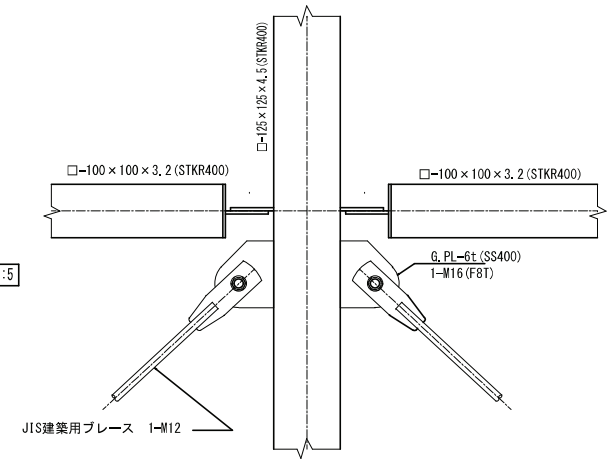


□-125×125×4.5tと□-100×100×3.2tとの継手詳細 S=1:5

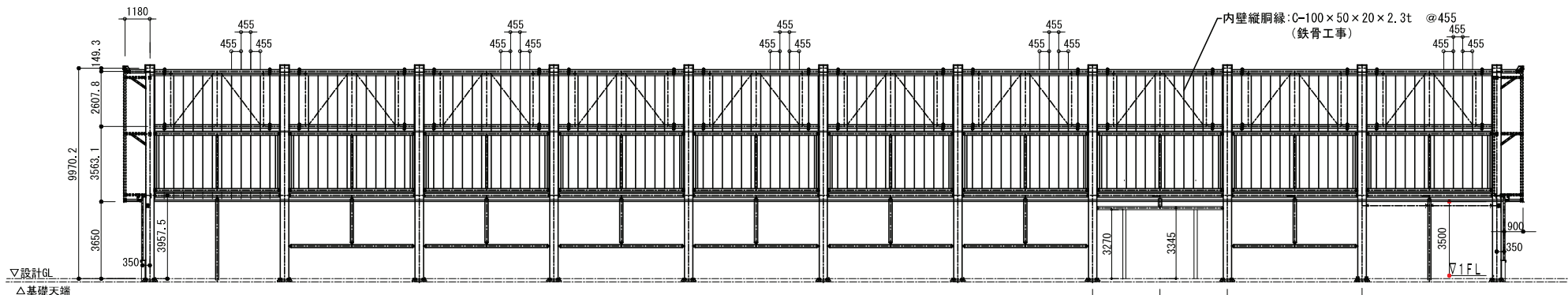


柱・梁ジョイント詳細 S=1:5

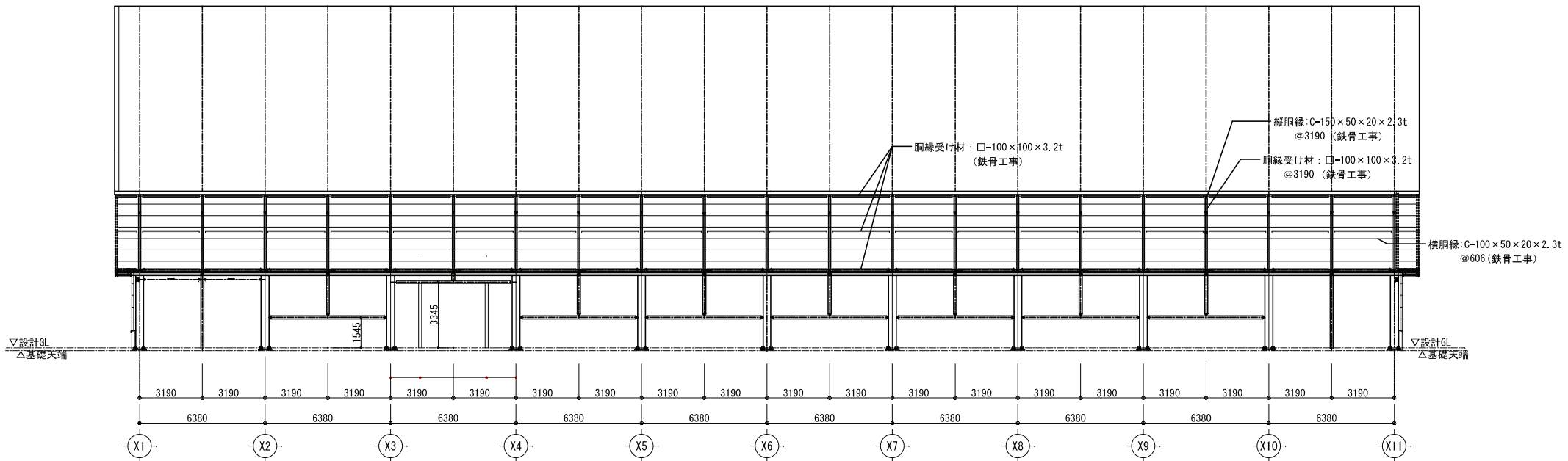
ブレースV2 詳細 S=1:5



ブレースV2羽子板詳細 S=1:3



Y1通り 内壁胴縁配置図 (内観) S=1:100



Y1通り側 外壁胴縁配置図 (外観) S=1:100

構造設計者 株式会社 建設設計事務所 長野県知事登録 (伊那) 第77051号
伊那市西町5803-1 一級建築士 宮崎 博一 登録 業177958号
0265-72-7271 構造設計一般建築士 第1993号

株式会社 建設設計事務所
〒399-0002 長野県伊那市西町5803-1 TEL. 0265-727271

図面を作成した建築士
一級建築士 大田 秀雄 登録 業177958号
(伊那) 第77051号

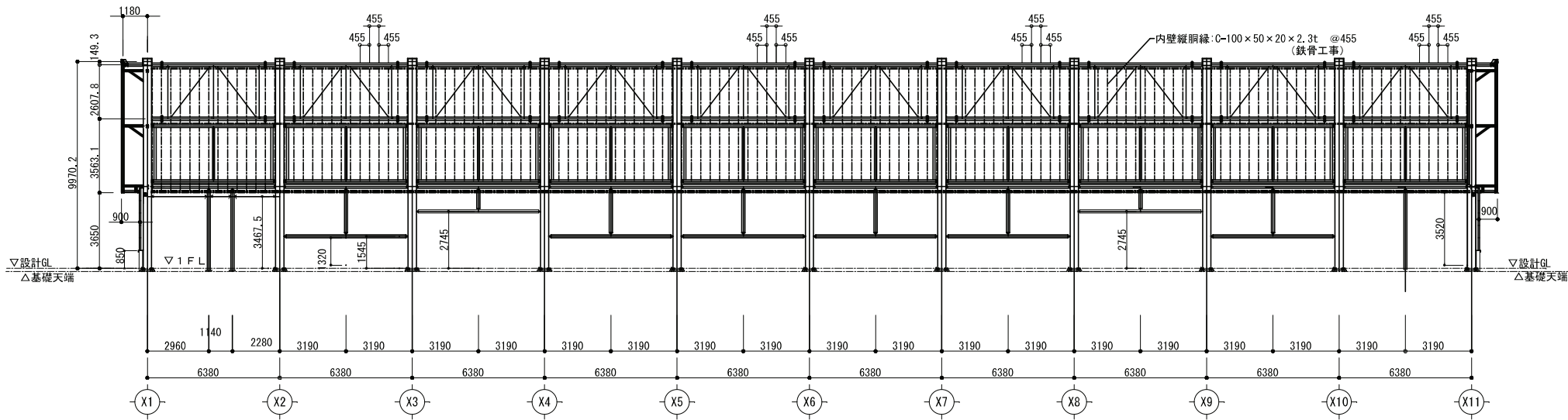
図面を作成した建築士
一級建築士 大田 秀雄 登録 業177958号
構造設計一般建築士 大田 秀雄 登録 業177958号
(伊那) 第77051号

工務 建築
宮崎 博一

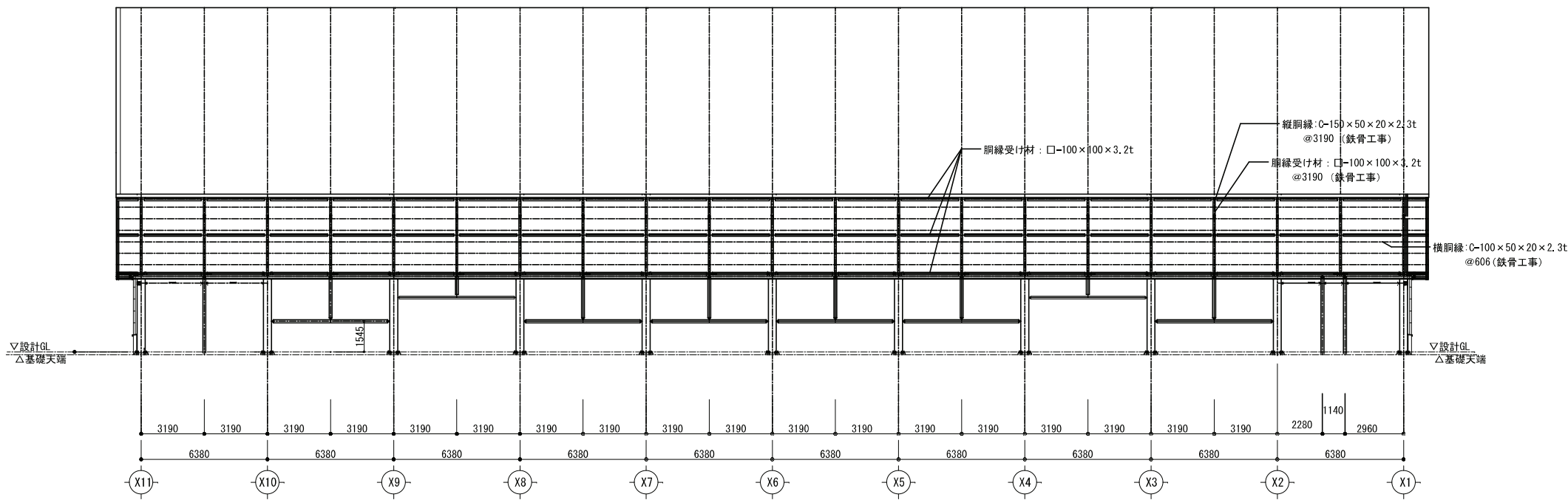
工事名称
令和7年度 美原防災スポーツセンター(仮称) 建設 建築工事

図面名称
Y1通り側 外壁・内壁胴縁配置図

SCALE
[A1] 1:100
[A3] 1:200
R 7.3
S-31



Y7通り内壁筋線配置図 (内観) S=1:200



Y7通り外壁筋線配置図 (外観) S=1:200

構造設計者 株式会社 城取建築設計事務所 長野県知事登録 (伊那) 第71051号
伊那市西町5863-1 一級建築士 宮脇 博一 登録 業177958号
0265-72-7271 構造設計一級建築士 第1993号

城取建築設計事務所
〒399-0002 長野県伊那市西町5863-1 TEL. 0265-7271 FAX 0265-7271

図面を作成した建築士
一級建築士 宮脇 博一 登録 業177958号
(伊那) 第71051号

図面を作成した建築士
一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
構造設計一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
(伊那) 第71051号

図面を作成した建築士
一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
構造設計一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
(伊那) 第71051号

図面を作成した建築士
一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
構造設計一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
(伊那) 第71051号

図面を作成した建築士
一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
構造設計一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
(伊那) 第71051号

図面を作成した建築士
一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
構造設計一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
(伊那) 第71051号

図面を作成した建築士
一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
構造設計一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
(伊那) 第71051号

図面を作成した建築士
一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
構造設計一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
(伊那) 第71051号

図面を作成した建築士
一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
構造設計一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
(伊那) 第71051号

図面を作成した建築士
一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
構造設計一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
(伊那) 第71051号

図面を作成した建築士
一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
構造設計一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
(伊那) 第71051号

図面を作成した建築士
一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
構造設計一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
(伊那) 第71051号

図面を作成した建築士
一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
構造設計一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
(伊那) 第71051号

図面を作成した建築士
一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
構造設計一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
(伊那) 第71051号

図面を作成した建築士
一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
構造設計一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
(伊那) 第71051号

図面を作成した建築士
一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
構造設計一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
(伊那) 第71051号

図面を作成した建築士
一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
構造設計一級建築士 大田 幸雄 登録 業177958号
(伊那) 第71051号

工事名称 令和7年度 美原防災スポーツセンター(仮称)建設 建築工事

図面名称 Y7通り側 外壁・内壁筋線配置図

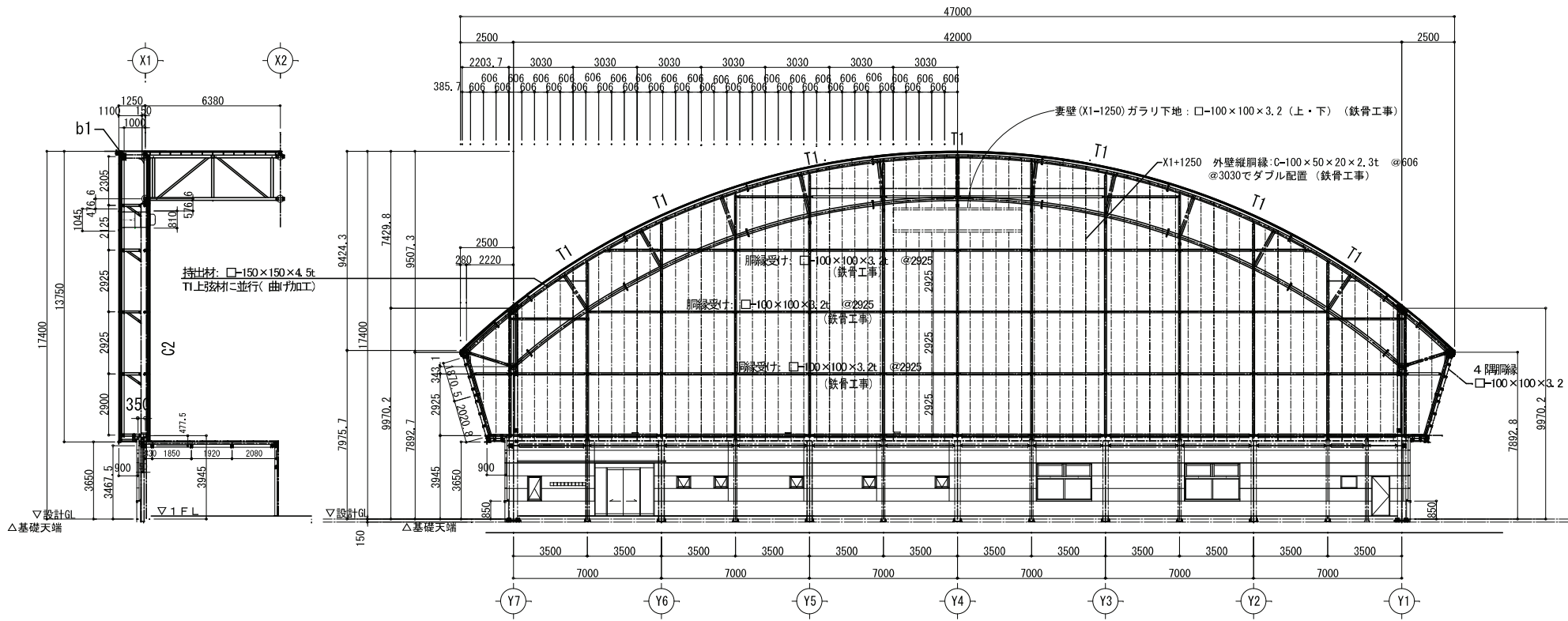
SCALE [A1]・1:100 [A3]・1:200

年 月 日 R 7. 3

シート No. S-32

CAD FILE 名: 美原防災 S-02 Y7通り側 外壁・内壁筋線配置図

Print set: 15-01-01



X1通り-1250 外壁胴縁配置図(外観) S=1 : 100

構造設計者 株式会社 城取建築設計事務所 長野県知事登録(伊那) 第77051号
伊那市西町5863-1 一級建築士 宮脇 博一 登録 第177958号
0265-72-7271 構造設計一般建築士 第1993号

城取建築設計事務所
〒396-0026 長野県伊那市西町5863番地1/1B 0265-7271 7271

図面を作成した建築士
一級建築士 大田 貴雄 第177958号
構造設計一般建築士 大田 貴雄 第1993号
(伊那) 城取 77051号

図面を作成した建築士
一級建築士 大田 貴雄 第177958号
構造設計一般建築士 大田 貴雄 第1993号
宮脇 博一

工程 欄外

工事名称
令和7年度 美原防災スポーツセンター(仮称)建設 建築工事

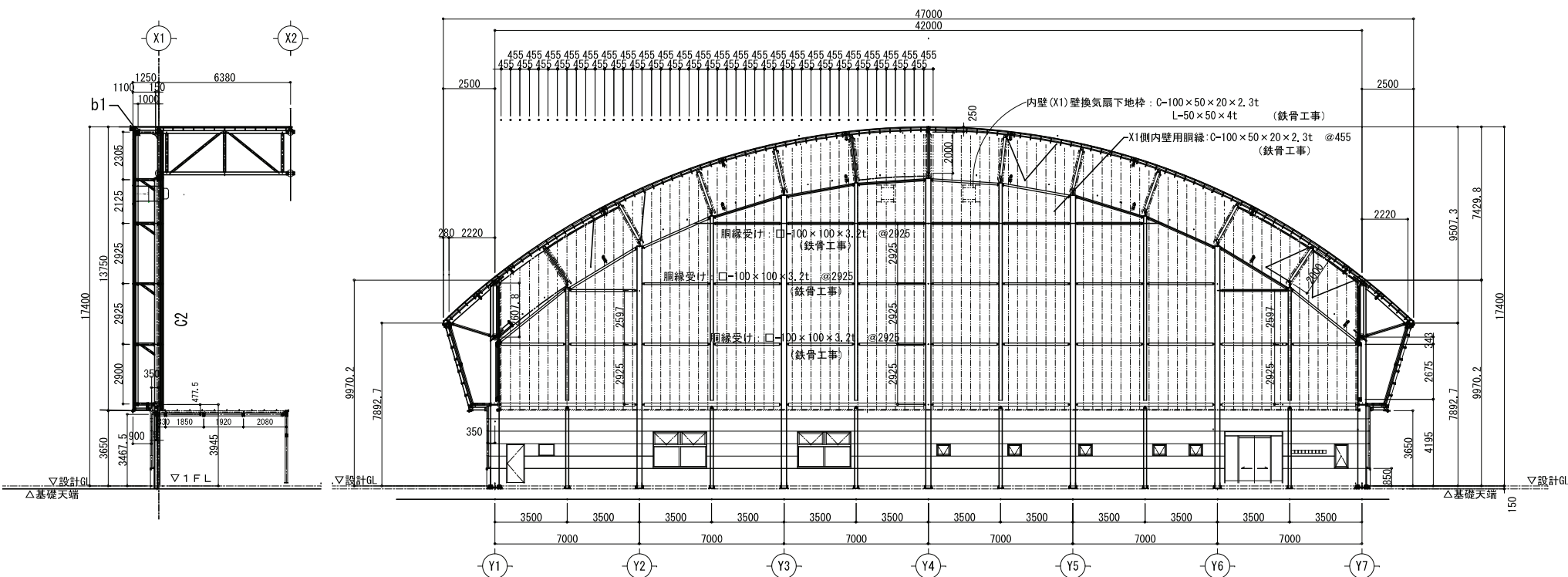
図面名称

X1通り-1250 外壁胴縁配置図(外観)

SCALE
[A1]・1 : 100
[A3]・1 : 200

年 月 日
R 7. 3

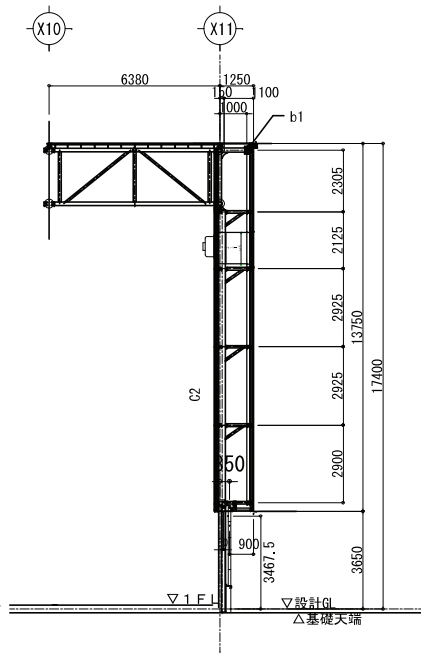
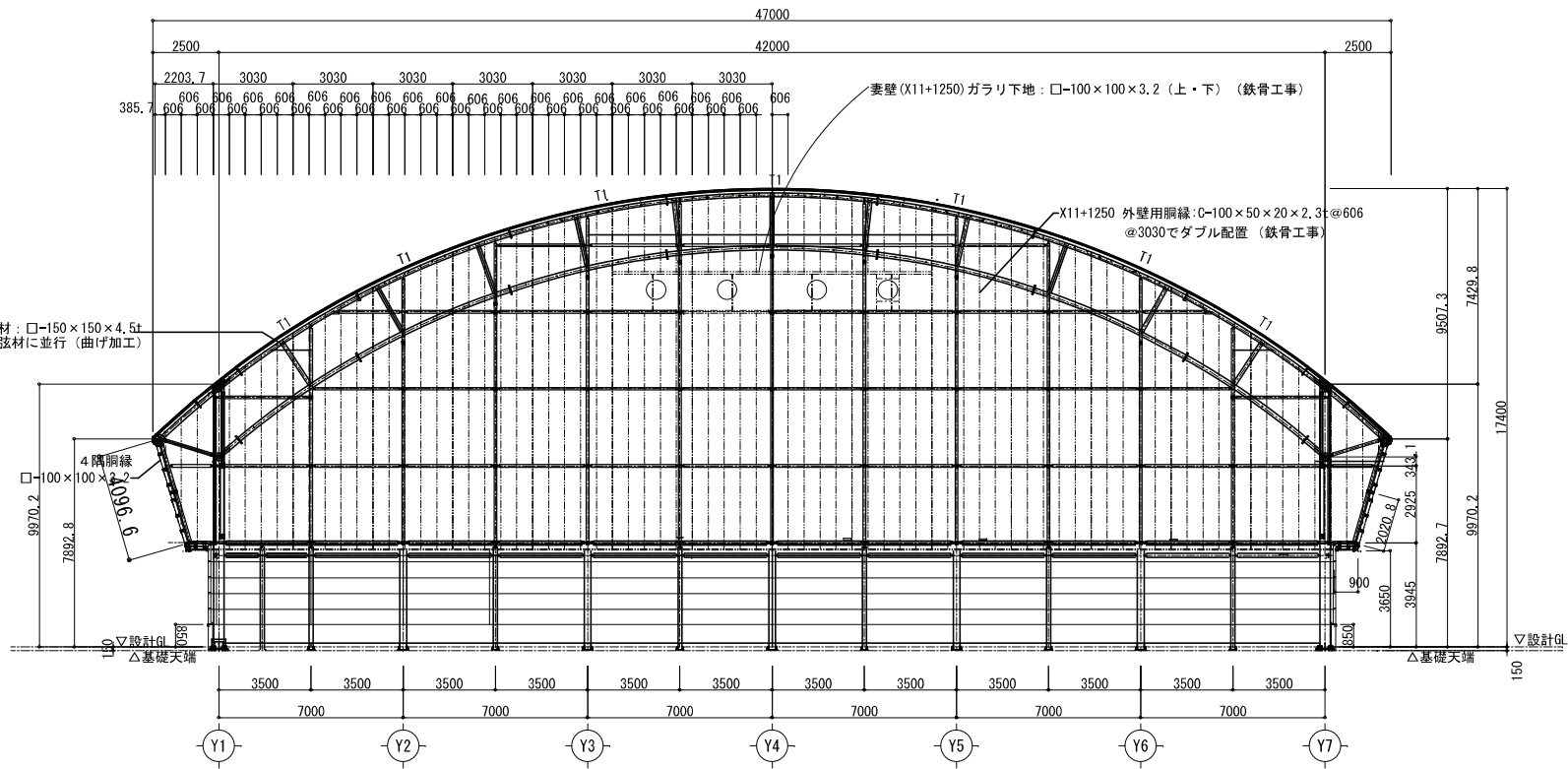
No.
S-33



X1通り 内壁胴縁配置図(内観) S=1:100

構造設計者 株式会社 美原防炎スポーツセンター(仮称)建設 建築工事
伊勢市西町5863-1 伊勢市西町5863-1 伊勢市西町5863-1
0265-72-7271 0265-72-7271 0265-72-7271

株式会社 美原防炎スポーツセンター(仮称)建設 建築工事 伊勢市西町5863-1 伊勢市西町5863-1 伊勢市西町5863-1 0265-72-7271 0265-72-7271 0265-72-7271	図面名称 X1通り 内壁胴縁配置図(内観)	SCALE [A1]・1:100 [A3]・1:200	年 月 日 R 7.3	No. S-34



X11通り+1250 外壁胴縁配置図 (外観)
S=1 : 100

